

「介護予防・日常生活圏域二一ズ調査」 結果報告書

令和8年7月

高齢福祉課

I 調査の概要

1 調査目的

日常生活圏域における高齢者の生活実態と課題、ニーズ等を把握し、第十一次山口市高齢者保健福祉計画及び第十次山口市介護保険事業計画（令和９年度～１１年度）策定の基礎資料とする。

2 調査方法

（１）対象者

令和７年１２月末現在、６５歳以上の山口市民の中から、次のとおり３つに区分し、６つの圏域ごとに、合計５，４１０人を無作為（層化無作為抽出法）に抽出。

区分	人数
介護保険の認定を受けておられない方	３，２２８人
介護予防・日常生活支援総合事業対象者の方	１２６人
要支援１または要支援２の認定を受けておられる方	２，０５６人
合計	５，４１０人

（圏域）

- １ 北東部（仁保、小鯖、大内、宮野）
- ２ 中央部（大殿、白石、湯田）
- ３ 鴻南（吉敷、平川、大歳）
- ４ 南部（陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島、嘉川、佐山、小郡、秋穂、阿知須）
- ５ 徳地
- ６ 阿東

（２）調査期間

発送日 令和８年２月３日

回収期限 令和８年３月１９日

（３）回収状況

回収数 ３，１８６件／５，４１０件（回収数のうち、２６９件はウェブ回答）

回収率 ５８．９％（回収数に占めるウェブ回収率 ８．４％）

3 調査結果の集計について

厚生労働省が示す有効回答数を確保することを前提に調査を実施。「要支援１または要支援２の認定を受けておられる方」については、徳地・阿東圏域の対象者が少数であるため、全員を調査対象としたほか、介護予防に向けた取組の推進を図る観点から、その他の圏域も調査対象を増やしている。このため、全体を把握するための集計数は、区分ごとの人口割合を基に算出した件数を使用する。

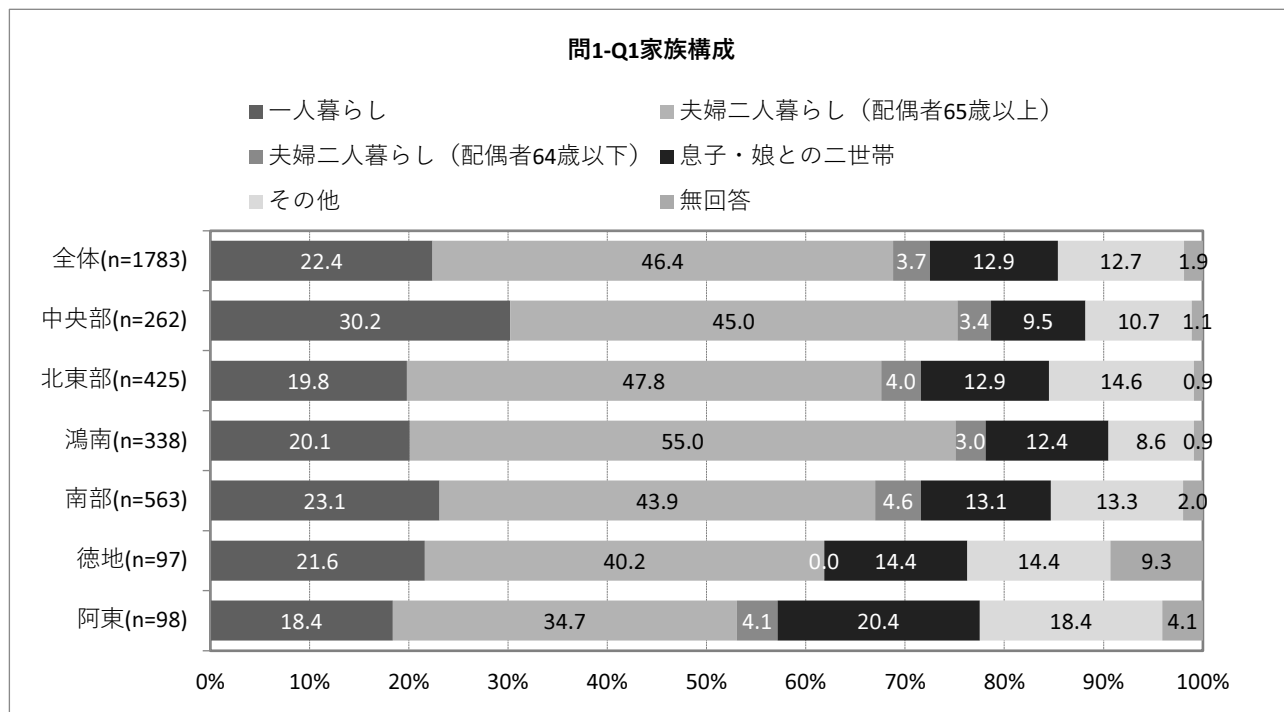
区分	人口	調査件数
介護保険の認定を受けておられない方 (総合事業対象者の方含む)	46,407人	1,663件
	(93.6%)	(93.3%)
要支援１または要支援２の認定を受けておられる方	3,169人	120件
	(6.4%)	(6.7%)
全体集計数	49,576人	1,783件
	(100%)	(100%)

※調査件数は圏域ごとの積算であるため、区分別の人口割合と若干の違いあり

Ⅱ 調査結果

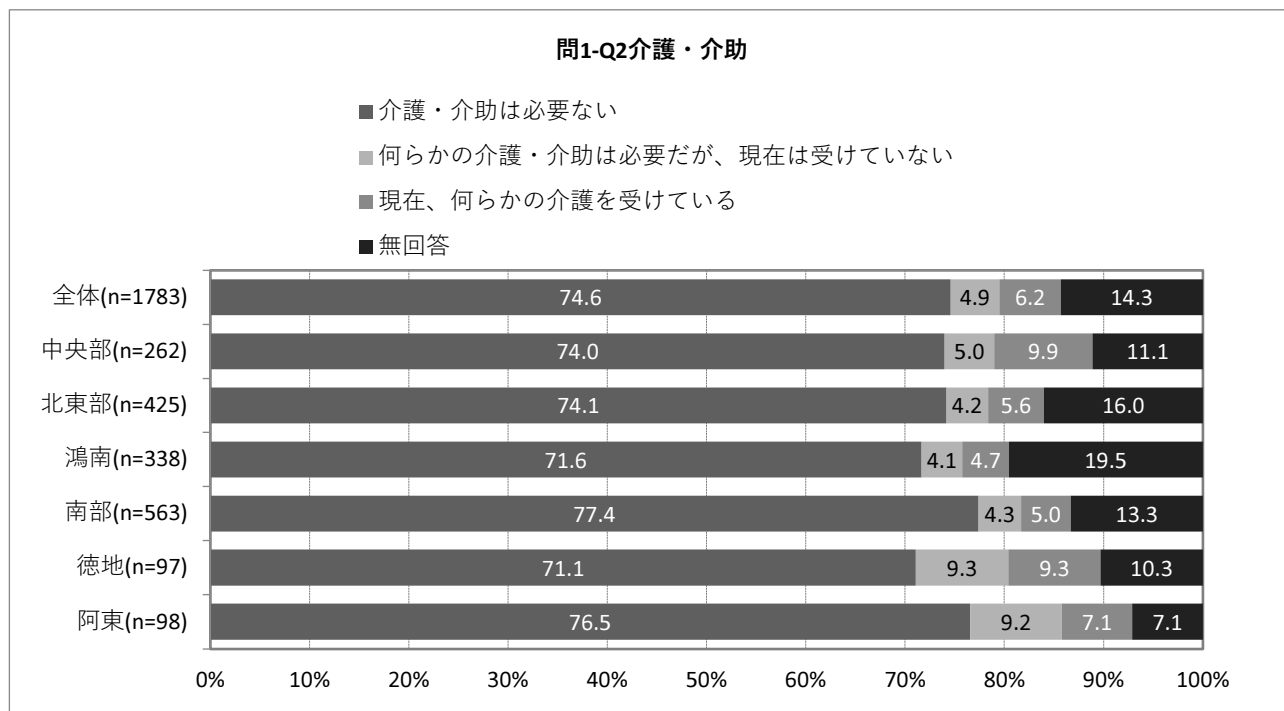
問 1 家族や生活状況について

Q 1. 家族構成を教えてください（圏域別）



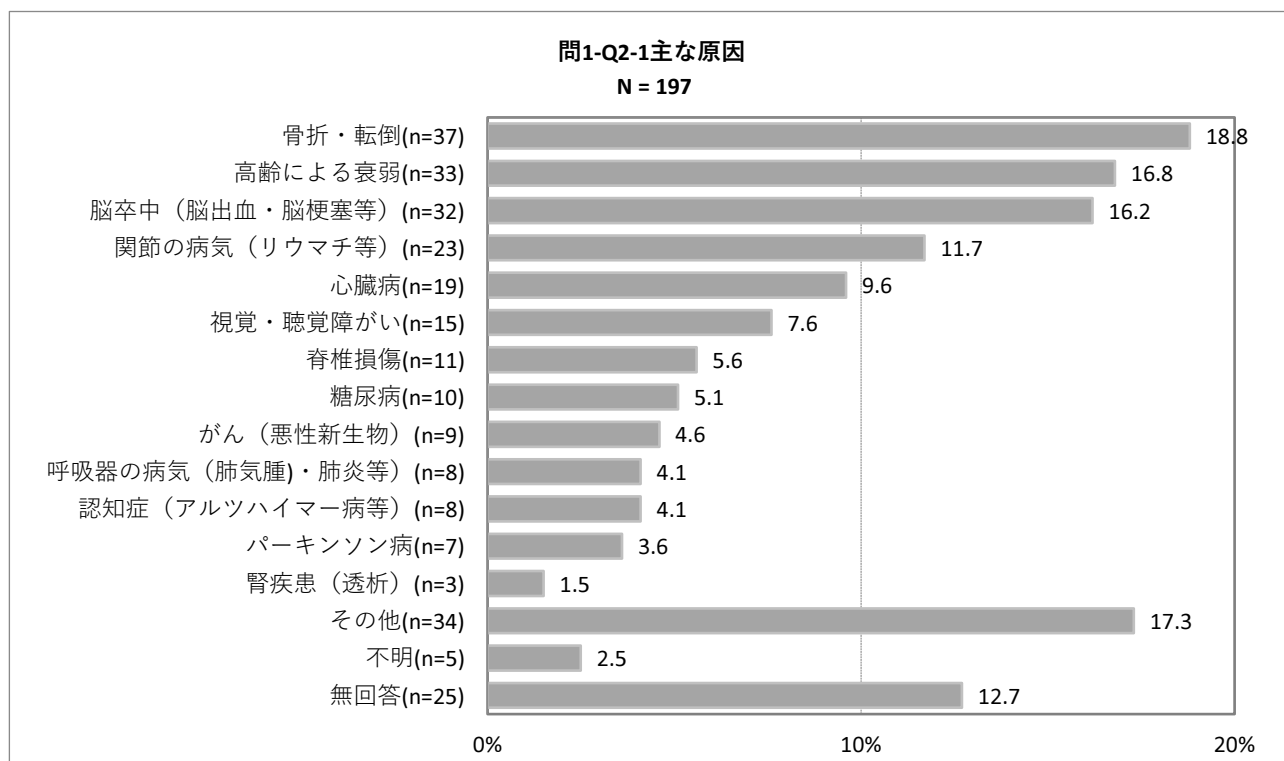
「夫婦二人暮らし」が46.4%と約半数を占め、「一人暮らし」が22.4%と2割超となっている。

Q 2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（圏域別）



「介護・介助は必要ない」が74.6%と約7割を占める一方で、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が4.9%で、介護が必要にもかかわらず受けていない人も一定数みられる。

Q2-1. 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（全体）※複数回答可



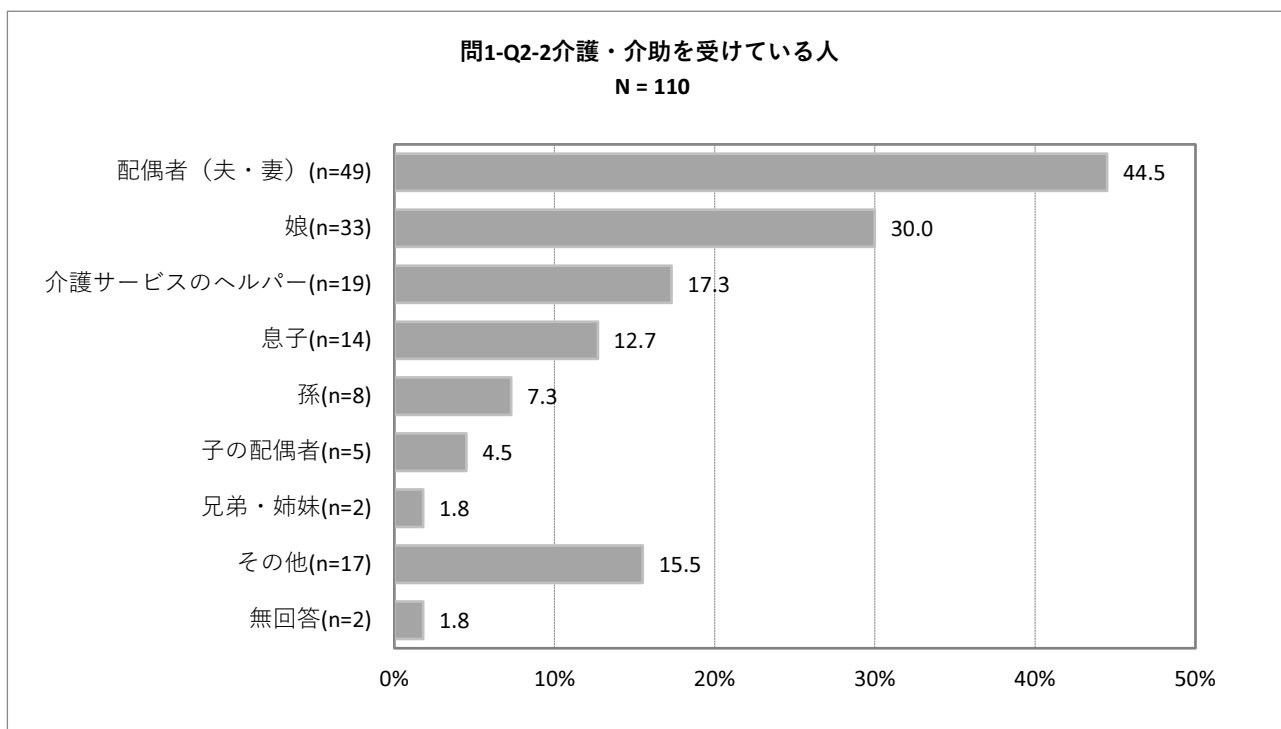
「骨折・転倒」が18.8%と最も多く、次いで「高齢による衰弱」（16.8%）、「脳卒中」（16.2%）が続いた。加齢や日常生活での事故、生活習慣病など、複数の要因が介護につながっていることがうかがえる。

Q2-1. 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=197)	中央部 (n=39)	北東部 (n=42)	鴻南 (n=30)	南部 (n=52)	徳地 (n=18)	阿東 (n=16)
骨折・転倒	18.8	30.8	19.0	6.7	21.2	11.1	12.5
高齢による衰弱	16.8	15.4	11.9	16.7	13.5	22.2	37.5
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	16.2	12.8	14.3	13.3	19.2	16.7	25.0
関節の病気（リウマチ等）	11.7	12.8	7.1	16.7	13.5	11.1	6.3
心臓病	9.6	5.1	16.7	10.0	9.6	5.6	6.3
視覚・聴覚障がい	7.6	10.3	7.1	3.3	11.5	5.6	0.0
脊椎損傷	5.6	10.3	2.4	6.7	5.8	0.0	6.3
糖尿病	5.1	7.7	4.8	3.3	1.9	5.6	12.5
がん（悪性新生物）	4.6	10.3	4.8	3.3	1.9	0.0	6.3
呼吸器の病気（肺気腫）・肺炎等	4.1	5.1	4.8	6.7	3.8	0.0	0.0
認知症（アルツハイマー病等）	4.1	2.6	4.8	10.0	1.9	0.0	6.3
パーキンソン病	3.6	2.6	4.8	3.3	3.8	0.0	6.3
腎疾患（透析）	1.5	2.6	2.4	0.0	0.0	5.6	0.0
その他	17.3	15.4	11.9	16.7	25.0	22.2	6.3
不明	2.5	5.1	0.0	3.3	1.9	0.0	6.3
無回答	12.7	10.3	19.0	16.7	3.8	22.2	12.5

Q 2－2. 主にどなたの介護・介助を受けていますか（全体）※複数回答可



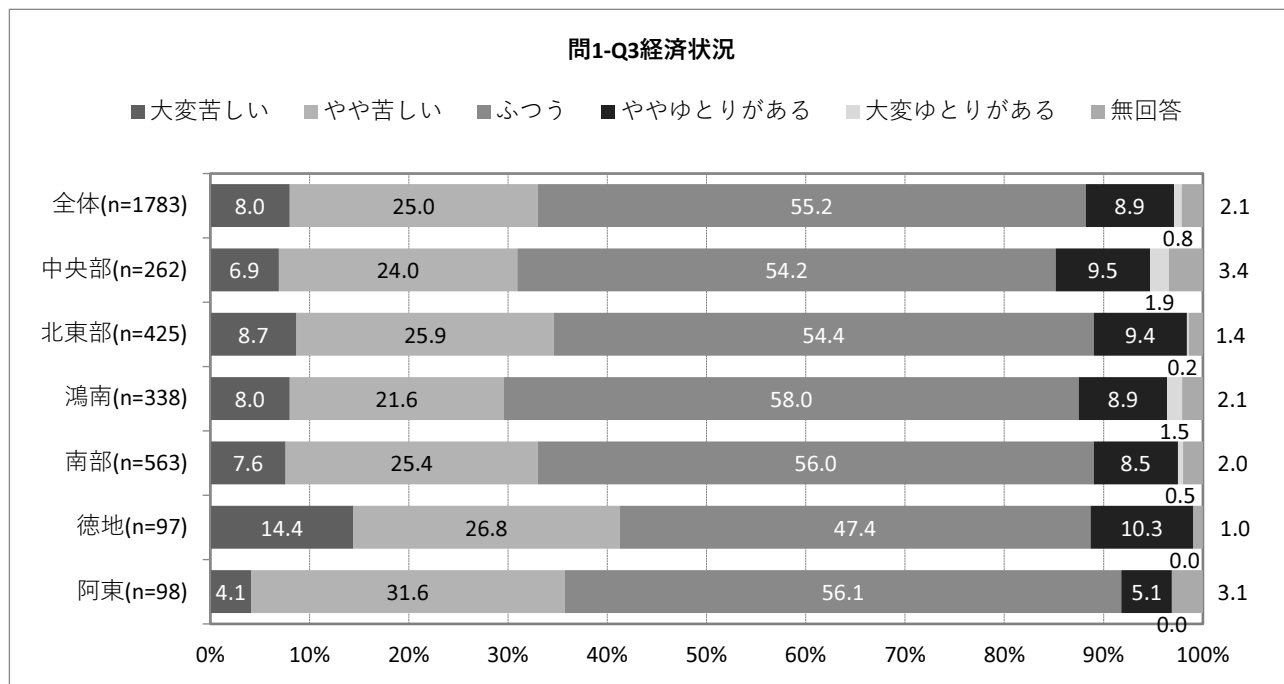
介護・介助を受けている相手は「配偶者」が44.5%と最も多く、次いで「娘」(30.0%)が続いた。家族による支援が中心となる一方で、「介護サービスのヘルパー」を利用している人も17.3%と一定数みられた。

Q 2－2. 主にどなたの介護・介助を受けていますか（圏域別）

（単位：％）

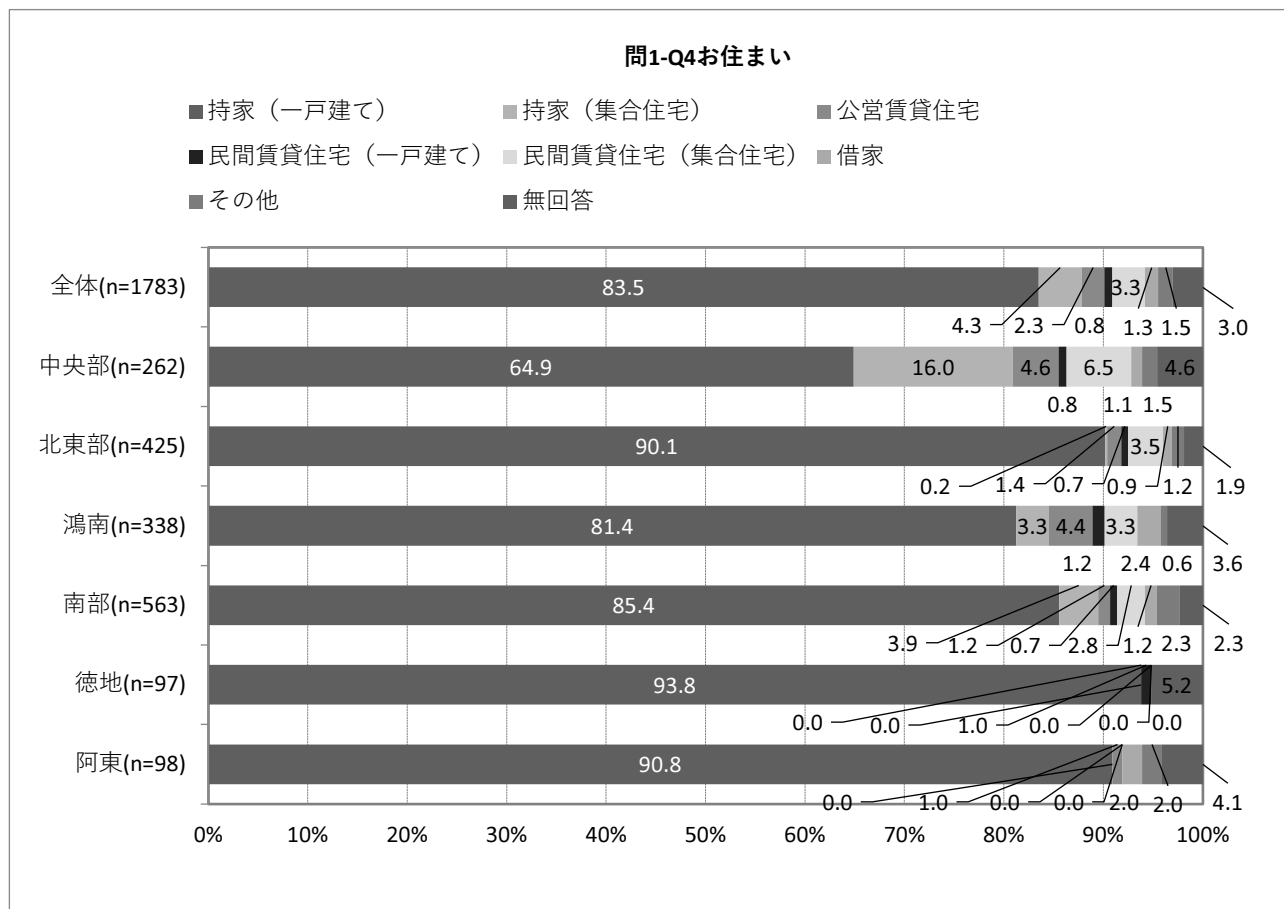
	全体 (n=110)	中央部 (n=26)	北東部 (n=24)	鴻南 (n=16)	南部 (n=28)	徳地 (n=9)	阿東 (n=7)
配偶者（夫・妻）	44.5	26.9	66.7	68.8	39.3	33.3	14.3
娘	30.0	26.9	25.0	31.3	35.7	11.1	57.1
介護サービスのヘルパー	17.3	23.1	12.5	6.3	17.9	11.1	42.9
息子	12.7	0.0	4.2	12.5	17.9	33.3	42.9
孫	7.3	0.0	0.0	0.0	10.7	22.2	42.9
子の配偶者	4.5	0.0	0.0	0.0	3.6	22.2	28.6
兄弟・姉妹	1.8	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	14.3
その他	15.5	34.6	8.3	6.3	10.7	11.1	14.3
無回答	1.8	3.8	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0

Q 3. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（圏域別）



現在の暮らしについて、「ふつう」と感じている人が55.2%と半数を超える一方、「大変苦しい」（8.0%）、「やや苦しい」（25.0%）と「苦しい」と感じている人も3割を超えた。

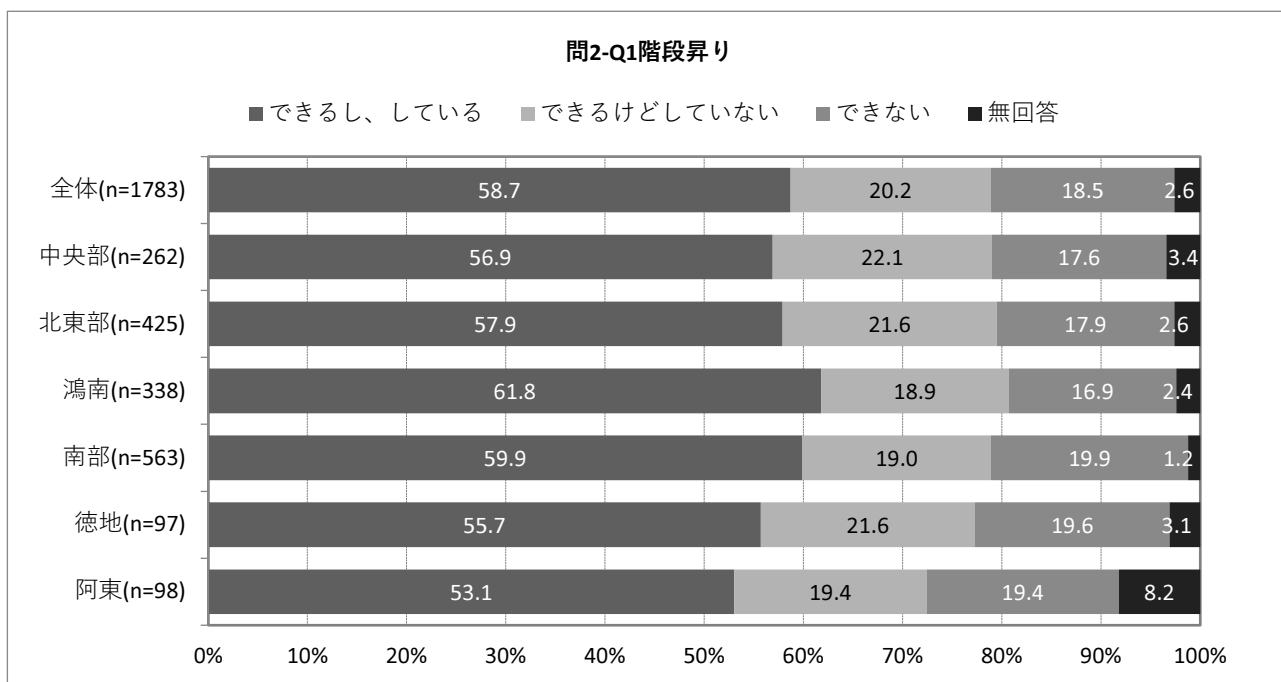
Q 4. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（圏域別）



「持家（一戸建て）」が83.5%と8割を超え、多くの高齢者が戸建て住宅で暮らしていることが分かる。

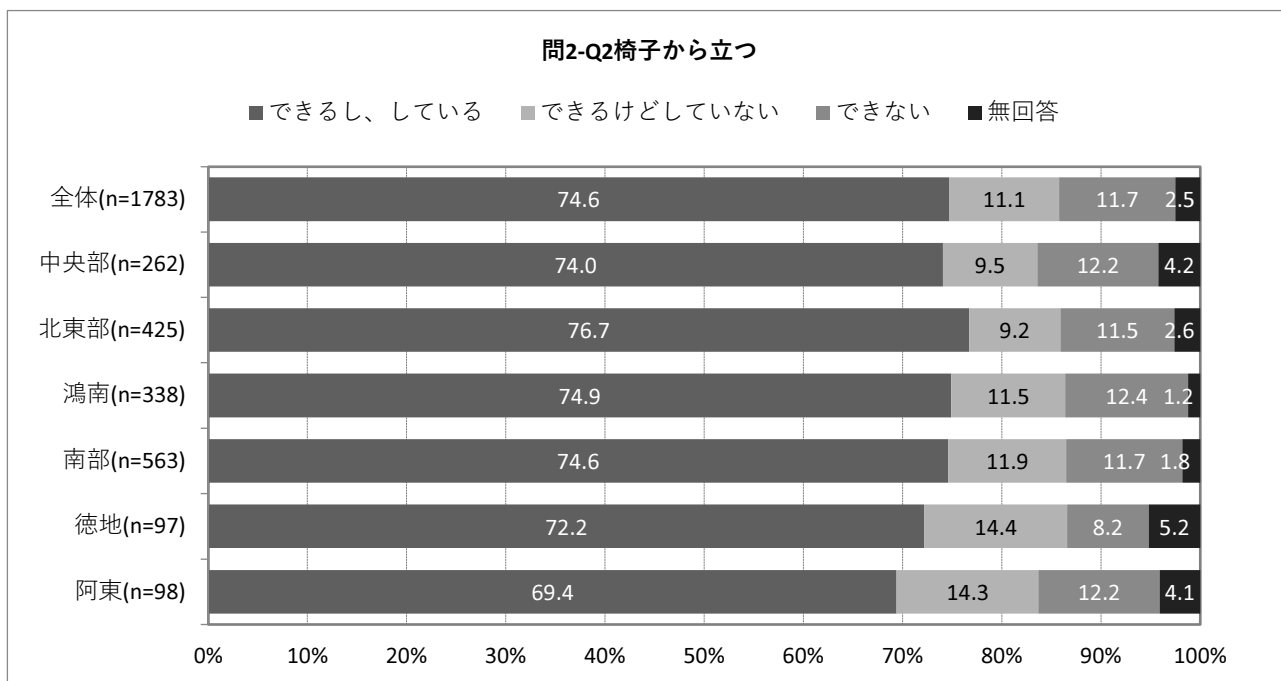
問2 からだを動かすことについて

Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（圏域別）



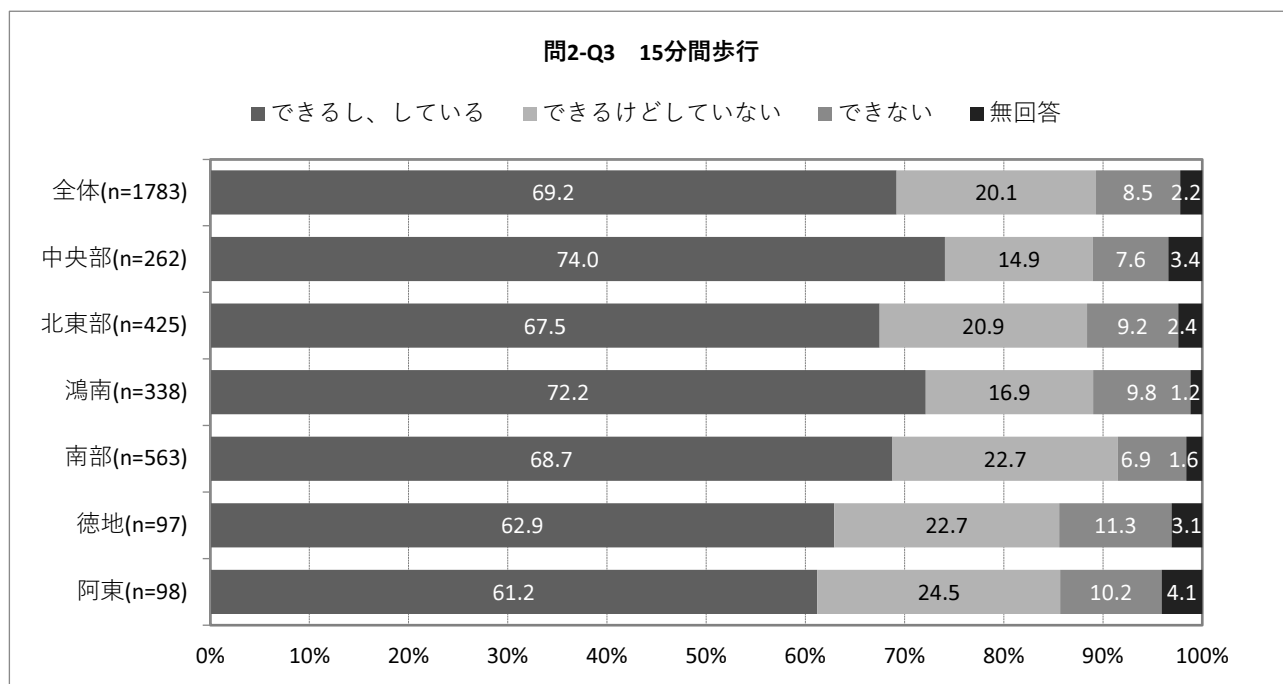
階段を手すりや壁を使わずに昇れる人は58.7%と約6割を占めた。一方で、「できない」と回答した人も18.5%と2割近くみられ、身体機能の低下や転倒リスクへの配慮が必要な状況がうかがえる。

Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（圏域別）



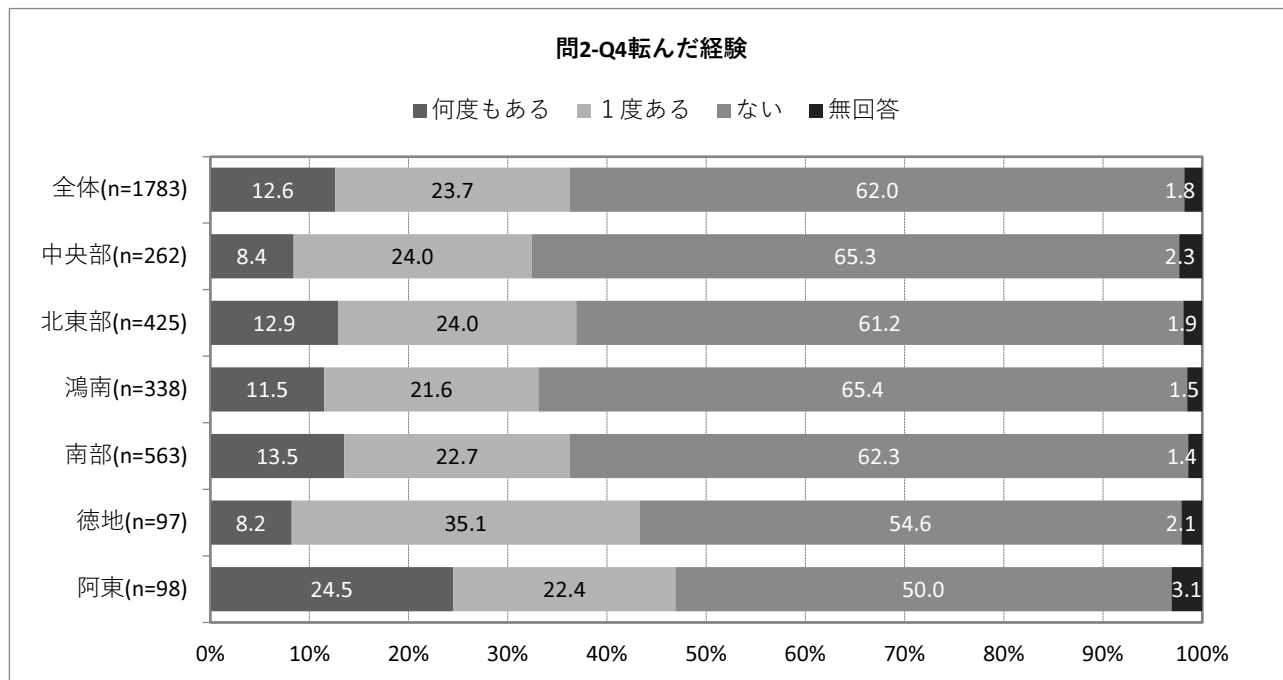
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれる人は74.6%と約7割を占め、比較的自立した生活状況がうかがえる。一方で、「できない」と回答した人も11.7%と1割以上みられる。

Q 3. 15分位続けて歩いていますか（圏域別）



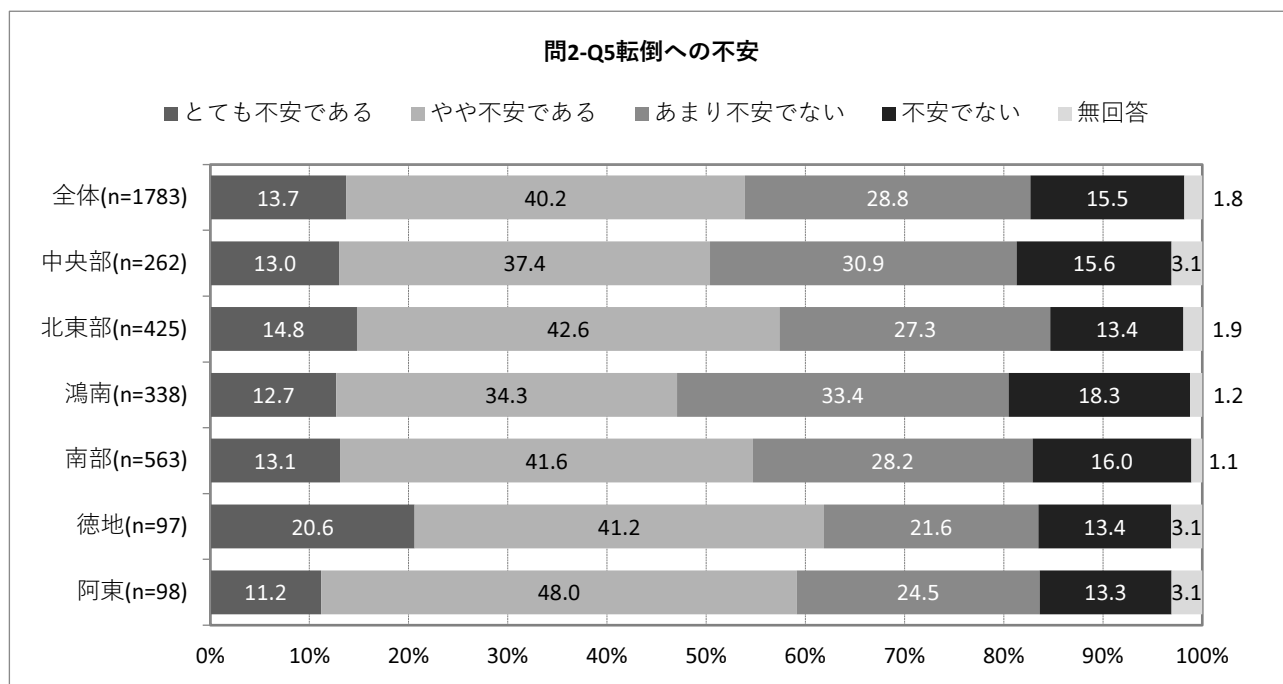
15分程度続けて歩ける人は69.2%と約7割を占め、日常的な移動能力を維持している人が多いと言える。一方、「できるけどしていない」人も20.1%と2割みられ、運動習慣づくりの重要性がうかがえる。

Q 4. 過去1年間に転んだ経験がありますか（圏域別）



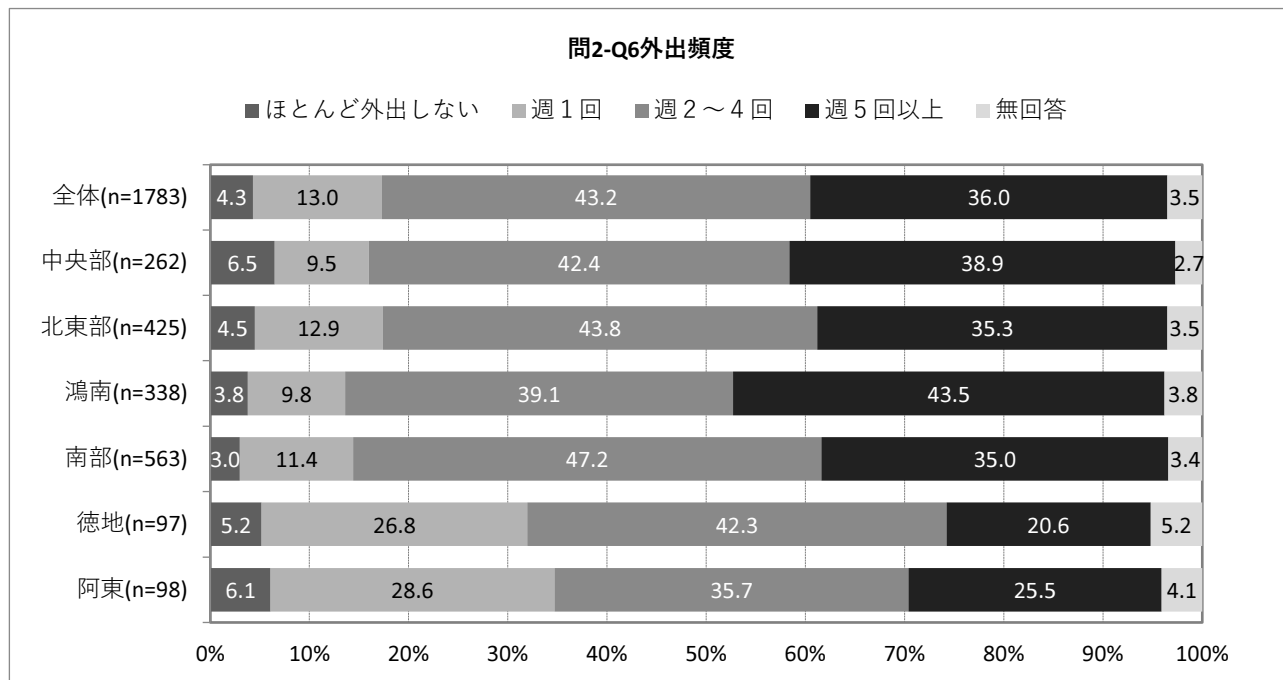
過去1年間に転倒経験が「ない」と回答した人が62.0%と6割を超えた一方で、「1度ある」(23.7%)、「何度もある」(12.6%)を合わせると3割を超えた。

Q 5. 転倒に対する不安は大きいですか（圏域別）



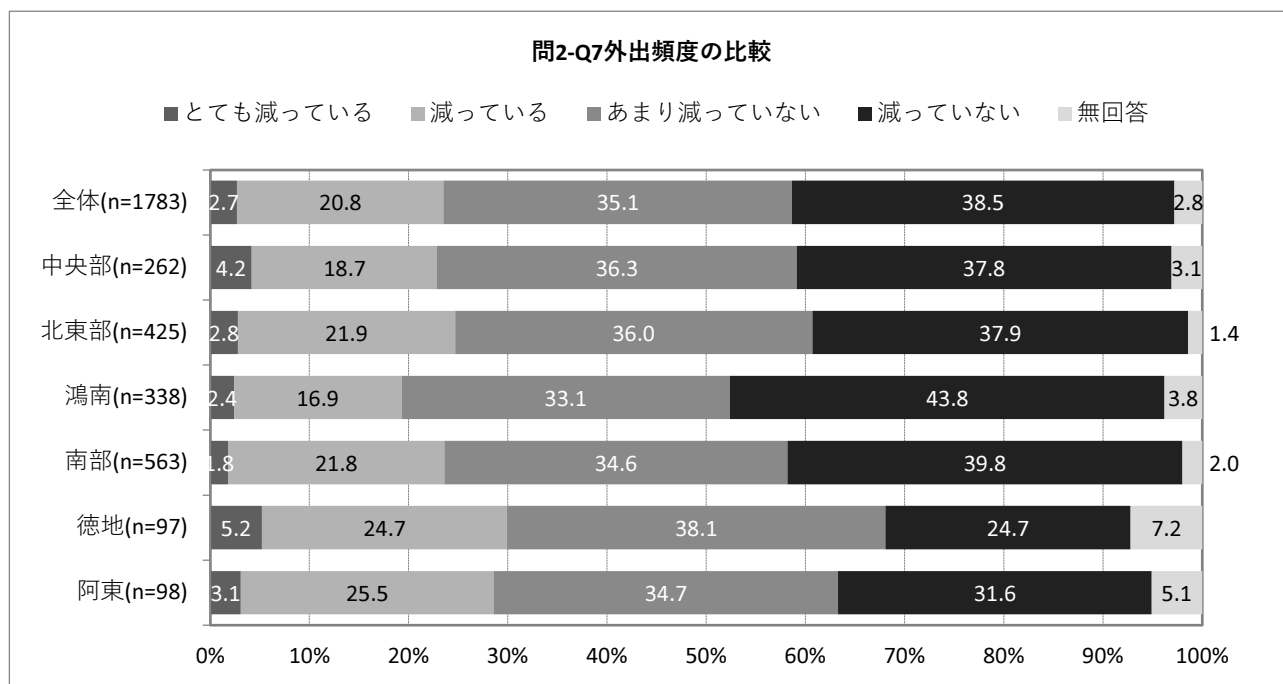
転倒に対して「やや不安である」と感じている人が 40.2%と最も多く、「とても不安である」(13.7%)を含めると半数を超えた。転倒への不安が日常生活に影響している様子が見える。

Q 6. 週 1 回以上は外出していますか（圏域別）



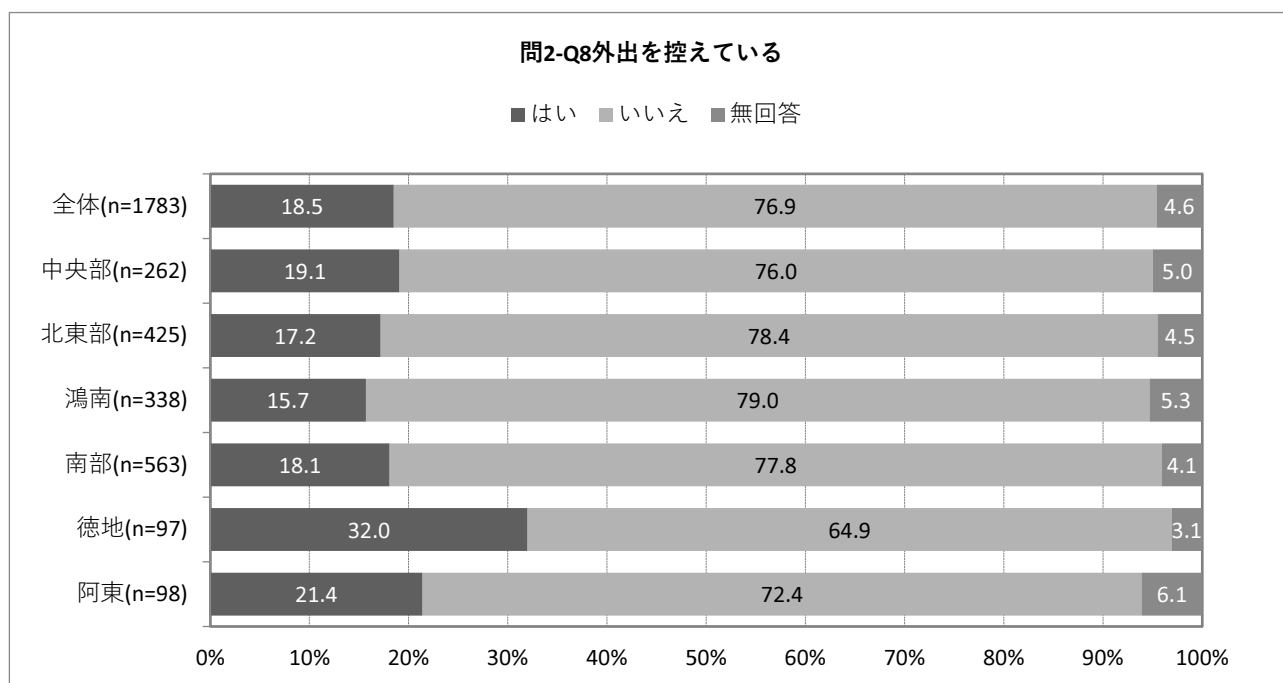
週 1 回以上外出している人が大半を占め、特に「週 2～4 回」の外出が 43.2%と最も多かった。一方で、「ほとんど外出しない」人も 4.3%と一定数みられる。

Q 7. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（圏域別）



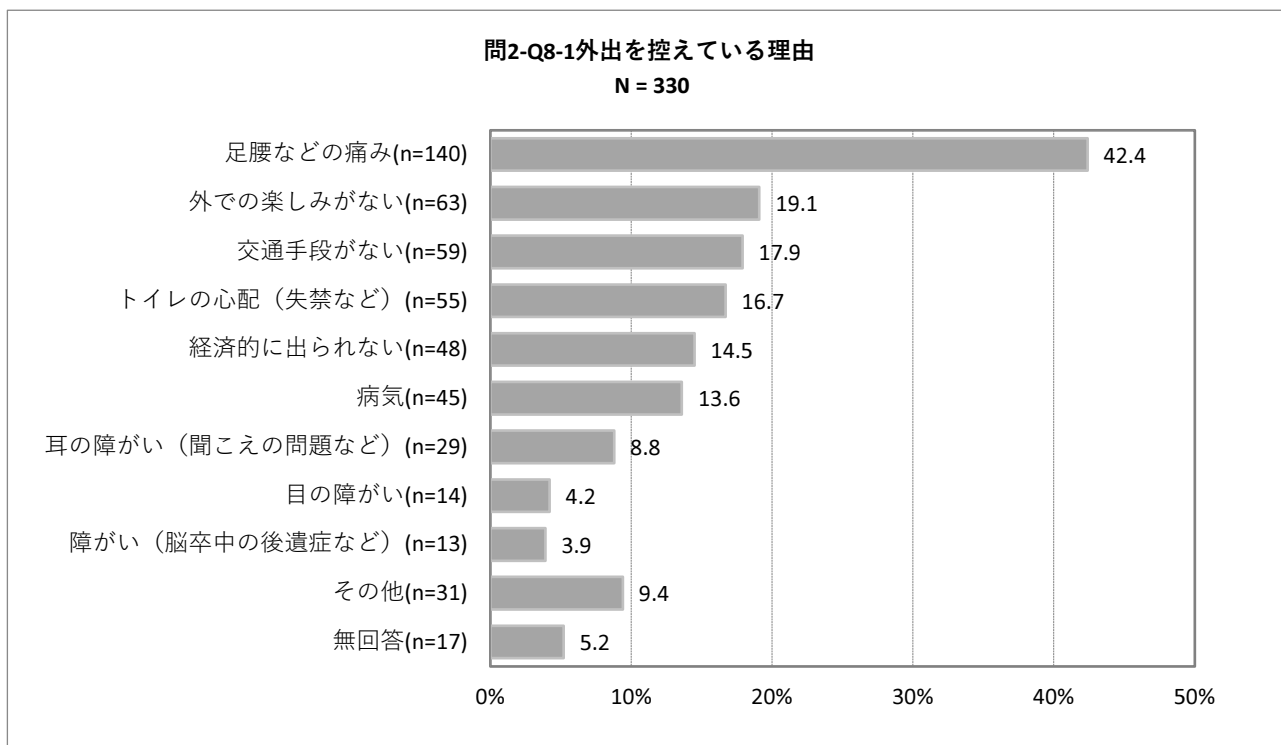
昨年と比べて外出回数が「減っていない」（38.5%）、「あまり減っていない」（35.1%）と回答した人が7割を超えた。一方で、「とても減っている」（2.7%）、「減っている」（20.8%）と外出機会が減少している人も2割以上みられる。

Q 8. 外出を控えていますか（圏域別）



「外出を控えていない」と回答した人が76.9%と約8割を占め、多くの高齢者が日常的に外出していることが分かる。一方で、外出を控えている人も18.5%と2割近くみられる。

Q8-1. 外出を控えている理由は、次のどれですか（全体）※複数回答可



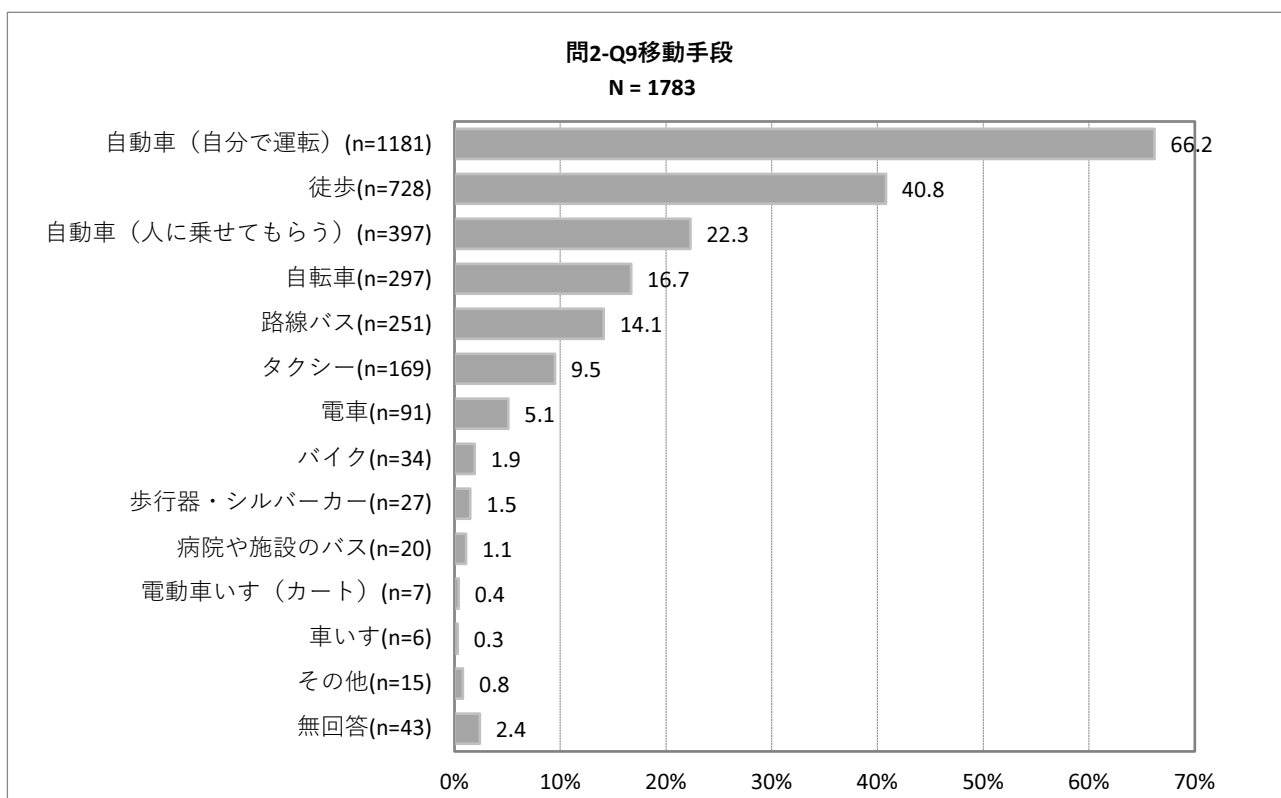
外出を控える理由として「足腰などの痛み」が42.4%と最も多く、身体的な不安が大きな要因となっていることが分かる。また、「外での楽しみがない」（19.1%）、「交通手段がない」（17.9%）など、生活環境や社会参加の面での課題もうかがえる。

Q8-1. 外出を控えている理由は、次のどれですか（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=330)	中央部 (n=50)	北東部 (n=73)	鴻南 (n=53)	南部 (n=102)	徳地 (n=31)	阿東 (n=21)
足腰などの痛み	42.4	44.0	37.0	34.0	47.1	48.4	47.6
外での楽しみがない	19.1	22.0	19.2	26.4	17.6	16.1	4.8
交通手段がない	17.9	14.0	20.5	9.4	19.6	29.0	14.3
トイレの心配（失禁など）	16.7	16.0	16.4	11.3	17.6	16.1	28.6
経済的に出られない	14.5	12.0	16.4	13.2	15.7	9.7	19.0
病気	13.6	14.0	20.5	17.0	6.9	19.4	4.8
耳の障がい（聞こえの問題など）	8.8	8.0	8.2	3.8	10.8	16.1	4.8
目の障がい	4.2	8.0	4.1	1.9	4.9	0.0	4.8
障がい（脳卒中の後遺症など）	3.9	4.0	4.1	7.5	2.9	3.2	0.0
その他	9.4	12.0	11.0	7.5	9.8	6.5	4.8
無回答	5.2	8.0	2.7	9.4	3.9	0.0	9.5

Q 9. 外出する際の移動手段は何ですか（全体）※複数回答可



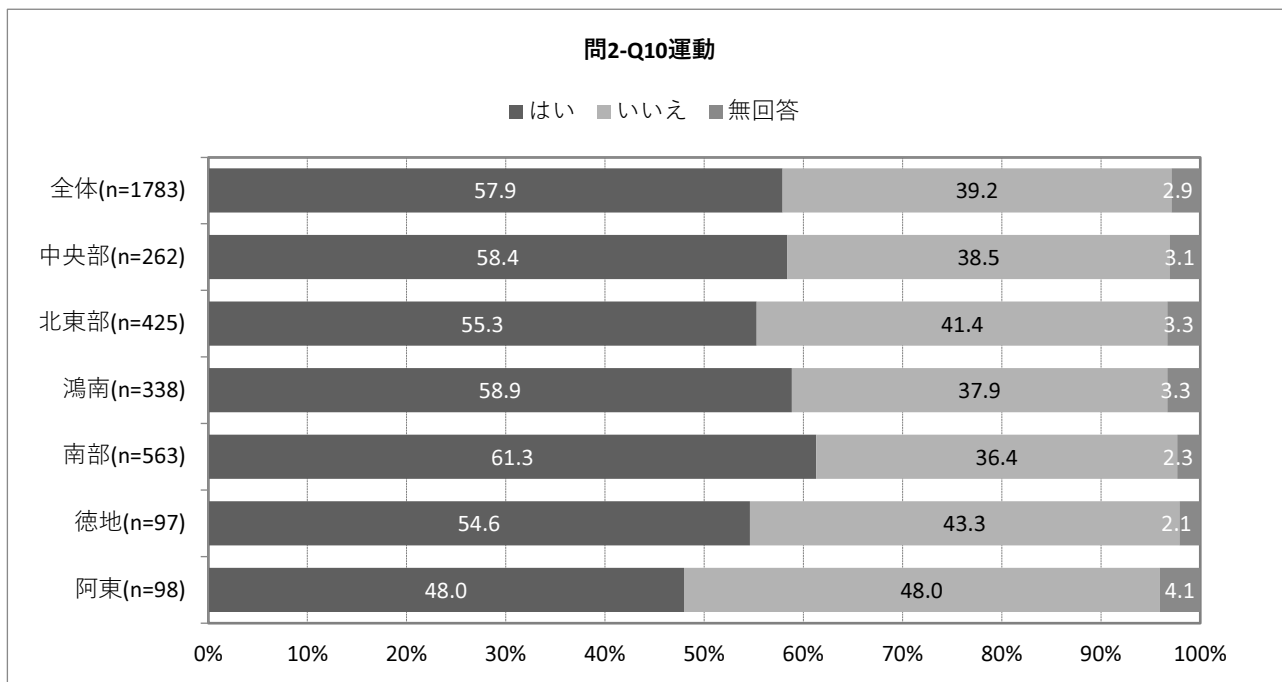
外出時の移動手段は「自動車（自分で運転）」が 66.2%と最も多く、高齢者の移動を自家用車が支えている実態がうかがえる。

Q 9. 外出する際の移動手段は何ですか（圏域別）

（単位：％）

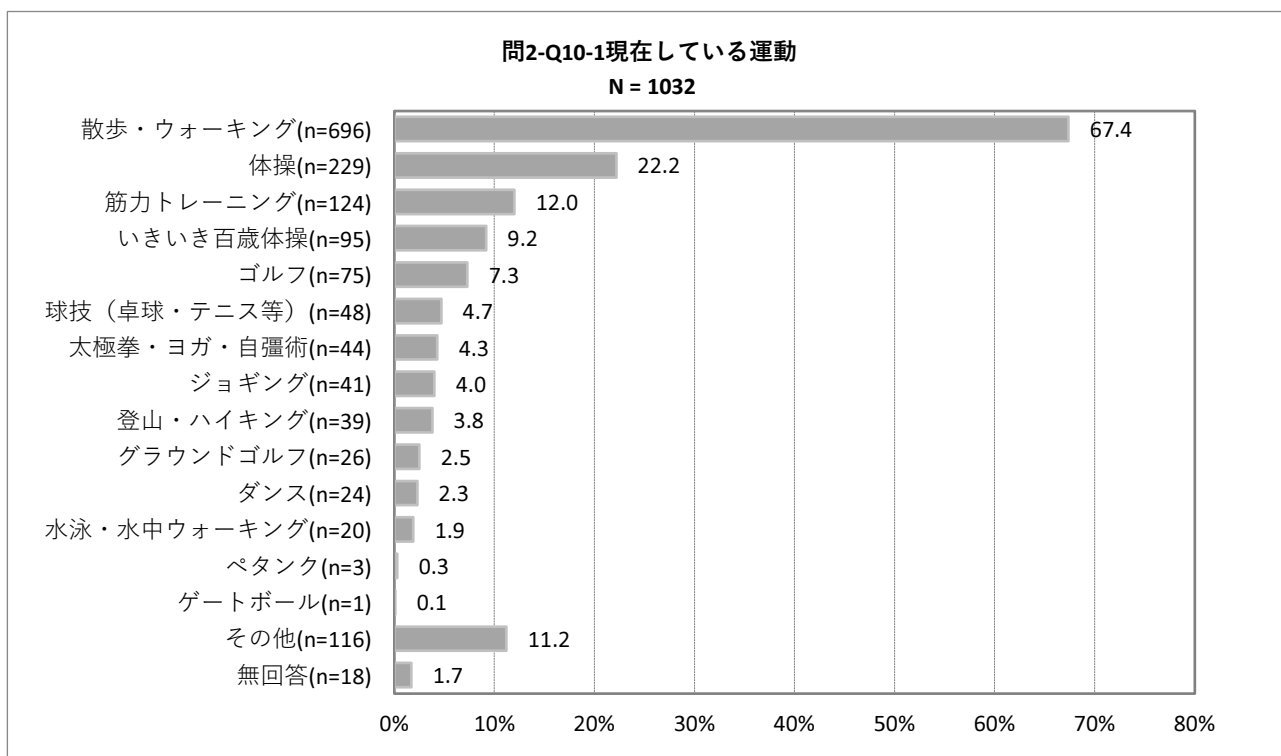
	全体 (n=1783)	中央部 (n=262)	北東部 (n=425)	鴻南 (n=338)	南部 (n=563)	徳地 (n=97)	阿東 (n=98)
自動車（自分で運転）	66.2	54.2	67.3	69.5	71.0	61.9	59.2
徒歩	40.8	60.7	35.8	43.2	37.8	26.8	32.7
自動車（人に乗せてもらう）	22.3	21.4	25.6	20.1	17.2	32.0	36.7
自転車	16.7	27.1	14.1	21.6	14.2	8.2	5.1
路線バス	14.1	24.0	15.8	12.1	11.2	12.4	5.1
タクシー	9.5	15.6	10.1	7.7	8.3	7.2	5.1
電車	5.1	6.1	3.1	5.3	6.4	2.1	6.1
バイク	1.9	1.1	2.6	1.5	2.3	1.0	1.0
歩行器・シルバーカー	1.5	0.8	0.9	0.9	2.0	1.0	6.1
病院や施設のバス	1.1	1.1	1.4	0.3	1.1	2.1	2.0
電動車いす（カート）	0.4	0.8	0.2	0.3	0.5	0.0	0.0
車いす	0.3	1.1	0.5	0.3	0.0	0.0	0.0
その他	0.8	0.8	0.5	0.0	1.4	1.0	2.0
無回答	2.4	3.1	1.9	3.0	1.8	2.1	5.1

Q 1 0 . 普段運動をしていますか（圏域別）



普段から運動をしている人は 57.9%と約 6 割を占め、健康維持への意識の高さがうかがえる。一方で、運動習慣がない人も 39.2%と 4 割近くみられる。

Q10-1. 現在している運動は何ですか（全体）※複数回答可



現在行っている運動は「散歩・ウォーキング」が67.4%と最も多い。また、「体操」（22.2%）や「筋力トレーニング」（12.0%）など、健康維持を意識した活動にも一定の参加がみられる。

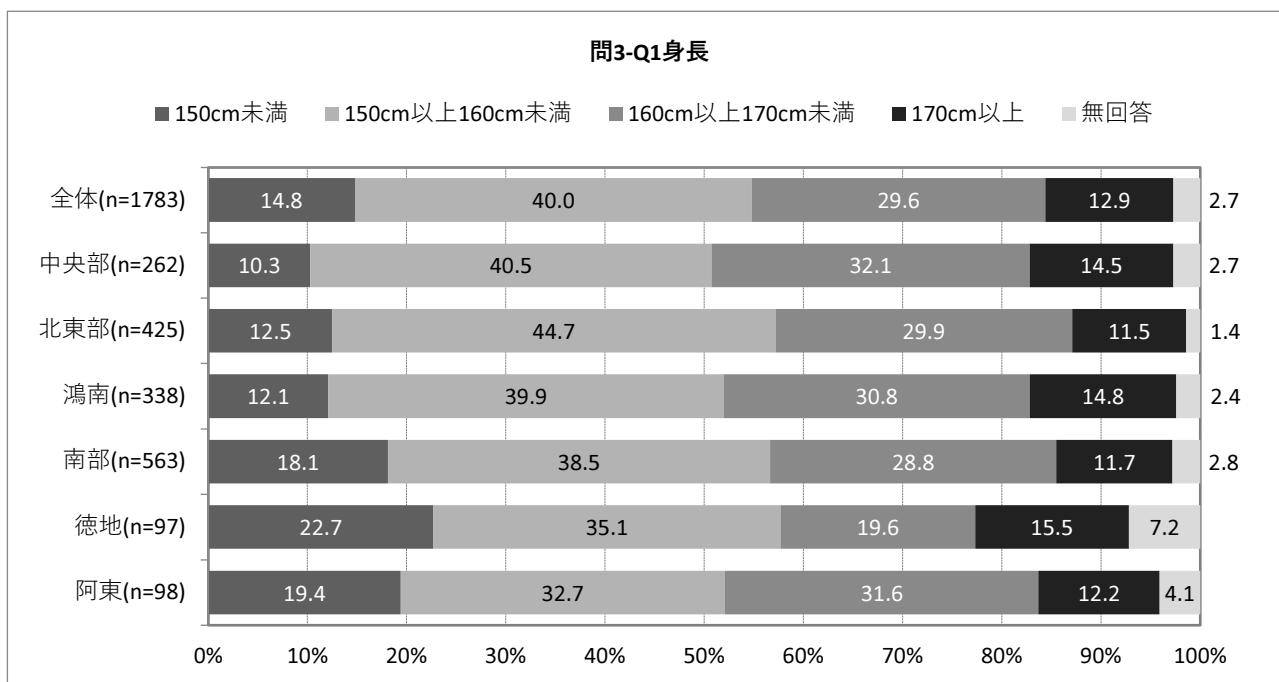
Q10-1. 現在している運動は何ですか（圏域別）

（単位：%）

	全体 (n=1032)	中央部 (n=153)	北東部 (n=235)	鴻南 (n=199)	南部 (n=345)	徳地 (n=53)	阿東 (n=47)
散歩・ウォーキング	67.4	74.5	67.2	68.8	64.1	64.2	68.1
体操	22.2	22.9	25.5	19.1	22.9	17.0	17.0
筋力トレーニング	12.0	13.7	11.1	16.6	10.7	7.5	6.4
いきいき百歳体操	9.2	2.0	13.2	7.0	9.9	18.9	6.4
ゴルフ	7.3	8.5	6.0	7.5	7.2	9.4	6.4
球技（卓球・テニス等）	4.7	3.9	3.8	6.5	5.2	3.8	0.0
太極拳・ヨガ・自彊術	4.3	4.6	3.4	4.0	4.9	3.8	4.3
ジョギング	4.0	5.2	3.4	5.5	2.6	7.5	2.1
登山・ハイキング	3.8	5.9	2.6	4.5	3.5	3.8	2.1
グラウンドゴルフ	2.5	0.7	0.4	3.0	4.3	1.9	4.3
ダンス	2.3	3.3	2.1	3.5	2.0	0.0	0.0
水泳・水中ウォーキング	1.9	2.0	3.4	2.5	1.2	0.0	0.0
ペタンク	0.3	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
ゲートボール	0.1	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
その他	11.2	11.8	9.8	11.6	13.0	3.8	10.6
無回答	1.7	0.7	1.3	2.0	1.2	3.8	8.5

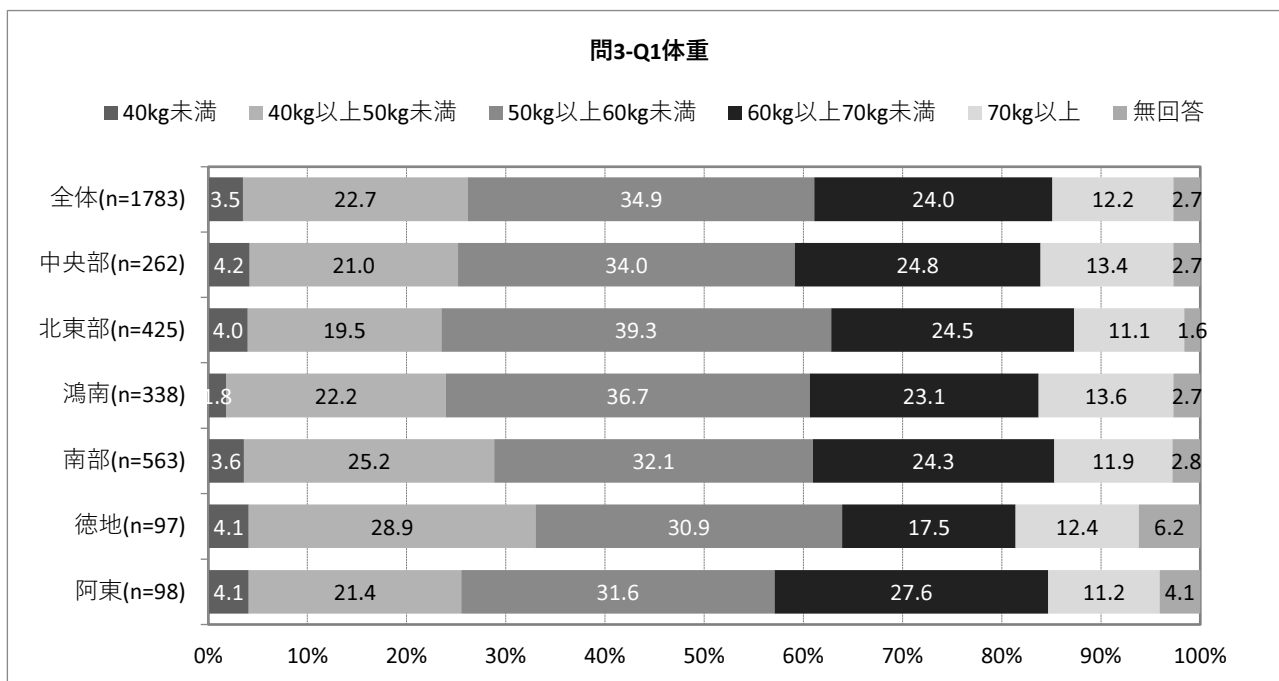
問3 食べることについて

Q1. 身長（圏域別）



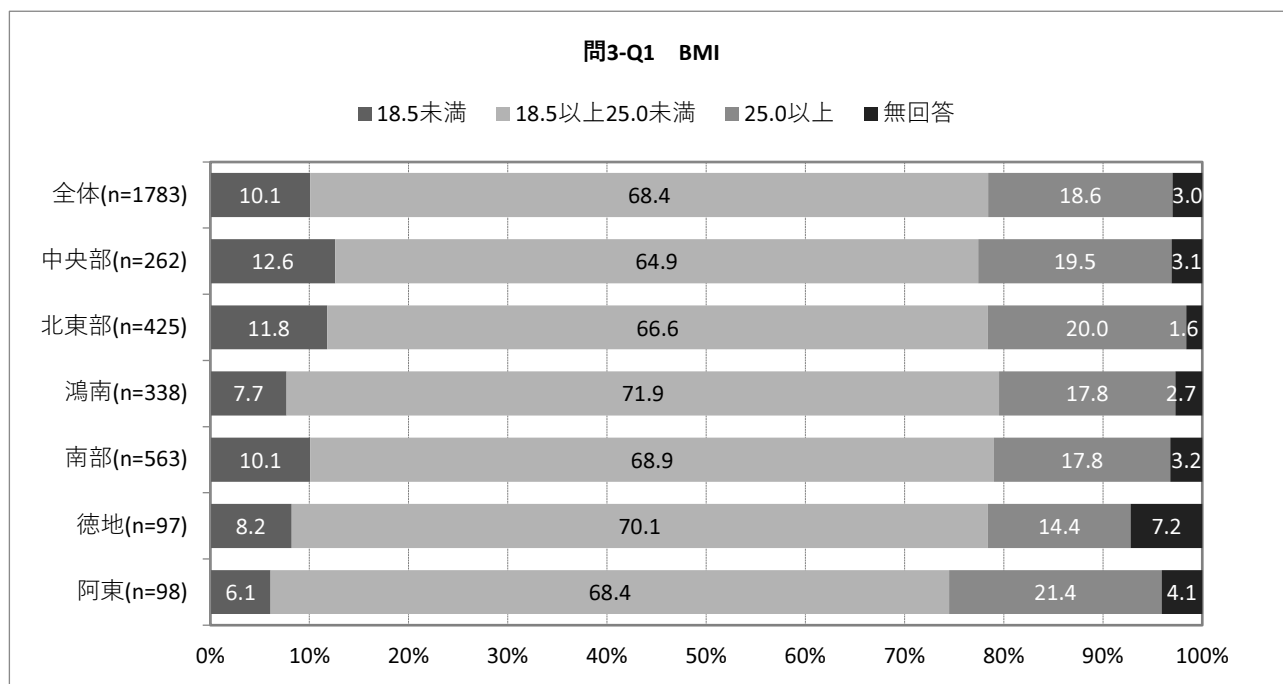
身長は「150cm 以上 160cm 未満」が40.0%と最も多く、次いで「160cm 以上 170cm 未満」が29.6%と続いた。全体として150～170cm 未満の層が大半を占める。

Q1. 体重（圏域別）



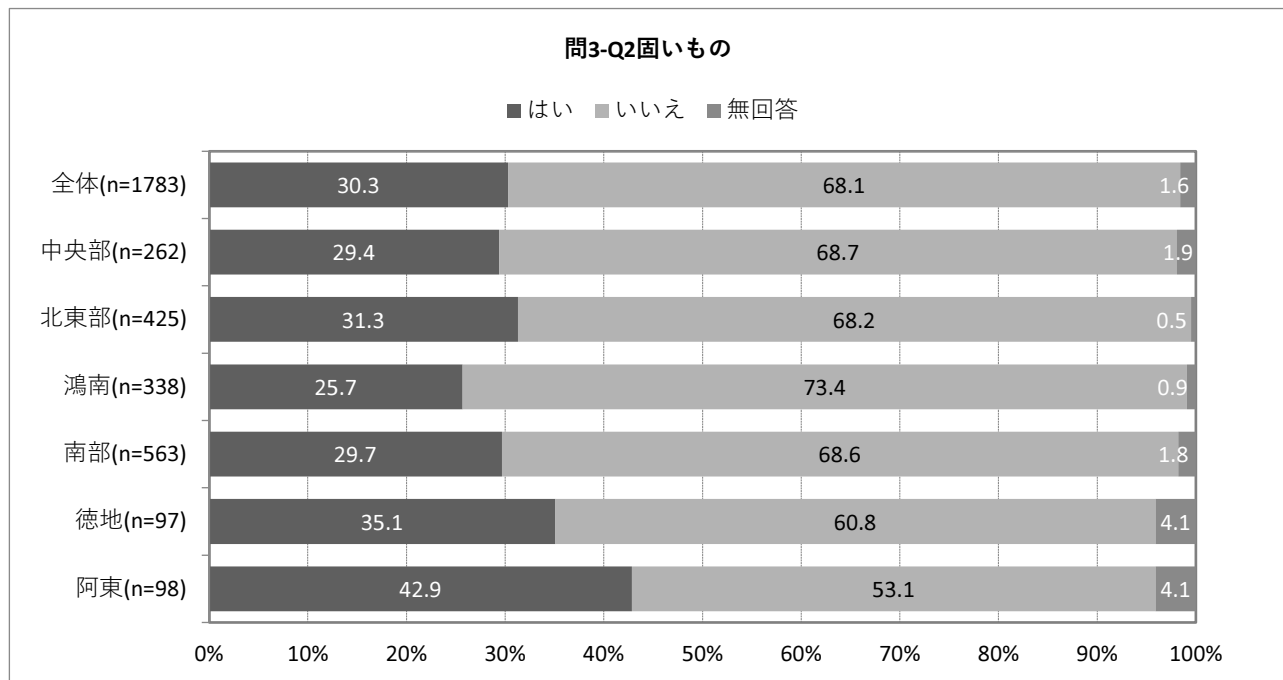
体重は「50kg 以上 60kg 未満」が34.9%と最も多く、次いで「60kg 以上 70kg 未満」(24.0%)、「40kg 以上 50kg 未満」(22.7%)が続いた。全体として、40kg 台から60kg 台の層が中心となっている。

Q 1. BMI（圏域別）



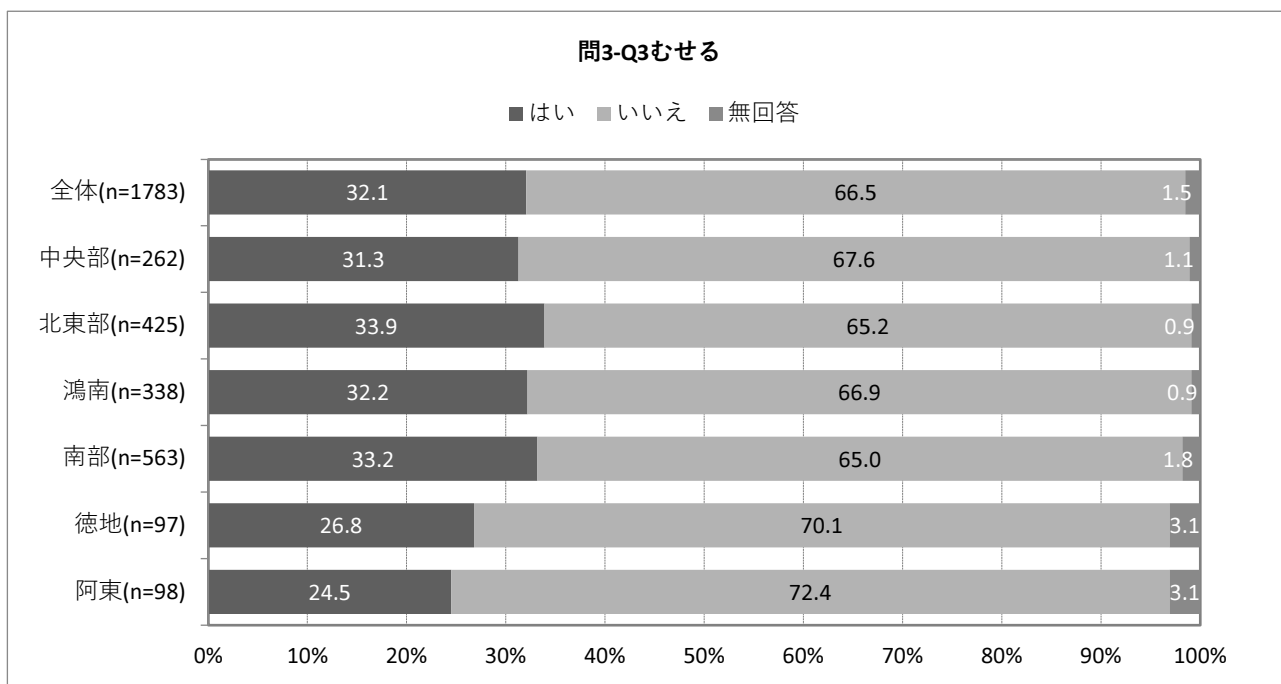
BMI は「18.5 以上 25.0 未満」の標準体重に該当する人が 68.4%と約 7 割を占めた。一方で、「25.0 以上」の人も 18.6%と 2 割近くみられる。

Q 2. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（圏域別）



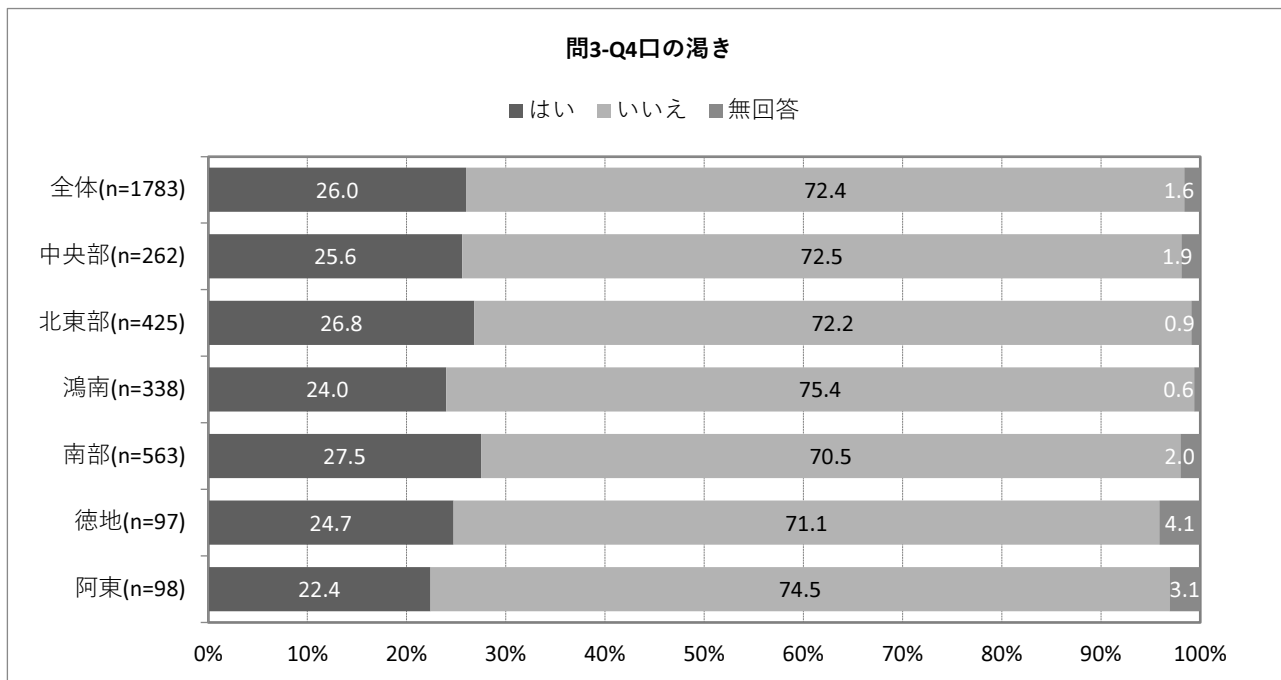
半年前に比べて「固いものが食べにくくなった」と感じている人は 30.3%と 3 割を占めた。加齢に伴う噛む力や口腔機能の低下が、日常生活に影響している可能性がうかがえる。

Q 3. お茶や汁物等でむせることがありますか（圏域別）



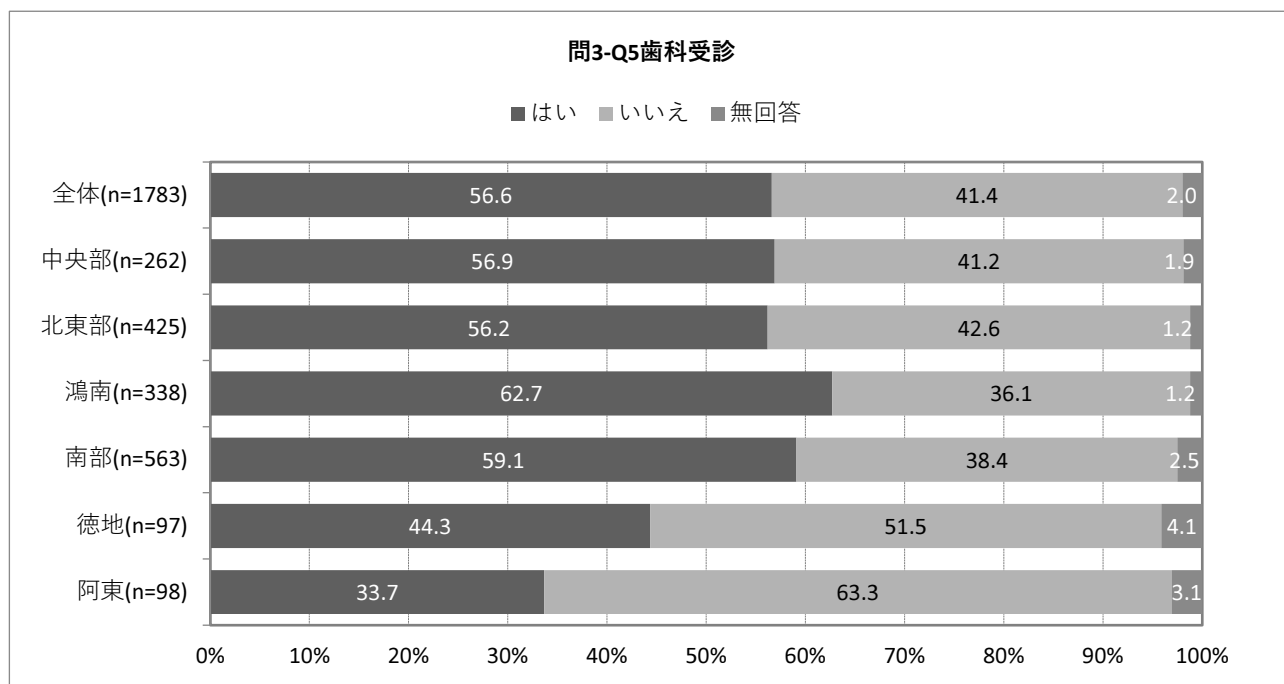
お茶や汁物などで「むせることがある」と回答した人は 32.1% と 3 割を超えた。誤嚥予防や口腔機能の維持が重要と考えられる。

Q 4. 口の渇きが気になりますか（圏域別）



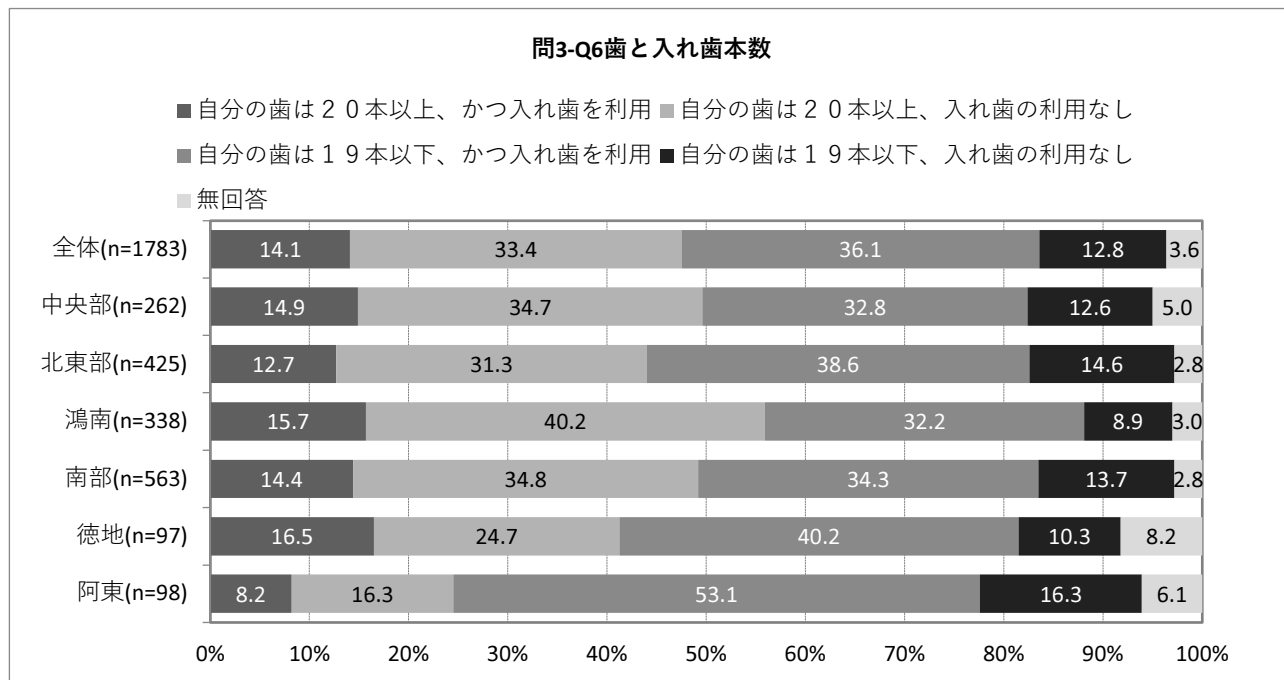
口の渇きが「気になる」と回答した人は 26.0% で約 4 人に 1 人みられる。加齢や服薬などによる口腔環境の変化が、日常生活に影響している可能性がうかがえる。

Q 5. 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか（圏域別）



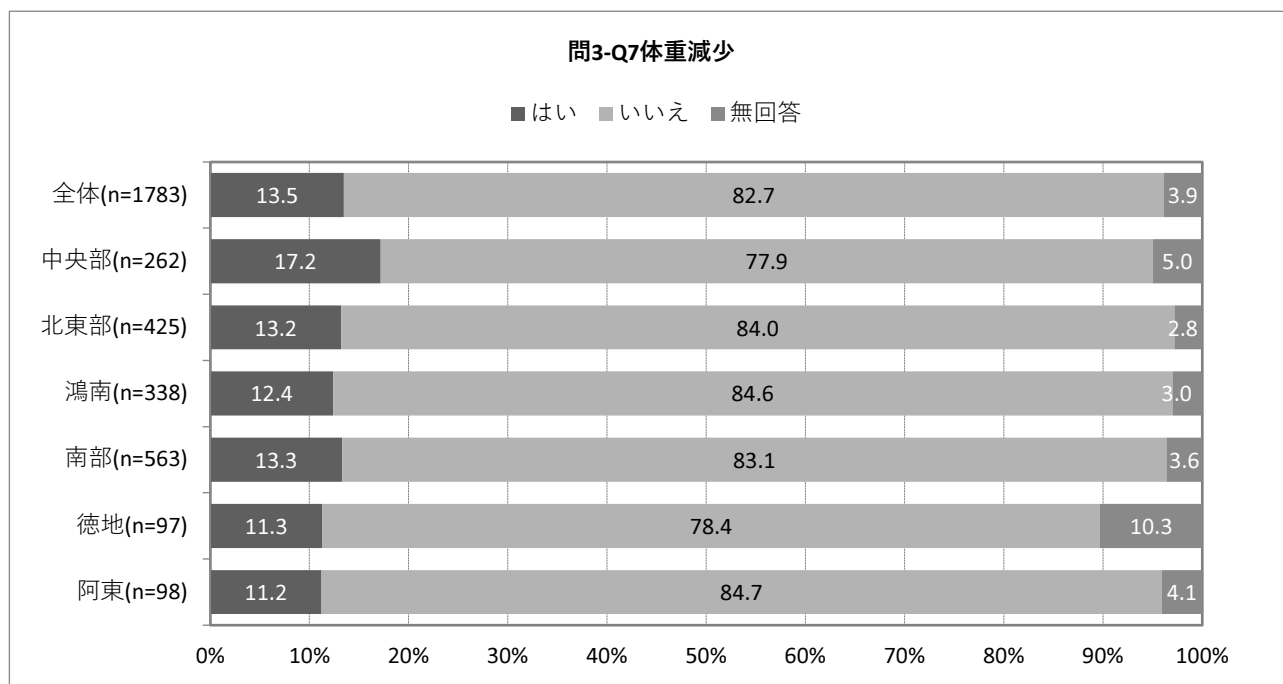
定期的に歯科受診や健診を受けている人は 56.6%と半数を超え、口腔ケアへの意識が一定程度みられた。一方で、受診していない人も 41.4%と 4 割を超えており、継続的な受診啓発が課題といえる。

Q 6. 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください（圏域別）



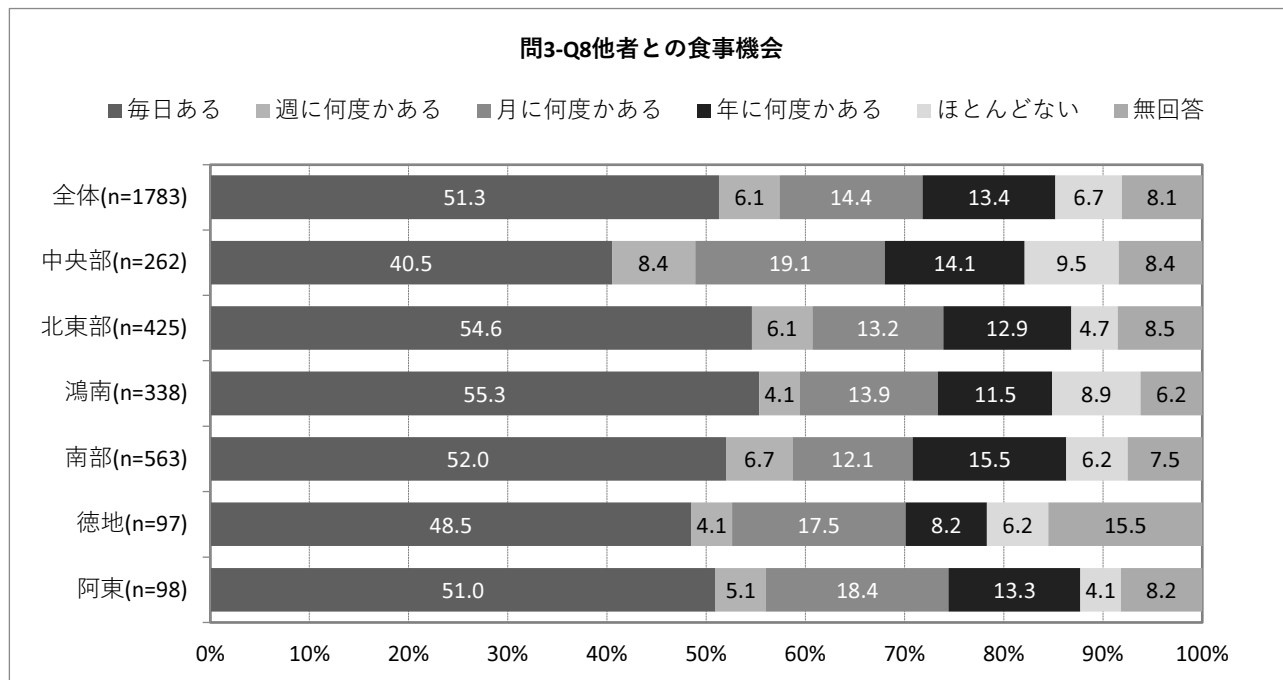
「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」している人が 36.1%と最も多い。「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」(14.1%)、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」(33.4%) と、自分の歯を 20 本以上保っている人は 4 割を超える。

Q 7. 6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか（圏域別）



6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少が「あった」と回答した人は 13.5%と 1 割強みられた。急な体重減少は健康状態の変化につながる可能性があると考えられる。

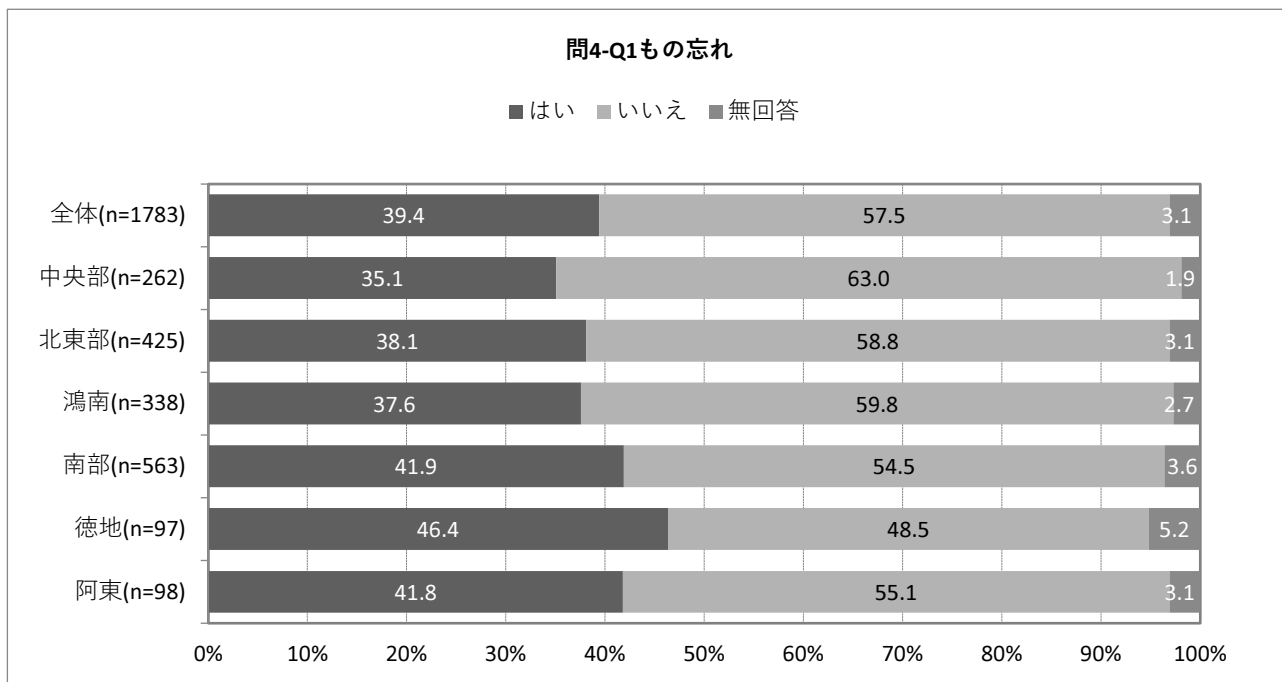
Q 8. どなたかと食事をとにもする機会がありますか（圏域別）



誰かと食事をとにもする機会が「毎日ある」人は 51.3%と半数を超えた。一方で、「ほとんどない」人も 6.7%と一定数みられる。交流機会の少なさや孤食の課題もうかがえる。

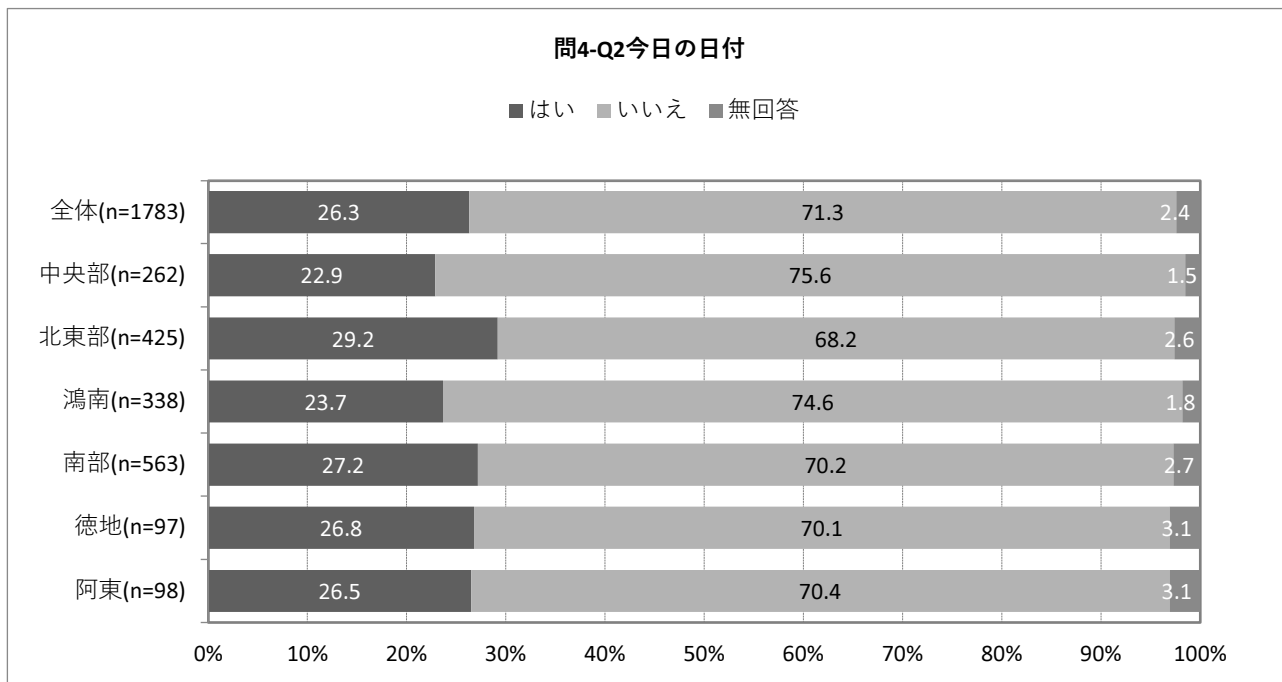
問4 毎日の生活について

Q1. 物忘れが多いと感じますか（圏域別）



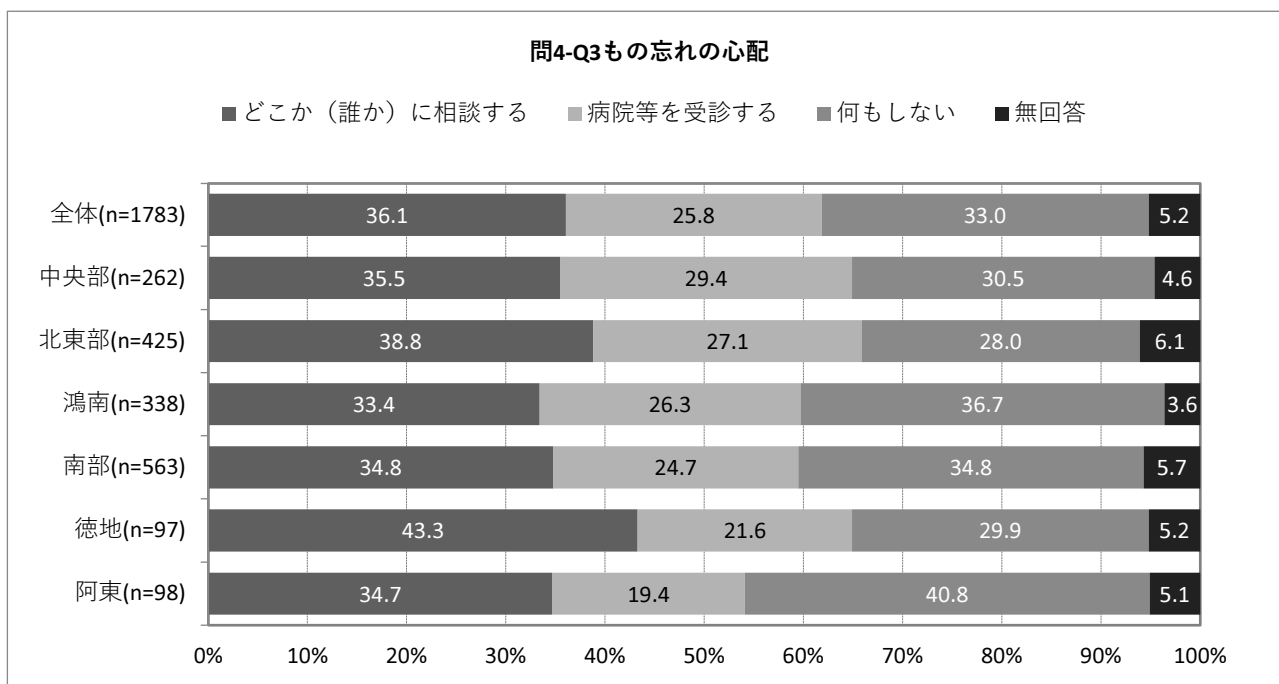
「物忘れが多いと感じる」と回答した人は 39.4%と約 4 割にのぼった。認知機能の維持に向けた取組の重要性がうかがえる。

Q2. 今日が何月何日かわからない時がありますか（圏域別）



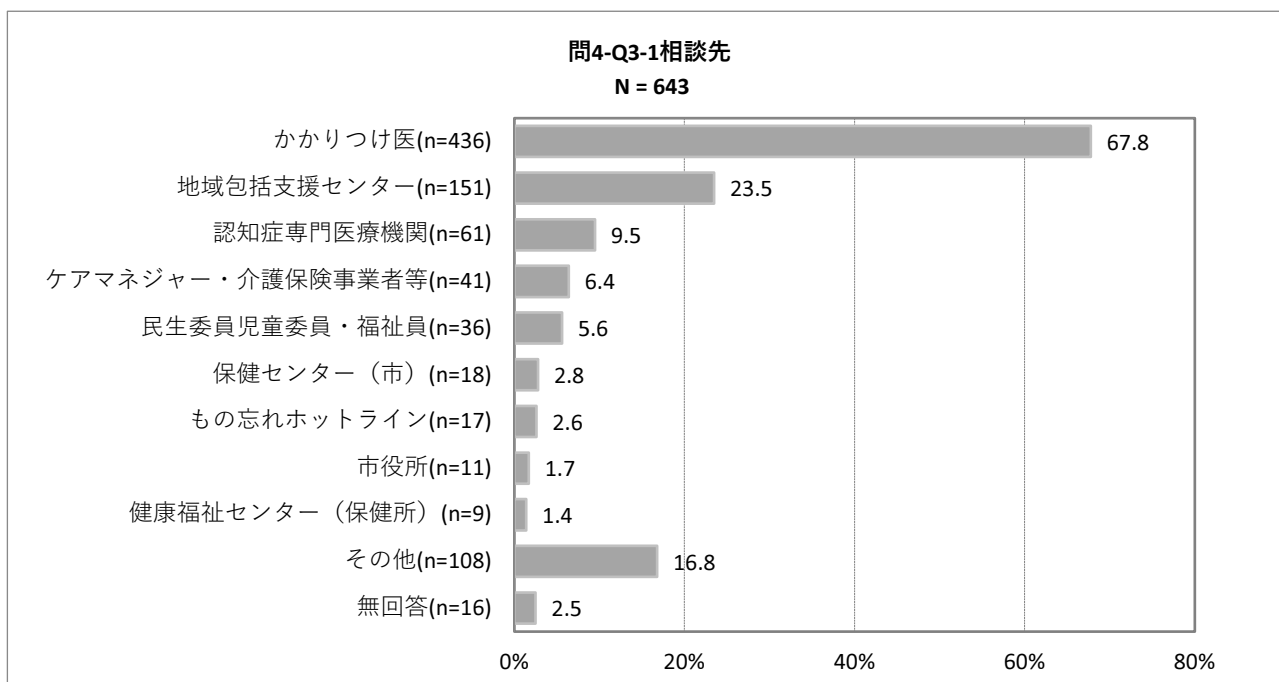
「今日が何月何日かわからない時がある」と回答した人は 26.3%と約 4 人に 1 人みられた。

Q 3. 自分や家族にもの忘れの心配があるとき、どうしますか（圏域別）



もの忘れへの不安がある際、「どこかに相談する」と回答した人が 36.1%と最も多かった一方で、「何もしない」人も 33.0%と 3 割を超えた。早期相談や受診につなげるための周知・支援の重要性がうかがえる。

Q 3 - 1. 自分や家族にもの忘れの心配があるとき、どこに（誰に）相談しますか（全体）※複数回答可



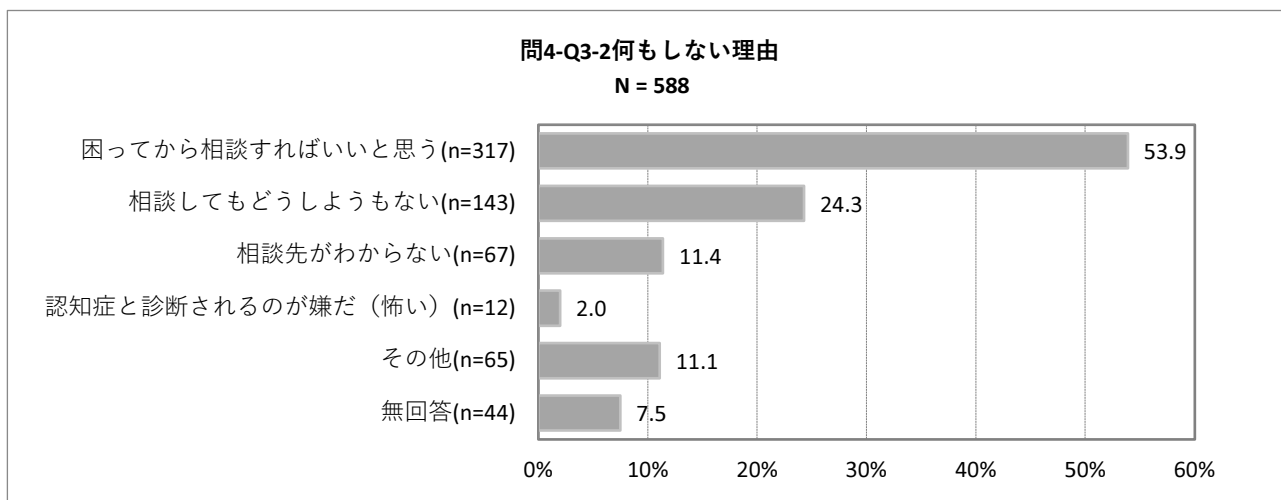
もの忘れの不安についての相談先は「かかりつけ医」が 67.8%と最も多く、身近な医療機関が重要な役割を担っていることが分かる。一方で、「地域包括支援センター」（23.5%）など地域の支援機関も一定程度認知されている。

Q 3 - 1. 自分や家族にもの忘れの心配があるとき、どこに（誰に）相談しますか（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=643)	中央部 (n=93)	北東部 (n=165)	鴻南 (n=113)	南部 (n=196)	徳地 (n=42)	阿東 (n=34)
かかりつけ医	67.8	64.5	67.3	69.9	62.2	81.0	88.2
地域包括支援センター	23.5	29.0	21.8	26.5	23.5	16.7	14.7
認知症専門医療機関	9.5	14.0	9.7	14.2	6.6	4.8	2.9
ケアマネジャー・介護保険事業者等	6.4	10.8	4.8	4.4	7.1	4.8	5.9
民生委員児童委員・福祉員	5.6	4.3	4.2	0.9	8.2	14.3	5.9
保健センター（市）	2.8	6.5	1.8	2.7	1.5	0.0	8.8
もの忘れホットライン	2.6	2.2	2.4	2.7	3.1	2.4	2.9
市役所	1.7	3.2	1.2	3.5	1.0	0.0	0.0
健康福祉センター（保健所）	1.4	2.2	0.6	0.0	1.5	2.4	5.9
その他	16.8	14.0	19.4	15.0	19.4	16.7	2.9
無回答	2.5	3.2	1.8	0.0	3.6	4.8	2.9

Q3-2. 自分や家族にもの忘れの心配があるとき、何もしないのはなぜですか（全体）※複数回答可



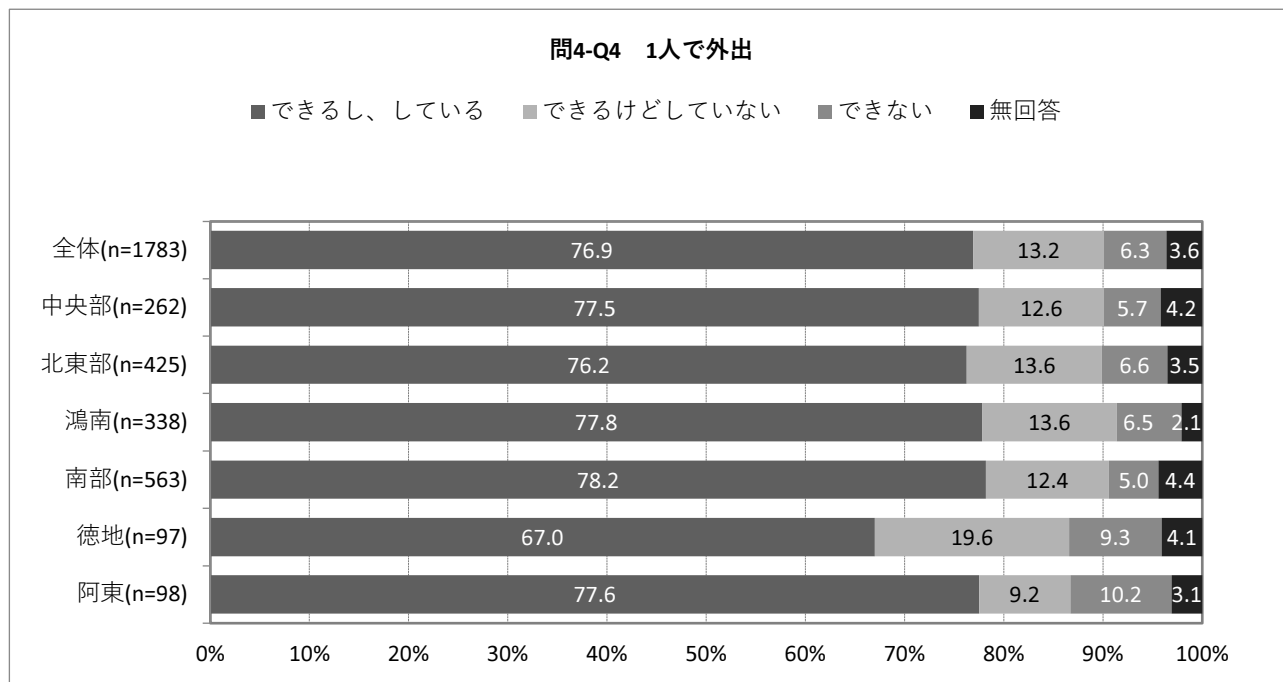
「困ってから相談すればいい」と考えている人が53.9%と半数を超え、もの忘れへの対応を急がない傾向がみられた。一方で、「相談してもどうしようもない」（24.3%）、「相談先がわからない」（11.4%）といった回答もあった。

Q3-2. 自分や家族にもの忘れの心配があるとき、何もしないのはなぜですか（圏域別）

（単位：％）

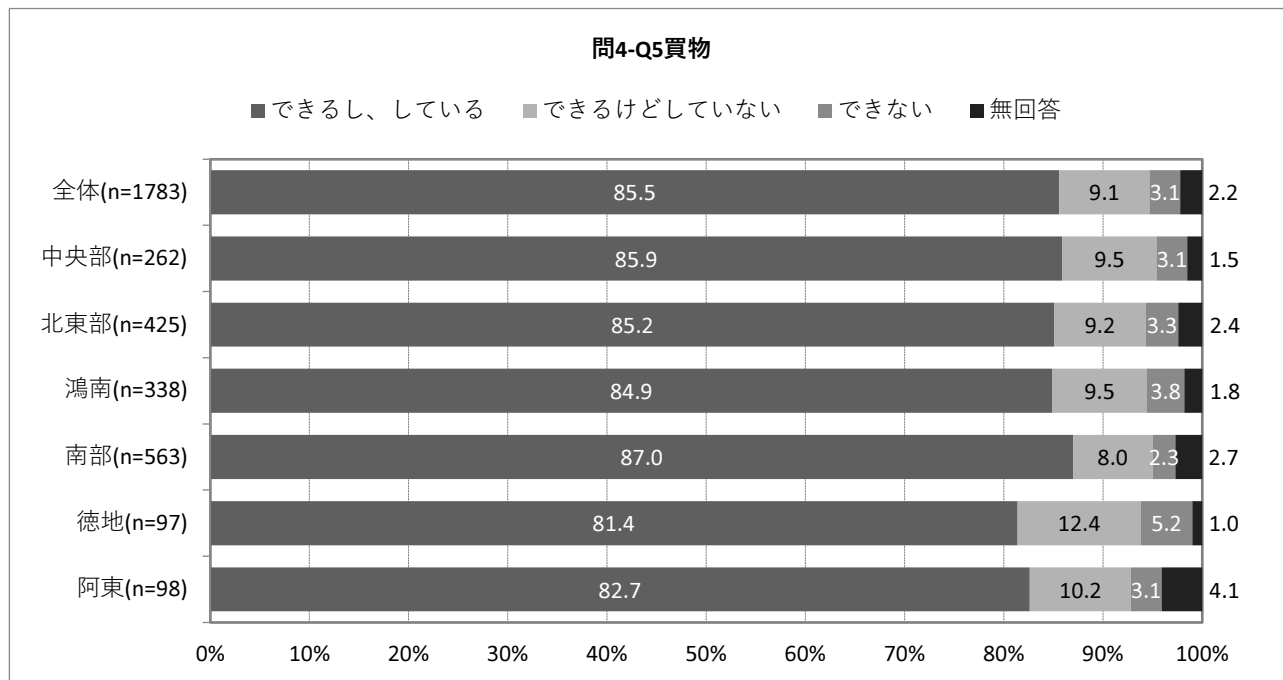
	全体 (n=588)	中央部 (n=80)	北東部 (n=119)	鴻南 (n=124)	南部 (n=196)	徳地 (n=29)	阿東 (n=40)
困ってから相談すればいいと思う	53.9	52.5	61.3	47.6	55.1	65.5	40.0
相談してもどうしようもない	24.3	20.0	18.5	26.6	29.1	10.3	30.0
相談先がわからない	11.4	8.8	10.1	13.7	12.8	10.3	7.5
認知症と診断されるのが嫌だ（怖い）	2.0	2.5	0.8	2.4	2.6	0.0	2.5
その他	11.1	13.8	9.2	10.5	10.7	13.8	12.5
無回答	7.5	7.5	10.1	6.5	5.6	10.3	10.0

Q 4. バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）（圏域別）



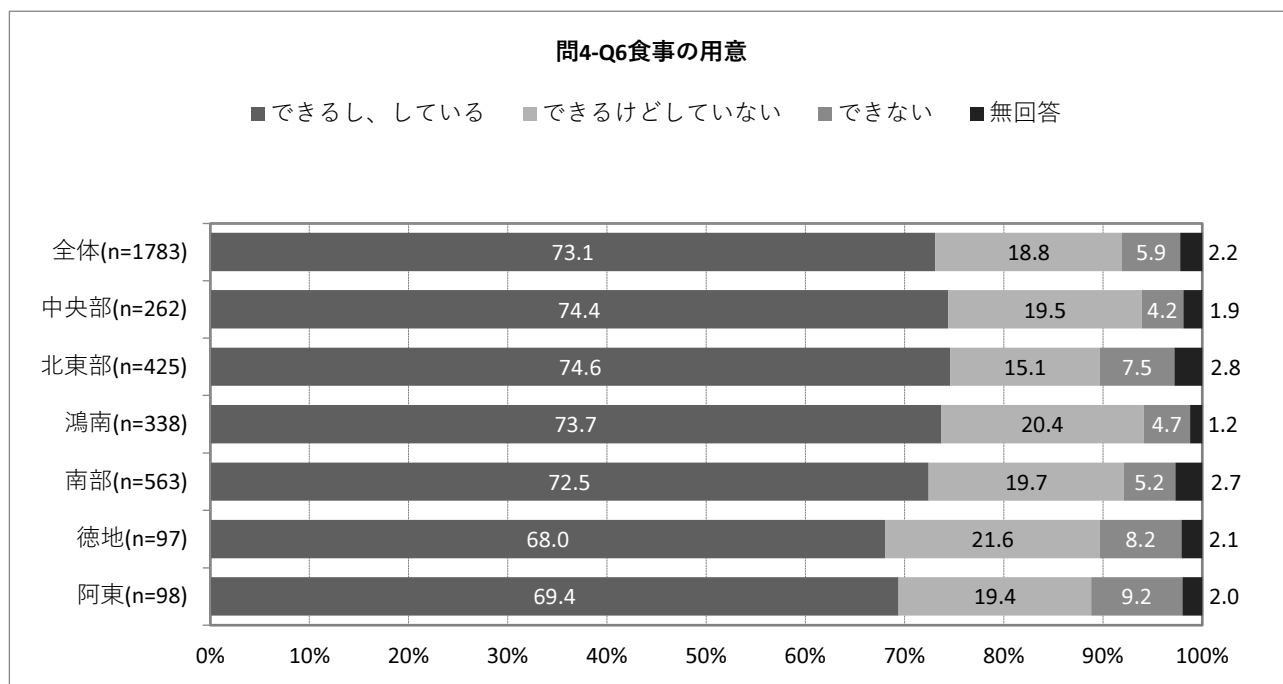
バスや電車を使って一人で外出できる人は 76.9%と約 8 割を占める。一方で、「できるけどしていない」人も 13.2%と一定数みられ、移動手段の利用機会や環境面の影響も考えられる。

Q 5. 自分で食品・日用品の買物をしていますか（圏域別）



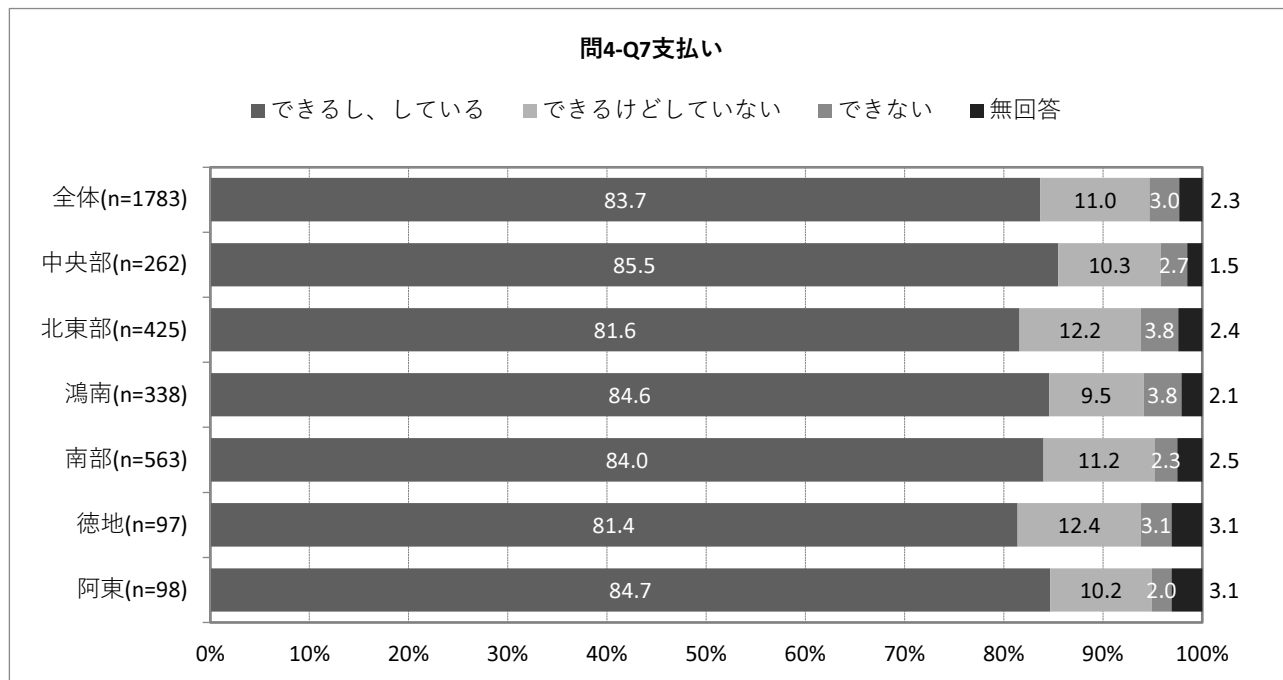
自分で食品や日用品の買物をしている人は 85.5%と 8 割を超え、日常生活における自立度の高さがうかがえた。一方で、「できるけどしていない」人も 9.1%と一定数みられ、家族支援や生活環境の影響も考えられる。

Q 6. 自分で食事の用意をしていますか（圏域別）



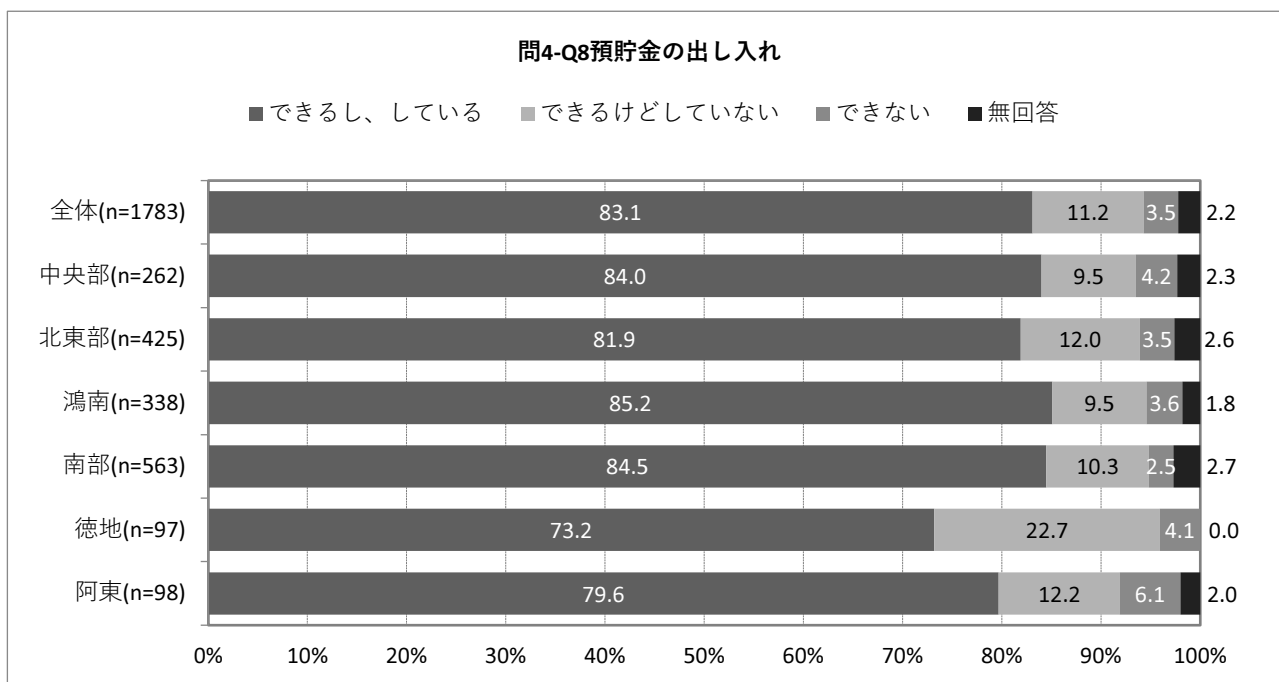
自分で食事の用意をしている人は 73.1%と 7 割を超え、高齢者の生活自立度の高さがうかがえる。一方で、「できるけどしていない」人も 18.8%と 2 割近くみられる。

Q 7. 自分で請求書の支払いをしていますか（圏域別）



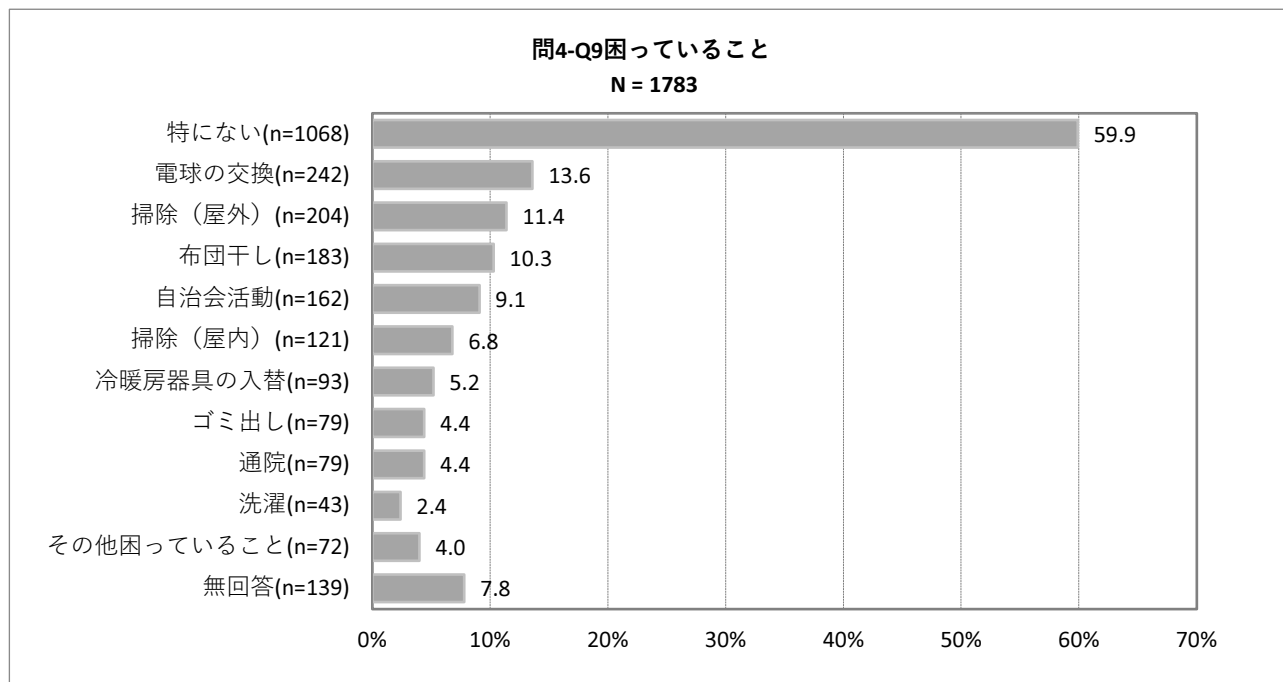
自分で請求書の支払いをしている人は 83.7%と 8 割を超え、金銭管理を含めた日常生活の自立が維持されている。一方で、支払いが「できない」人も 3.0%と一定数みられる。

Q 8. 自分で預貯金の出し入れをしていますか（圏域別）



自分で預貯金の出し入れをしている人は83.1%と8割を超え、金銭管理に関する自立度の高さがうかがえた。一方で、「できるけどしていない」人も11.2%と一定数みられる。

Q 9. 以下の項目で困っていることはありますか（全体）※複数回答可



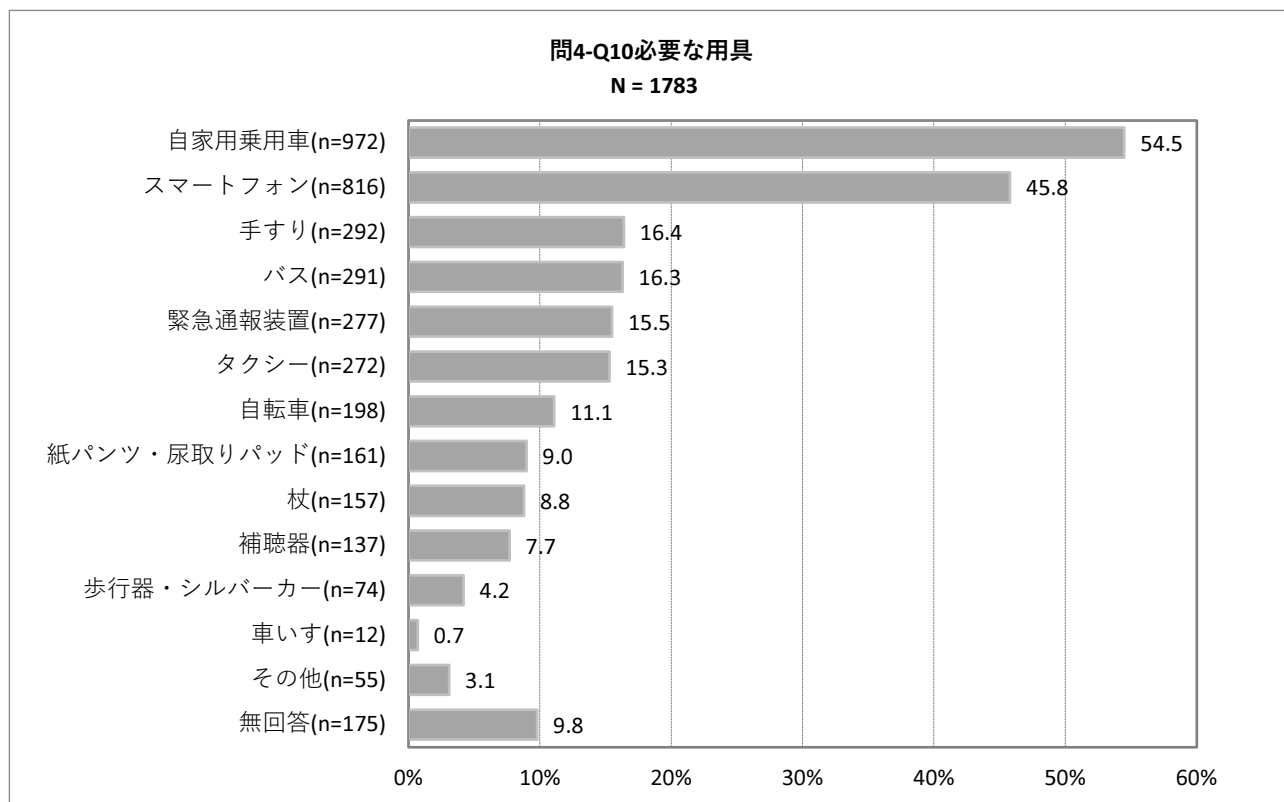
「特にない」と回答した人が 59.9%と約 6 割を占める一方で、「電球の交換」(13.6%) や「屋外の掃除」(11.4%)、「布団干し」(10.3%) など、身体的負担を伴う作業に困りごとを抱える人が一定数みられた。

Q 9. 以下の項目で困っていることはありますか（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=1783)	中央部 (n=262)	北東部 (n=425)	鴻南 (n=338)	南部 (n=563)	徳地 (n=97)	阿東 (n=98)
特にない	59.9	62.6	60.2	63.9	58.3	54.6	52.0
電球の交換	13.6	15.3	15.5	11.5	13.1	13.4	10.2
掃除（屋外）	11.4	9.5	12.0	10.4	10.5	16.5	18.4
布団干し	10.3	9.2	12.0	7.4	10.3	10.3	15.3
自治会活動	9.1	4.6	8.7	11.2	9.4	12.4	10.2
掃除（屋内）	6.8	8.0	6.1	5.9	6.6	7.2	10.2
冷暖房器具の入替	5.2	4.2	5.9	4.7	5.0	9.3	4.1
ゴミ出し	4.4	4.6	4.0	4.4	4.4	7.2	3.1
通院	4.4	3.4	5.4	2.4	4.1	10.3	6.1
洗濯	2.4	3.8	1.4	2.7	2.0	3.1	4.1
その他困っていること	4.0	4.6	3.8	2.1	4.8	6.2	4.1
無回答	7.8	6.5	6.4	6.8	9.2	9.3	11.2

Q 10. 自立した日常生活を続けるうえで必要と感じるものは何ですか（全体）※3つまで



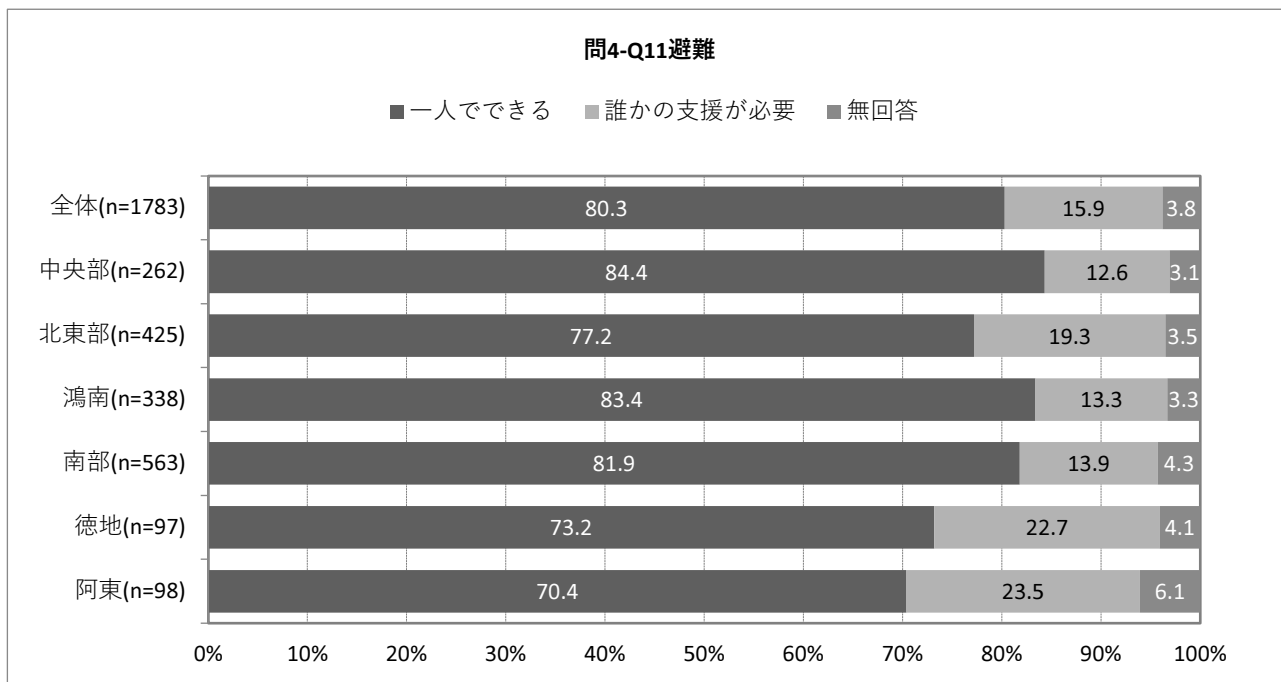
自立した日常生活を続けるうえで、「自家用乗用車」（54.5％）や「スマートフォン」（45.8％）を必要とする人が多い。また、「手すり」（16.4％）など、安全・安心を支える設備へのニーズもみられた。

Q 10. 自立した日常生活を続けるうえで必要と感じるものは何ですか（圏域別）

（単位：％）

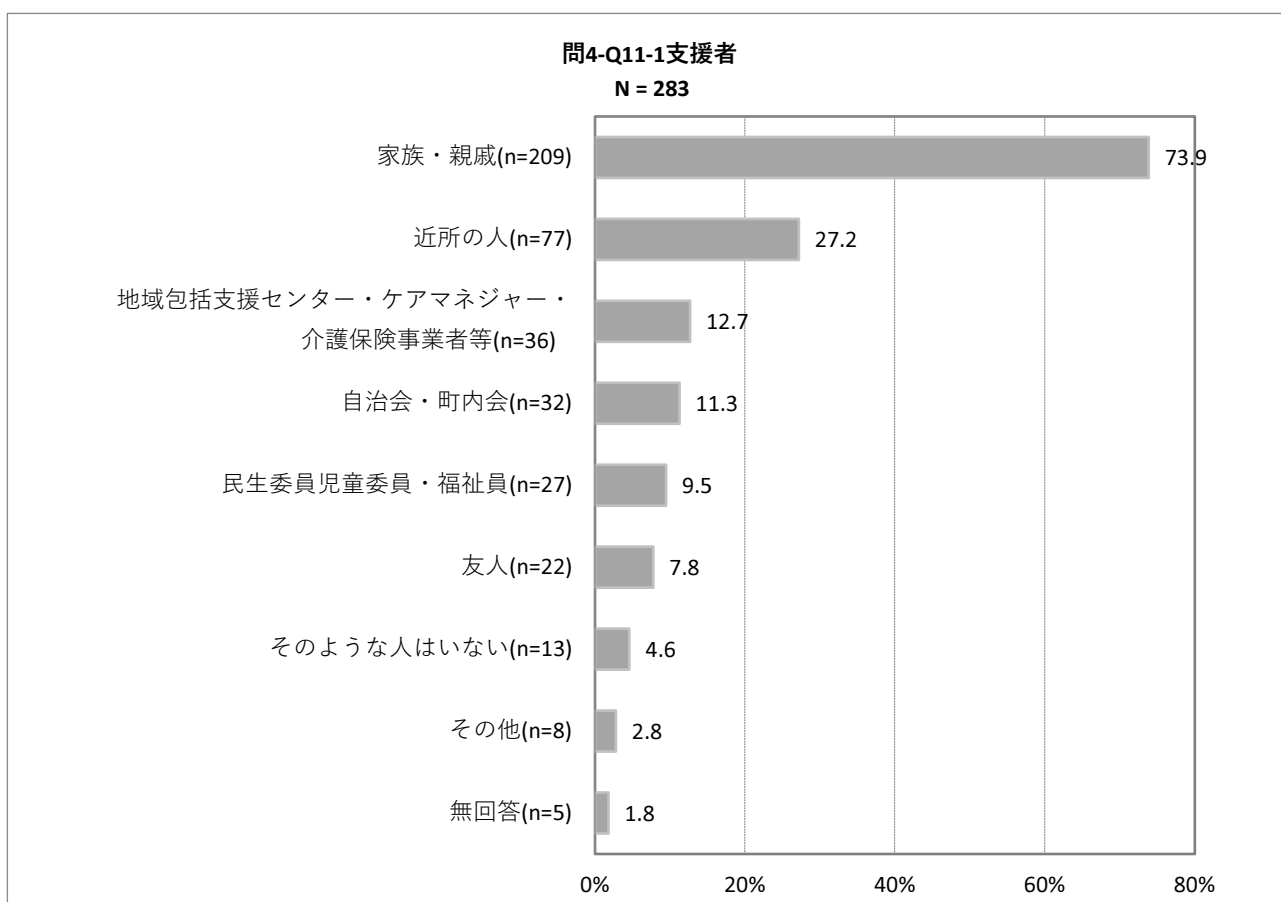
	全体 (n=1783)	中央部 (n=262)	北東部 (n=425)	鴻南 (n=338)	南部 (n=563)	徳地 (n=97)	阿東 (n=98)
自家用乗用車	54.5	47.3	54.4	60.1	56.8	47.4	49.0
スマートフォン	45.8	51.1	46.6	47.6	44.4	37.1	37.8
手すり	16.4	19.5	15.1	18.3	15.5	16.5	12.2
バス	16.3	26.3	18.4	14.5	11.5	16.5	14.3
緊急通報装置	15.5	14.1	14.1	13.6	18.5	17.5	13.3
タクシー	15.3	22.1	15.5	14.8	13.0	12.4	13.3
自転車	11.1	16.0	8.7	14.8	11.2	5.2	1.0
紙パンツ・尿取りパッド	9.0	9.2	11.1	6.2	7.6	13.4	13.3
杖	8.8	6.9	10.4	8.3	6.9	15.5	13.3
補聴器	7.7	4.6	8.7	6.5	8.0	12.4	9.2
歩行器・シルバーカー	4.2	3.1	4.0	2.7	5.2	5.2	6.1
車いす	0.7	2.3	0.2	0.6	0.2	1.0	1.0
その他	3.1	3.1	2.4	3.6	3.4	2.1	4.1
無回答	9.8	7.3	9.4	8.3	11.5	12.4	11.2

Q 1 1. 災害時に、一人で避難することができますか（圏域別）



災害時に「一人で避難できる」と回答した人が 80.3%と 8 割を占め、自立した避難行動が可能な人が多い結果となった。一方で、「誰かの支援が必要」とする人も 15.9%と一定数みられる。

Q 1 1－1. 誰かの支援が必要な方の支援者は誰ですか（全体）※複数回答可



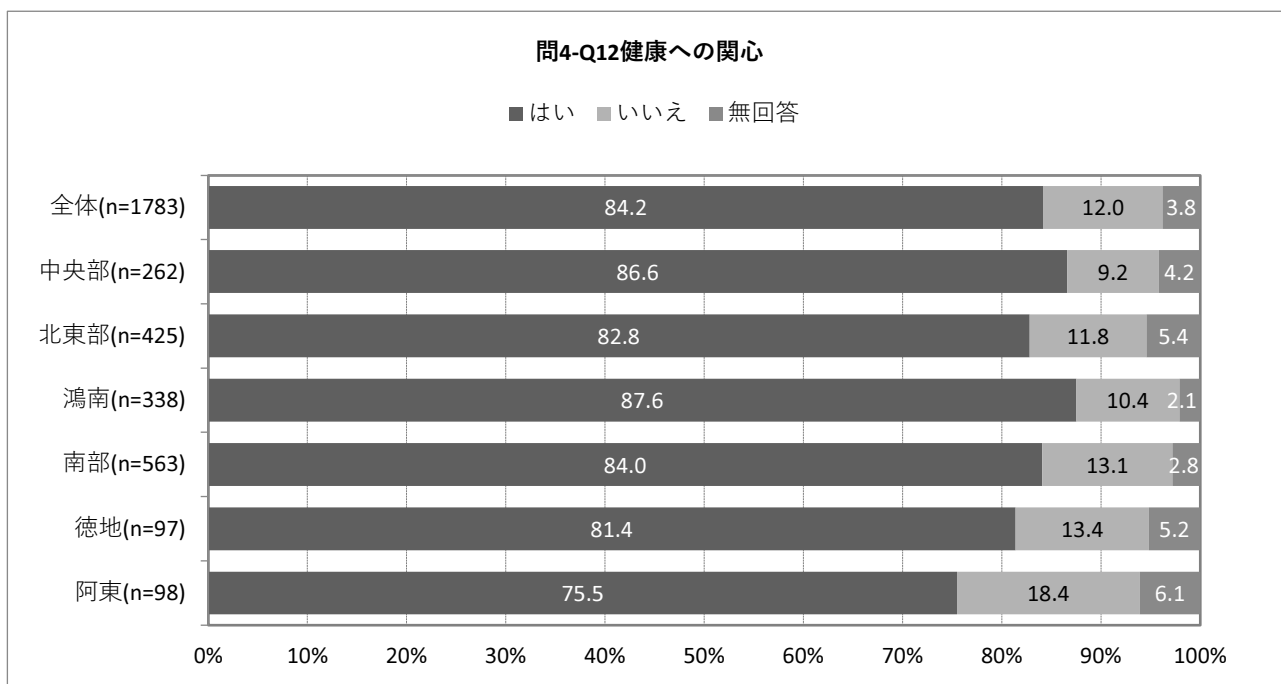
災害時に支援が必要な人の支援者は「家族・親戚」が73.9%と最も多く、身近な人による支えが中心となっていることが分かった。一方で、「近所の人」(27.2%)や「自治会・町内会」(11.3%)など地域による支援も一定数みられる。

Q 1 1－1. 誰かの支援が必要な方の支援者は誰ですか（圏域別）

（単位：％）

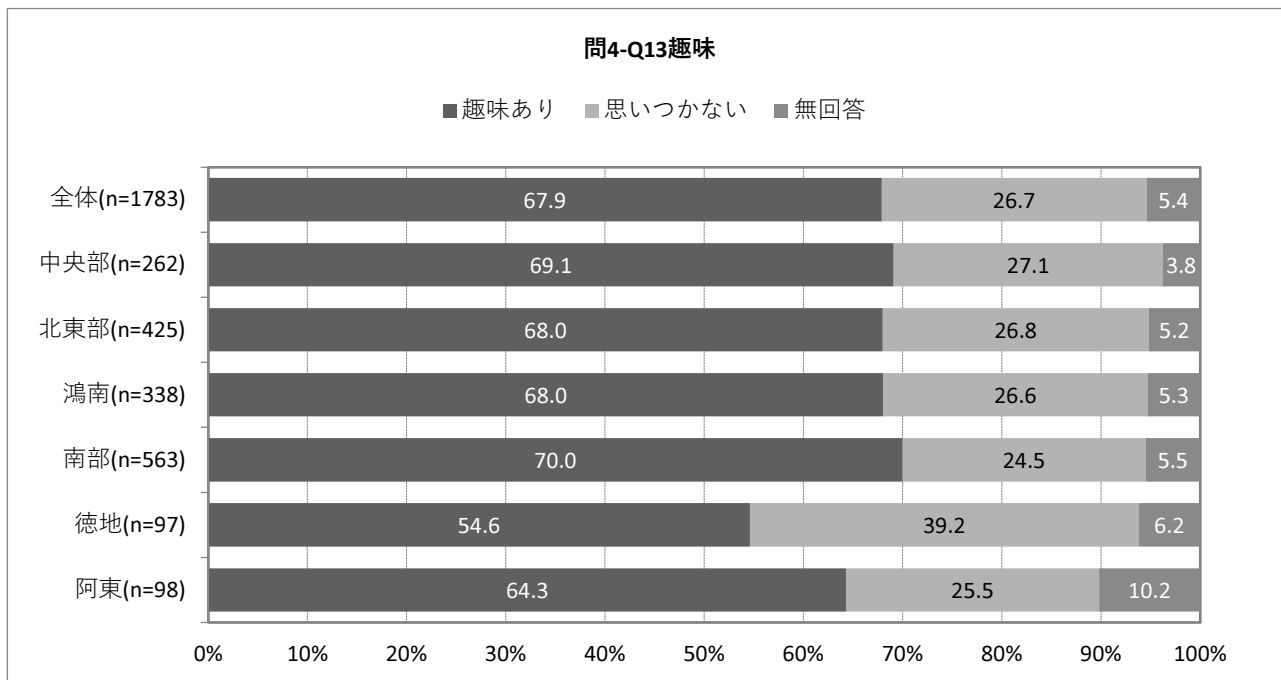
	全体 (n=283)	中央部 (n=33)	北東部 (n=82)	鴻南 (n=45)	南部 (n=78)	徳地 (n=22)	阿東 (n=23)
家族・親戚	73.9	66.7	80.5	80.0	66.7	72.7	73.9
近所の人	27.2	18.2	24.4	20.0	37.2	27.3	30.4
地域包括支援センター・ ケアマネジャー・介護保険事業者等	12.7	12.1	7.3	13.3	19.2	9.1	13.0
自治会・町内会	11.3	12.1	8.5	13.3	11.5	13.6	13.0
民生委員児童委員・福祉員	9.5	15.2	9.8	4.4	9.0	18.2	4.3
友人	7.8	6.1	4.9	8.9	10.3	4.5	13.0
そのような人はいない	4.6	9.1	0.0	6.7	5.1	4.5	8.7
その他	2.8	6.1	3.7	0.0	3.8	0.0	0.0
無回答	1.8	3.0	2.4	0.0	0.0	4.5	4.3

Q 1 2. 健康についての記事や番組に関心がありますか（圏域別）



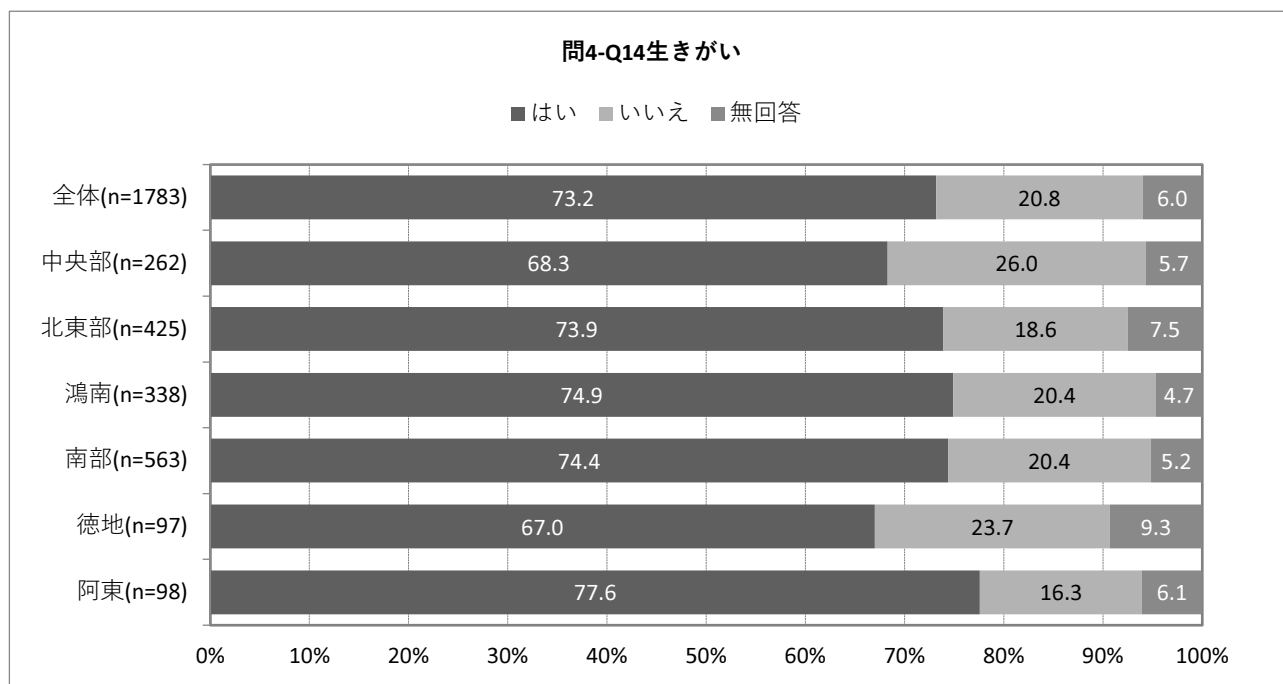
健康に関する記事や番組に「関心がある」と回答した人が84.2%と8割を超え、高齢者の健康維持や予防への意識の高さがうかがえる。

Q 1 3. 趣味がありますか（圏域別）



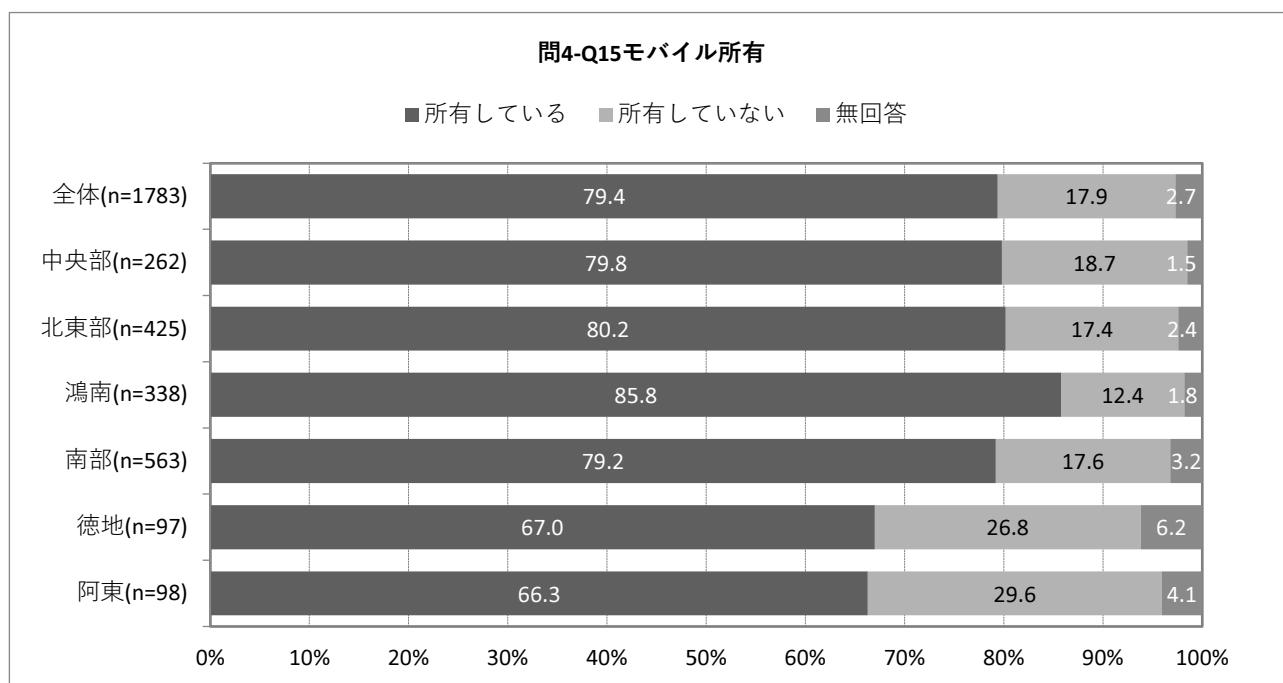
「趣味がある」と回答した人が67.9%と約7割を占め、日常生活の中で楽しみや生きがいを持つ人が多いことがうかがえた。一方で、「思いつかない」人も26.7%と一定数みられる。

Q 1 4. 生きがいがありますか（圏域別）



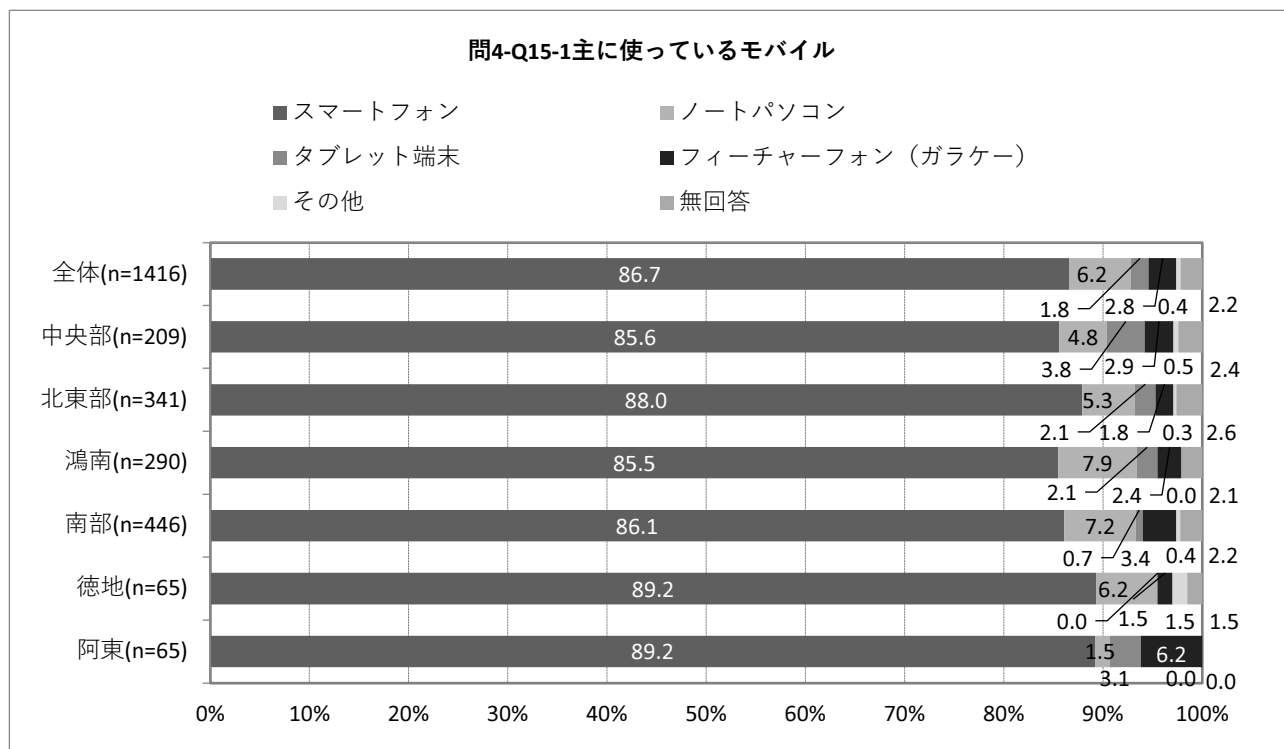
「生きがいがある」と回答した人が 73.2%と 7 割を超え、日々の生活に目的や充実感を持つ人が多いことがうかがえる。一方で、「生きがいがない」と感じる人も 20.8%と一定数みられる。

Q 1 5. モバイル端末（スマートフォンやノートパソコン、タブレット端末などの電子機器）を所有していますか（圏域別）



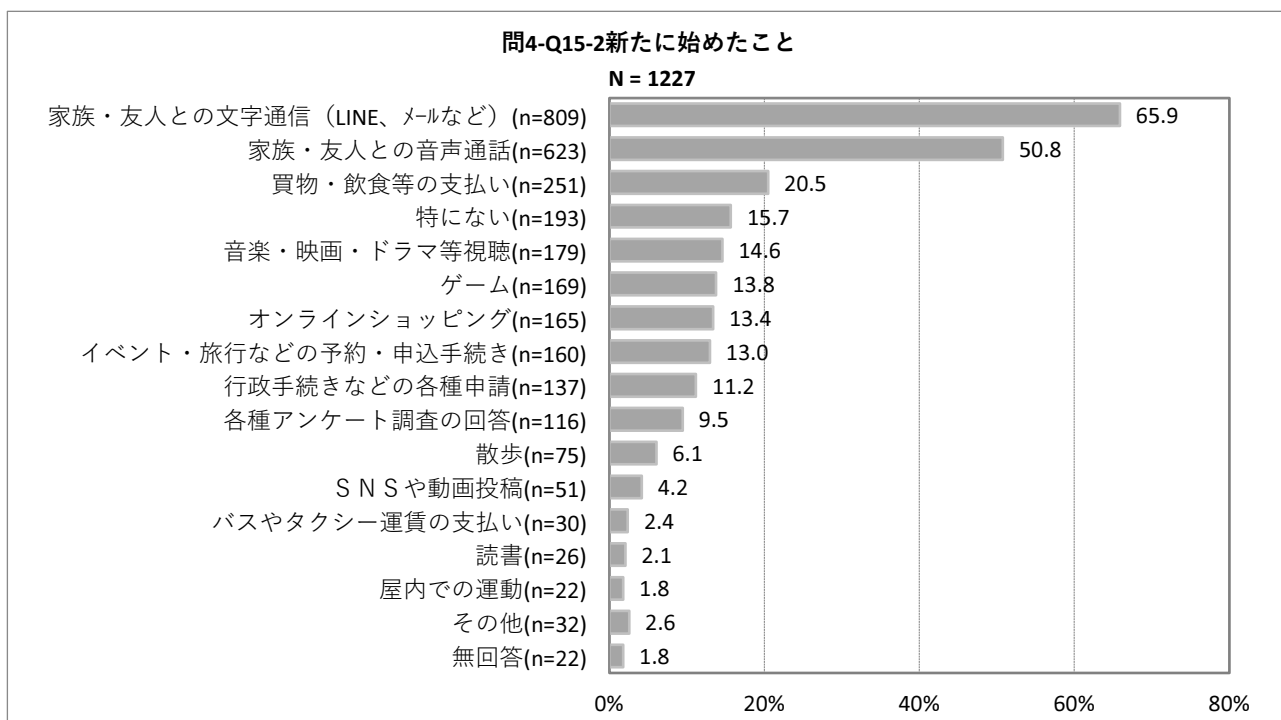
モバイル端末を「所有している」人が 79.4%と約 8 割を占め、高齢者の間でもデジタル機器の普及が進んでいることがうかがえる。一方で、所有していない人も 17.9%と一定数みられる。

Q 1 5－１．主に使っているモバイル端末は以下のうちどれですか（圏域別）



主に使用しているモバイル端末は「スマートフォン」が86.7%と大半を占めており、デジタル機器の中心がスマートフォンへ移行していることがうかがえる。

Q 1 5 - 2. スマートフォンを利用して新たに始めたことは何ですか（全体）※複数回答可



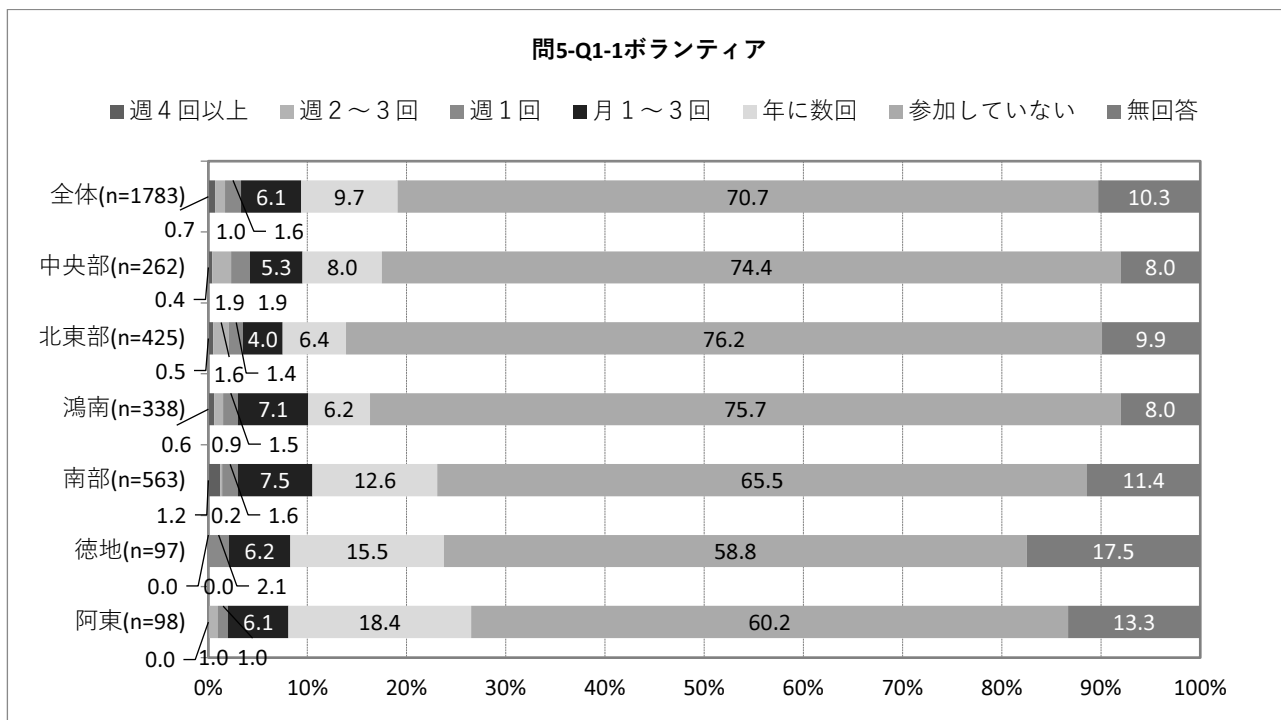
スマートフォンの利用によって、「家族・友人との文字通信」（65.9％）や「音声通話」（50.8％）を始めた人が多く、高齢者のコミュニケーション手段として定着していることがうかがえる。

Q 1 5 - 2. スマートフォンを利用して新たに始めたことは何ですか（圏域別）（単位：％）

	全体 (n=1227)	中央部 (n=179)	北東部 (n=300)	鴻南 (n=248)	南部 (n=384)	徳地 (n=58)	阿東 (n=58)
家族・友人との文字通信(LINE、メールなど)	65.9	64.8	69.0	65.7	65.4	63.8	60.3
家族・友人との音声通話	50.8	42.5	57.3	46.0	51.3	58.6	51.7
買物・飲食等の支払い	20.5	19.6	20.7	21.8	21.4	15.5	15.5
特になし	15.7	18.4	14.3	14.9	15.4	24.1	12.1
音楽・映画・ドラマ等視聴	14.6	12.8	16.0	16.9	14.6	10.3	6.9
ゲーム	13.8	11.7	12.7	17.3	12.2	20.7	13.8
オンラインショッピング	13.4	10.6	16.3	14.5	12.0	12.1	13.8
イベント・旅行などの予約・申込手続き	13.0	12.3	18.0	13.3	10.9	12.1	3.4
行政手続きなどの各種申請	11.2	8.4	15.0	14.5	8.6	8.6	5.2
各種アンケート調査の回答	9.5	8.9	12.0	11.3	7.8	6.9	3.4
散歩	6.1	7.8	4.3	6.5	7.3	5.2	1.7
S N S や動画投稿	4.2	2.2	4.0	4.4	5.5	3.4	1.7
バスやタクシー運賃の支払い	2.4	2.8	2.3	4.0	1.8	1.7	0.0
読書	2.1	1.1	3.3	2.4	1.6	1.7	1.7
屋内での運動	1.8	1.7	2.0	2.0	1.6	1.7	1.7
その他	2.6	3.9	1.7	3.2	2.6	1.7	1.7
無回答	1.8	2.2	0.3	1.6	2.3	3.4	3.4

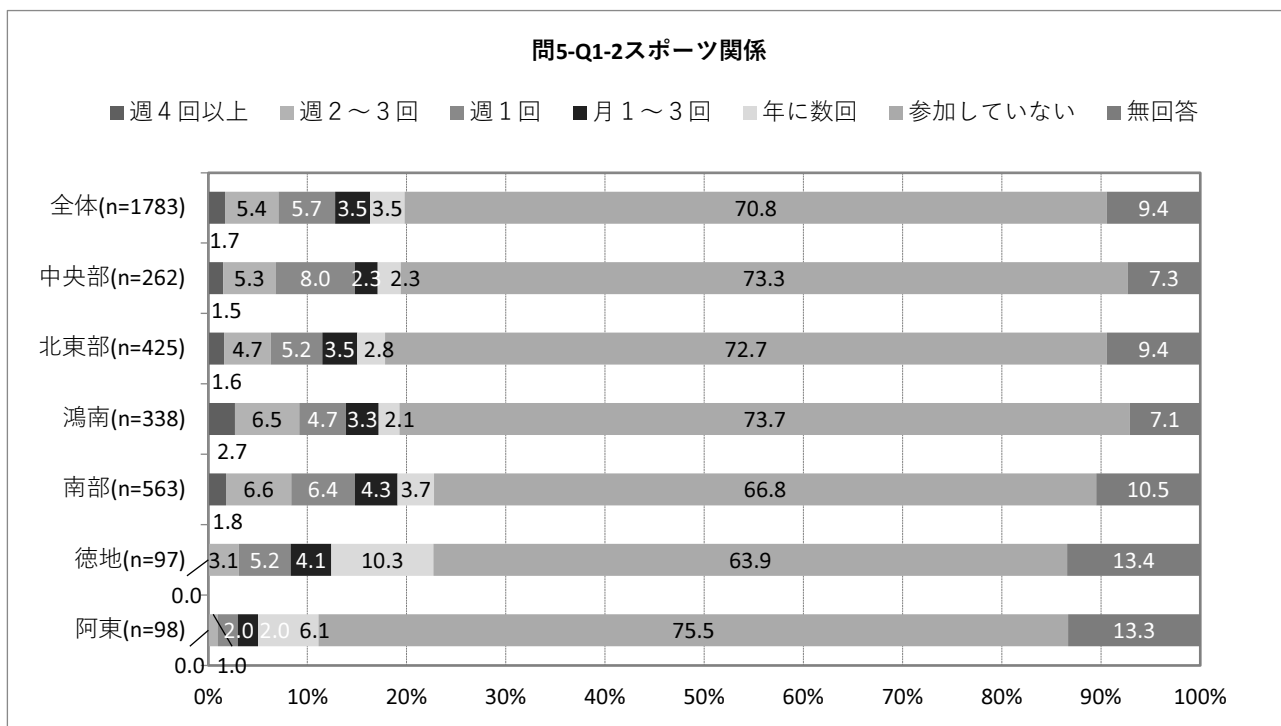
問5 地域での活動について

Q1-1. ボランティアのグループへの参加（圏域別）



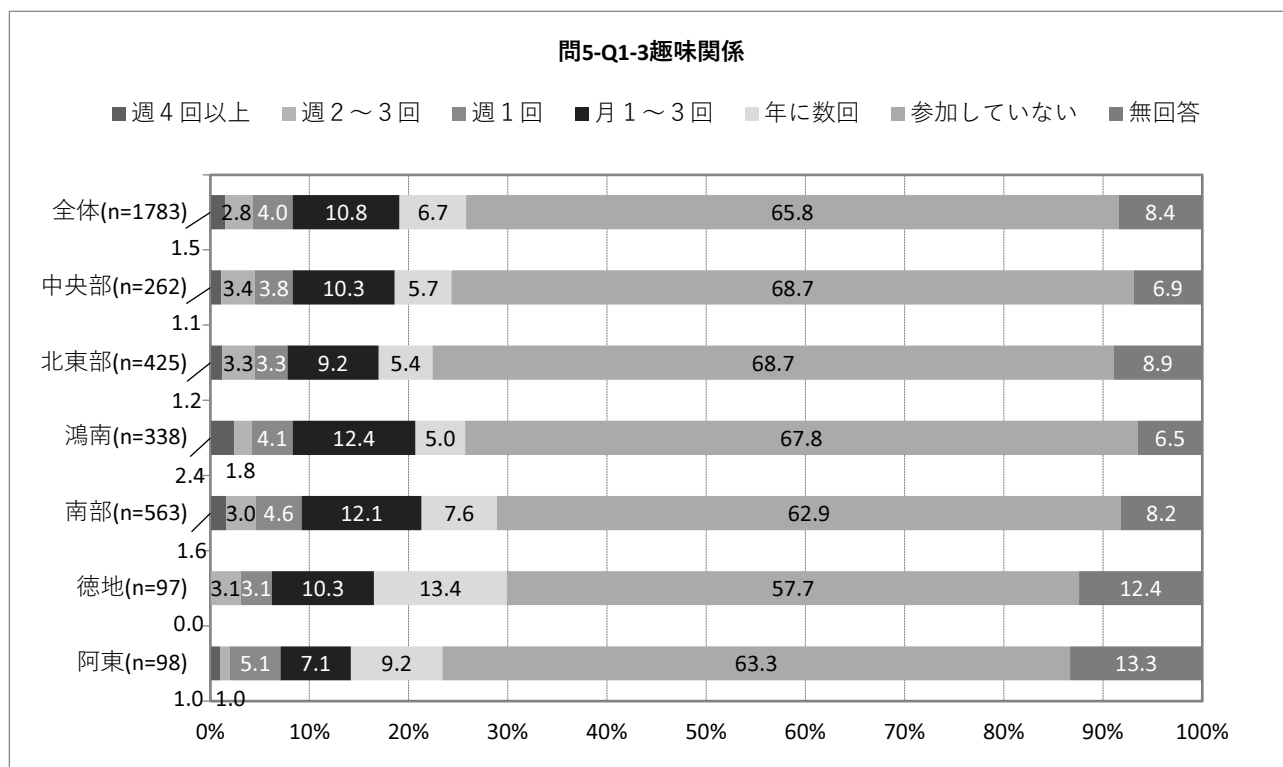
ボランティアグループに「参加していない」人が70.7%と7割を占める一方で、月1回以上参加している人も一定数みられる。

Q1-2. スポーツ関係のグループやクラブへの参加（圏域別）



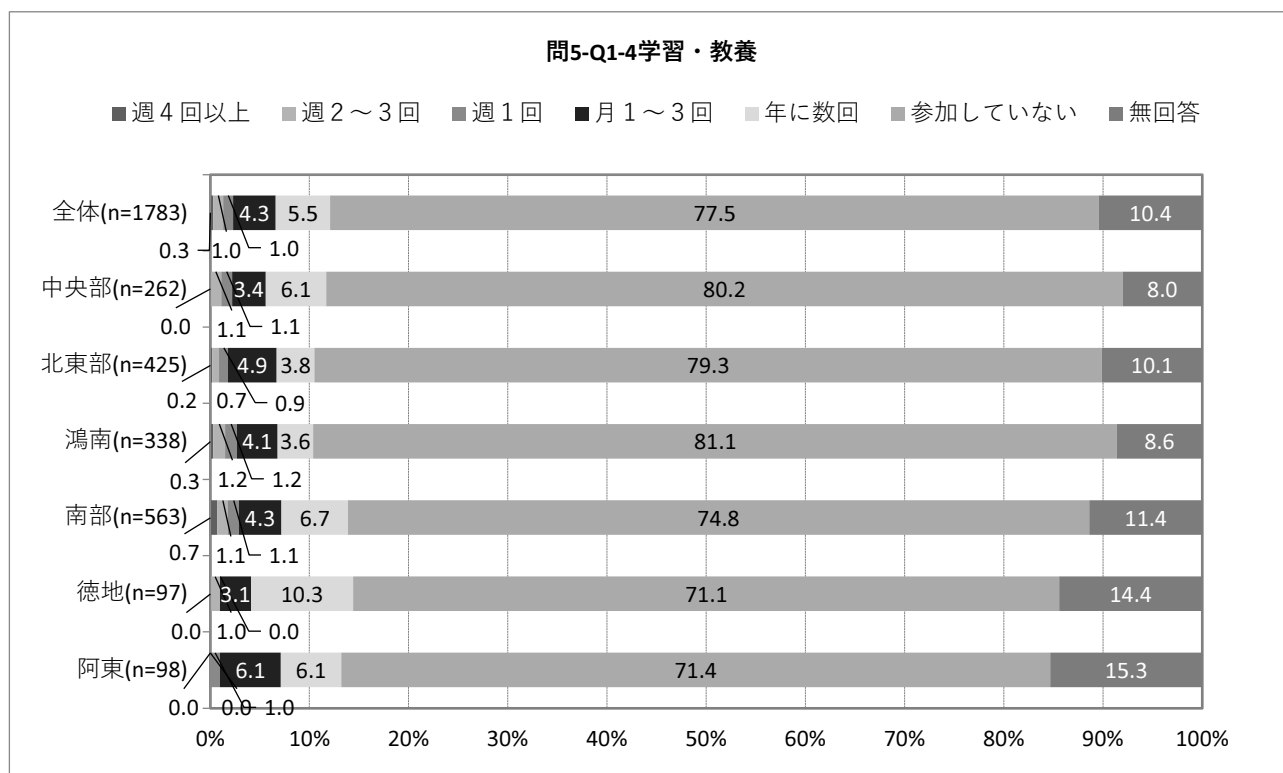
スポーツ関係のグループやクラブに「参加していない」人が70.8%と7割を占めた。一方で、定期的に参加している人も一定数みられ、健康づくりや交流の場として活用されている様子がうかがえる。

Q 1－3. 趣味関係のグループへの参加（圏域別）



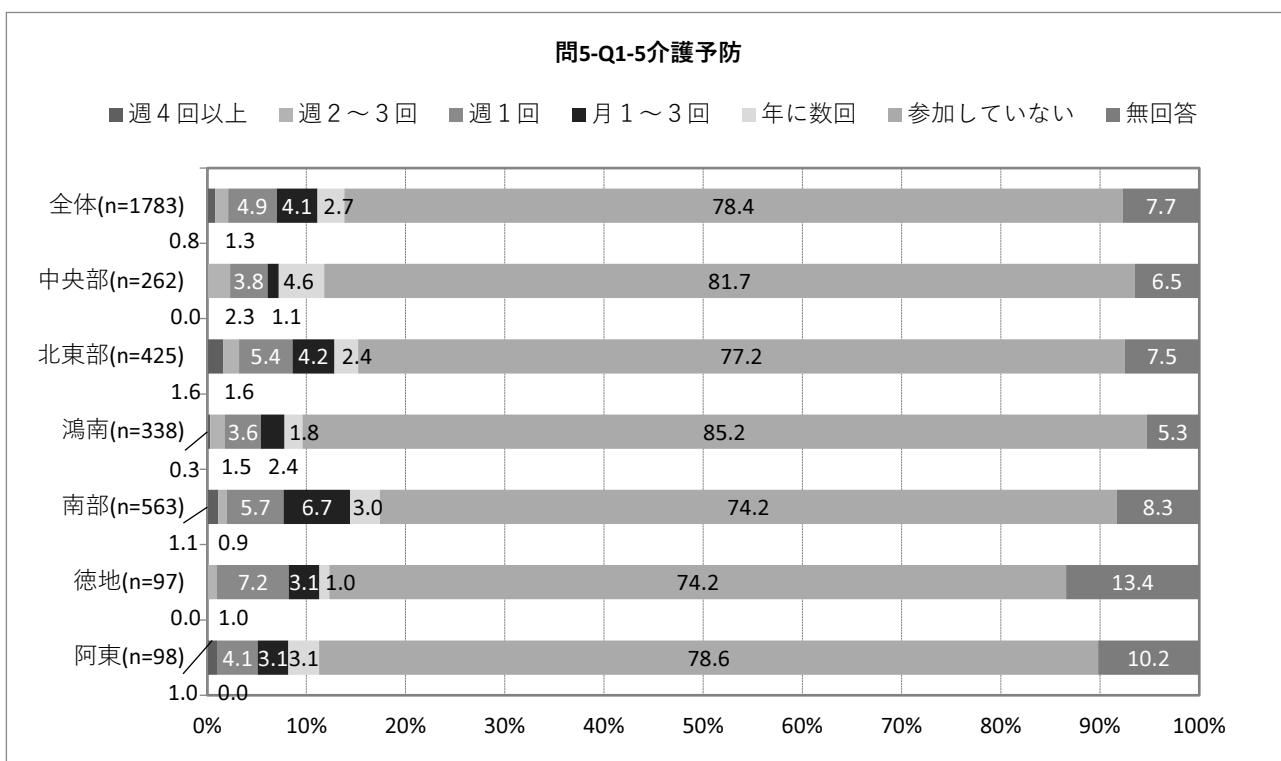
趣味関係のグループに「参加していない」人が65.8%と6割を超える一方で、月1回以上参加している人も一定数みられる。趣味活動が交流や生きがいの場となっている様子がうかがえる。

Q 1－4. 学習・教養サークルへの参加（圏域別）



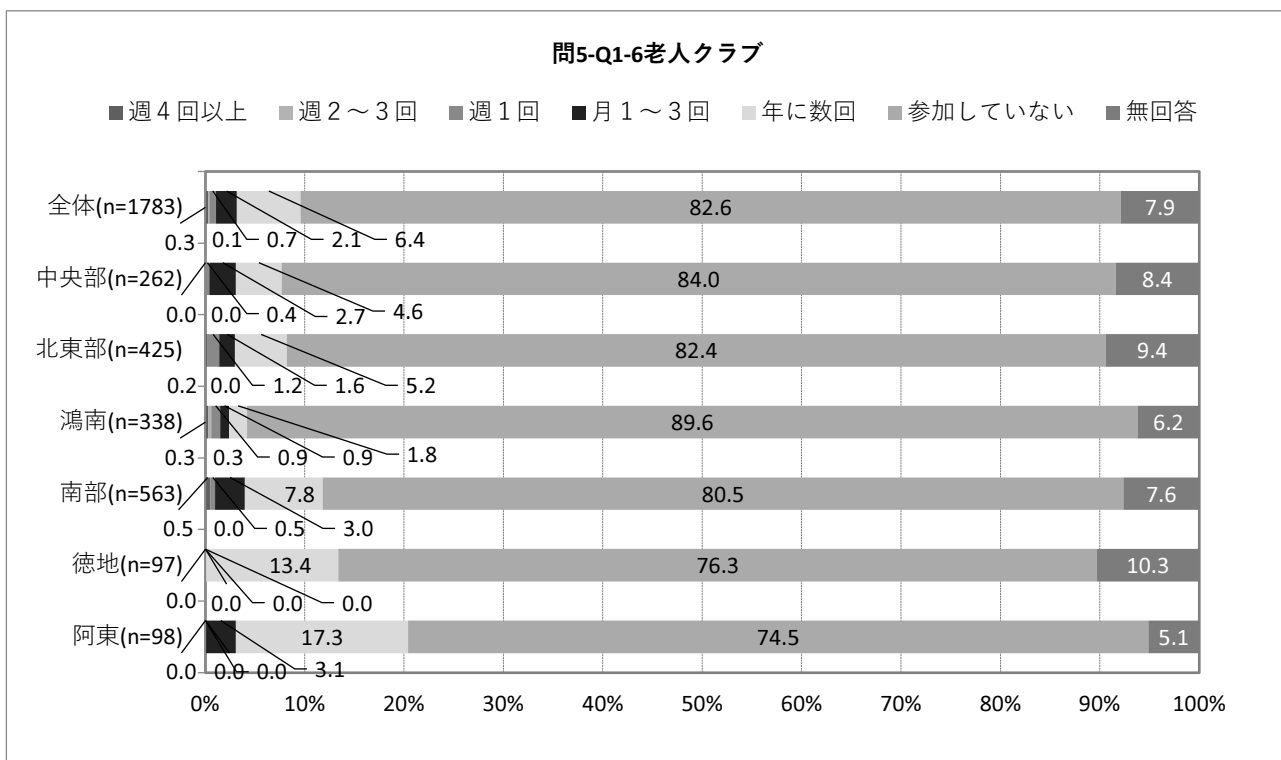
学習・教養サークルに「参加していない」人が77.5%と約8割を占めた。一方で、継続的に参加している人もみられ、生涯学習や知的活動への関心を持つ高齢者も一定数存在していることがうかがえる。

Q 1－5. 介護予防のための通いの場への参加（圏域別）
（いきいき百歳体操、ふれあいいきいきサロン等）



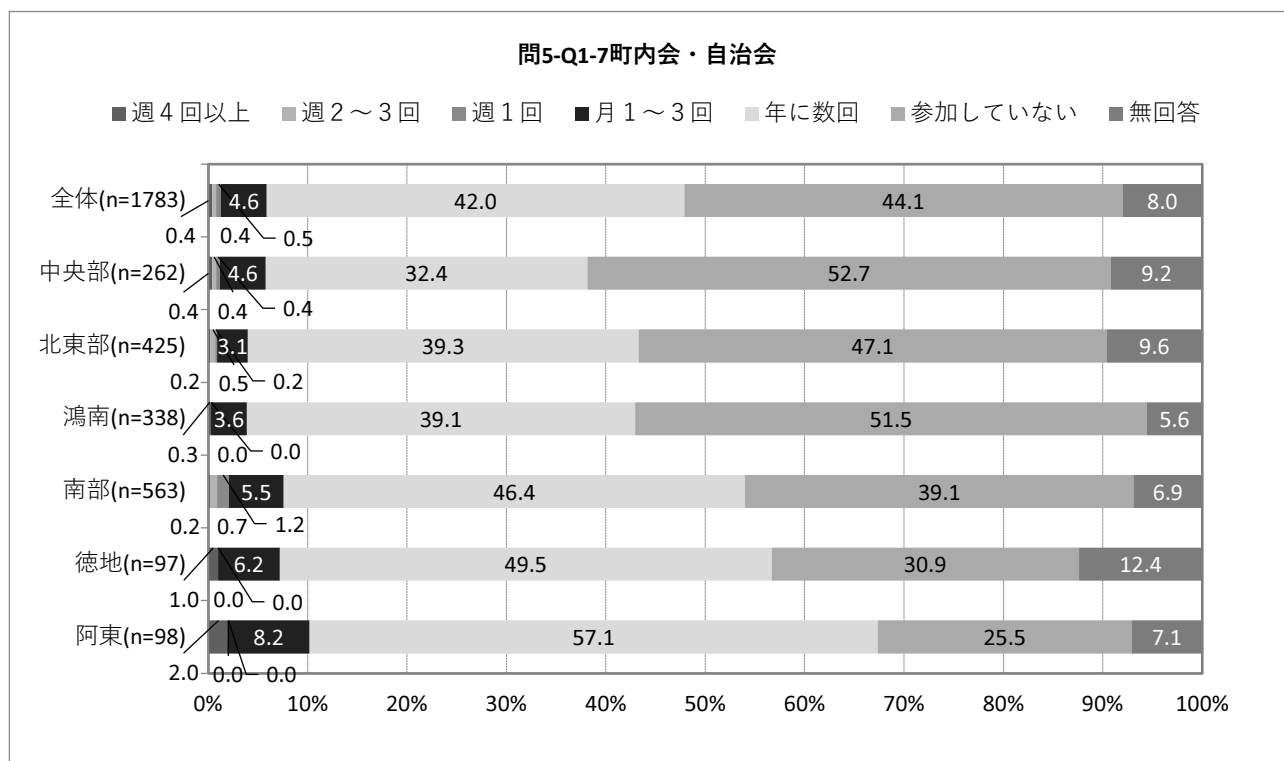
介護予防のための通いの場に「参加していない」人が78.4%と約8割を占めた。一方で、定期的に参加している人もみられ、健康維持や交流の機会として活用されている様子が見える。

Q 1－6. 老人クラブへの参加（圏域別）



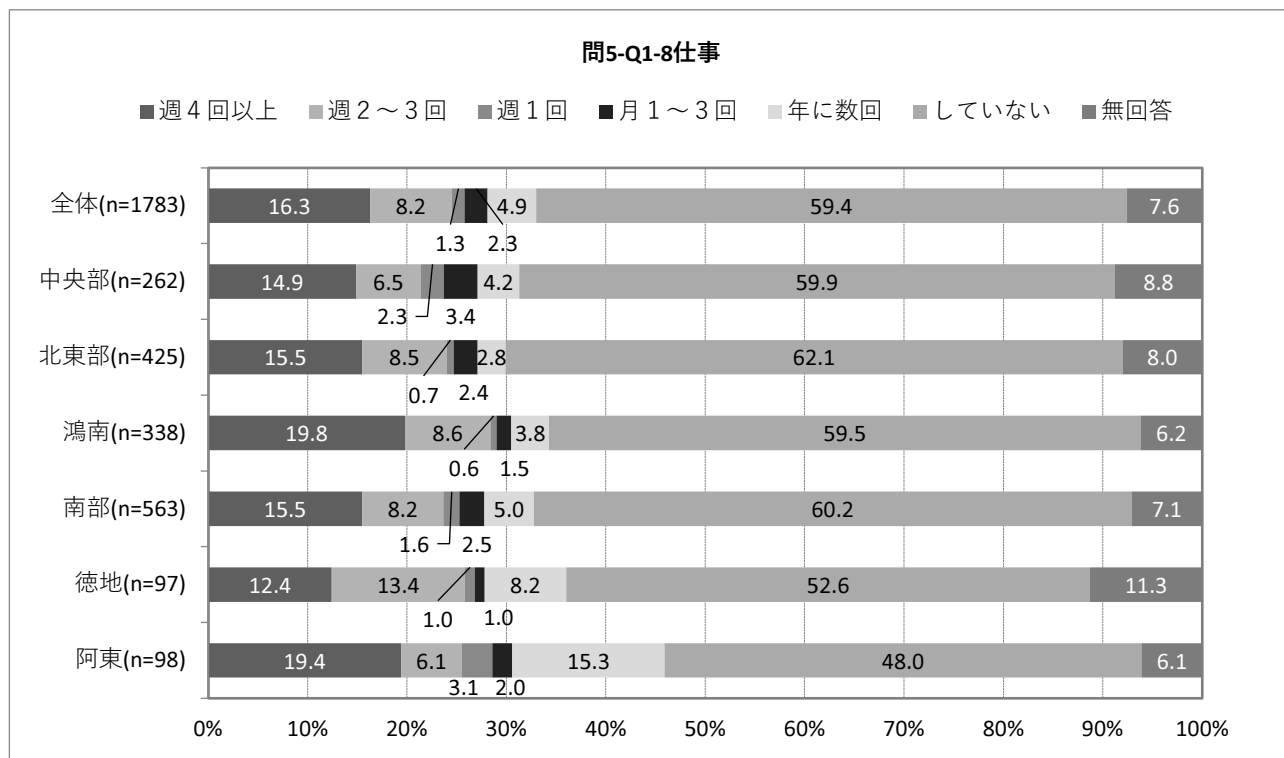
老人クラブに「参加していない」人が82.6%と8割を超え、参加率は低い状況となった。一方で、継続的に活動へ参加している人も一定数みられる。

Q 1－7. 町内会・自治会への参加（圏域別）



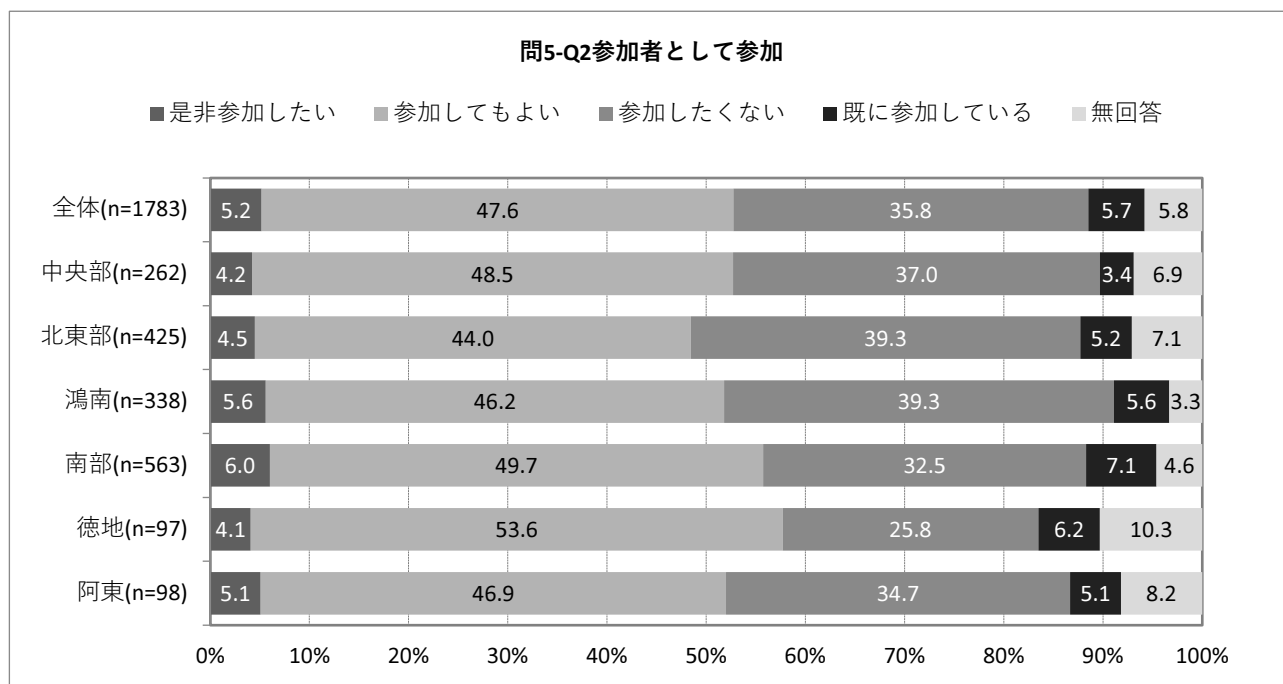
町内会・自治会活動には、「年に数回」参加している人が42.0%と4割を超え、地域とのつながりを維持している様子がうかがえる。一方で、「参加していない」人も44.1%と同程度みられる。

Q 1－8. 収入のある仕事への就労（圏域別）



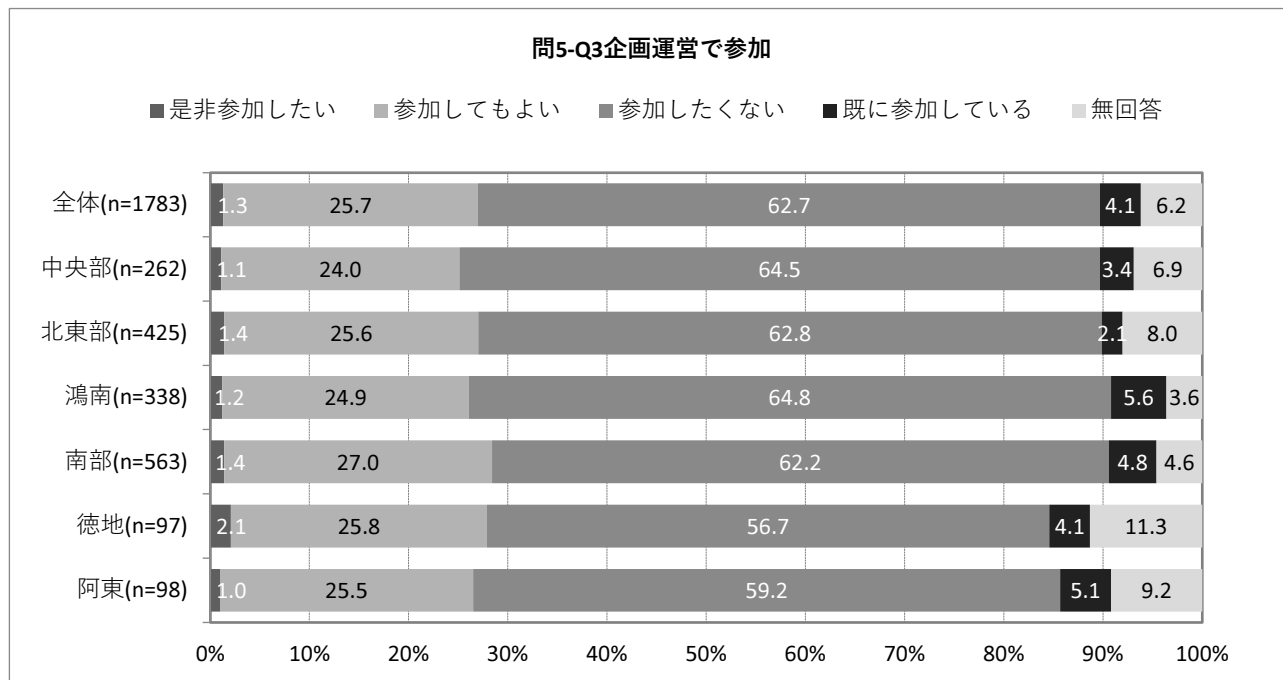
収入のある仕事を「していない」人が59.4%と約6割を占める一方で、「週4回以上」働いている人も16.3%と1割を超えた。高齢者の中でも、就労を通じて社会参加や生きがいを持つ人が一定数みられる。

Q 2. 地域での活動への「参加者」としての参加（圏域別）



地域活動への参加について、「参加してもよい」と回答した人が 47.6%と最も多く、地域活動に対する潜在的な参加意欲がうかがえた。一方で、「参加したくない」とする人も 35.8%と 3 割を超えている。

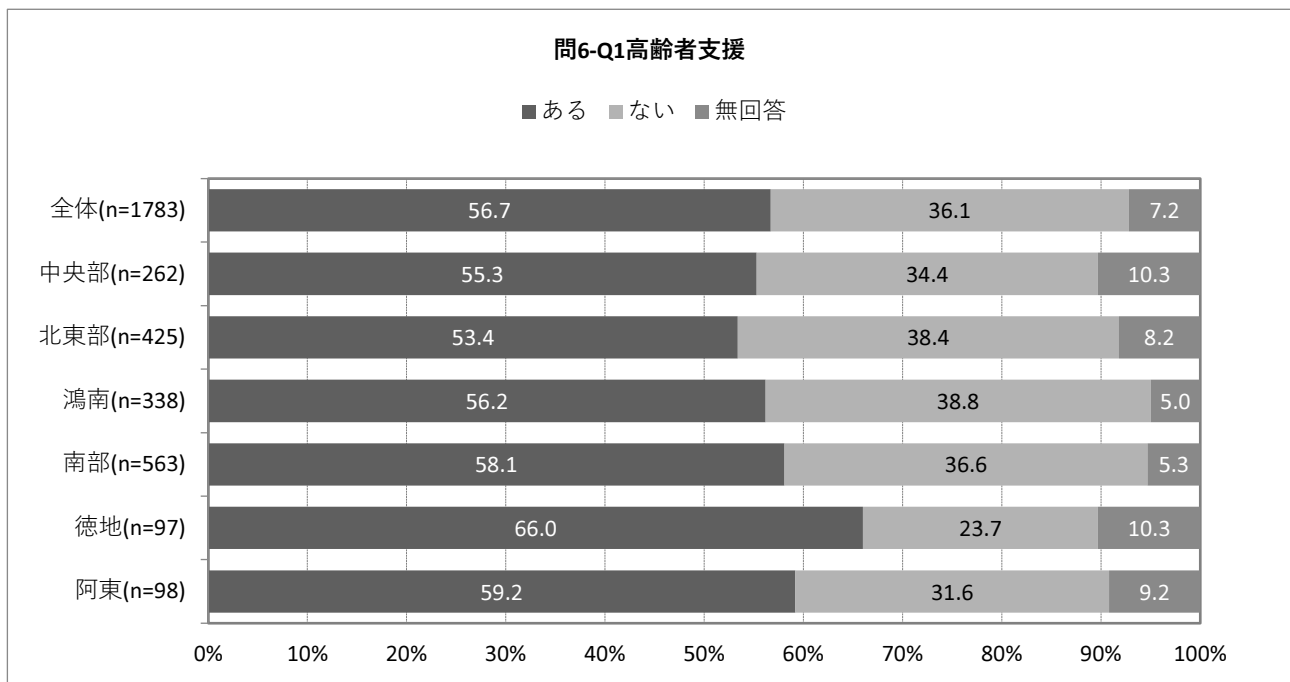
Q 3. 地域の活動への企画・運営（お世話役）としての参加（圏域別）



地域活動の企画・運営役については、「参加したくない」と回答した人が 62.7%と 6 割を超え、負担感や責任の大きさを感じている様子がうかがえた。一方で、「参加してもよい」とする人も 25.7%と一定数みられる。

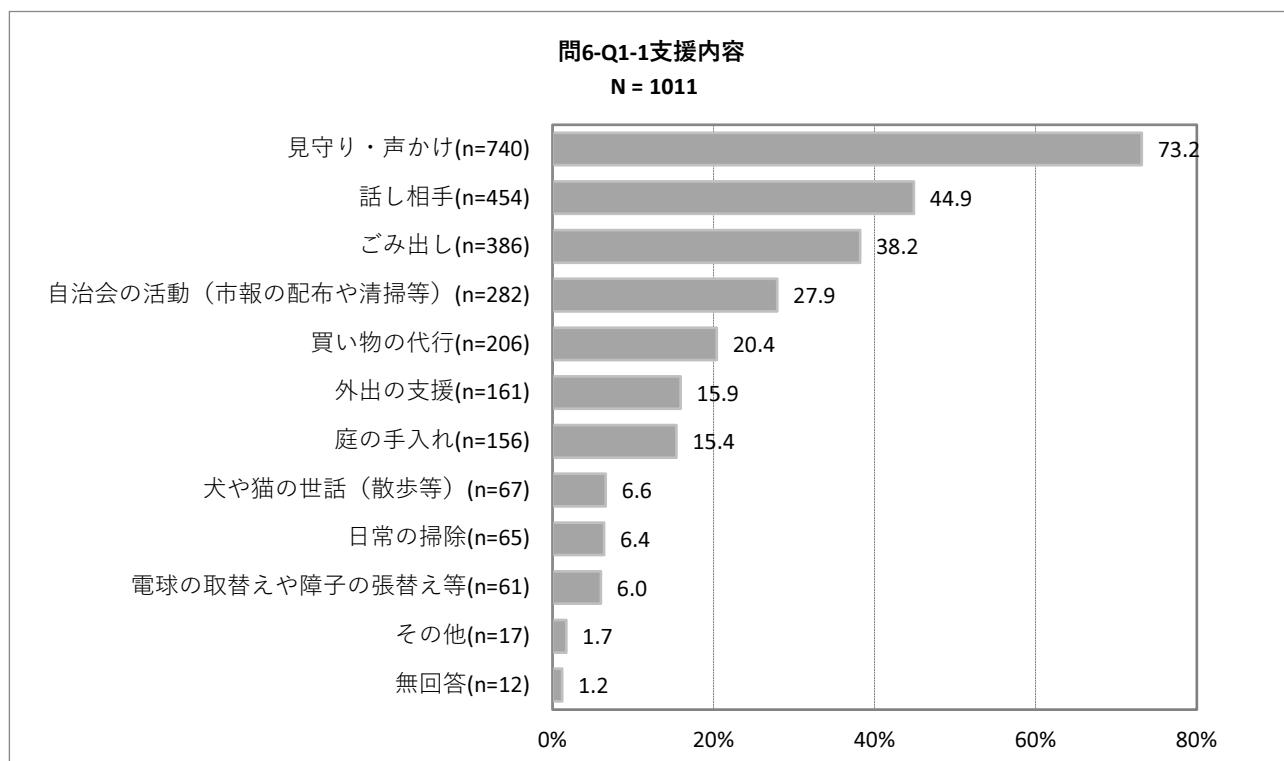
問6 たすけあいについて

Q 1. まわりで困っている高齢者がいたときに、あなたができる支援はありますか（圏域別）



周囲で困っている高齢者がいた際に、「支援できることがある」と回答した人が 56.7%と半数を超え、地域で支え合おうとする意識の高さがうかがえた。一方で、「ない」とする人も 36.1%と 3 割を超えている。

Q 1－1. 困っている高齢者がいたときにできる支援について（支援できる方のみ）（全体）※複数回答可



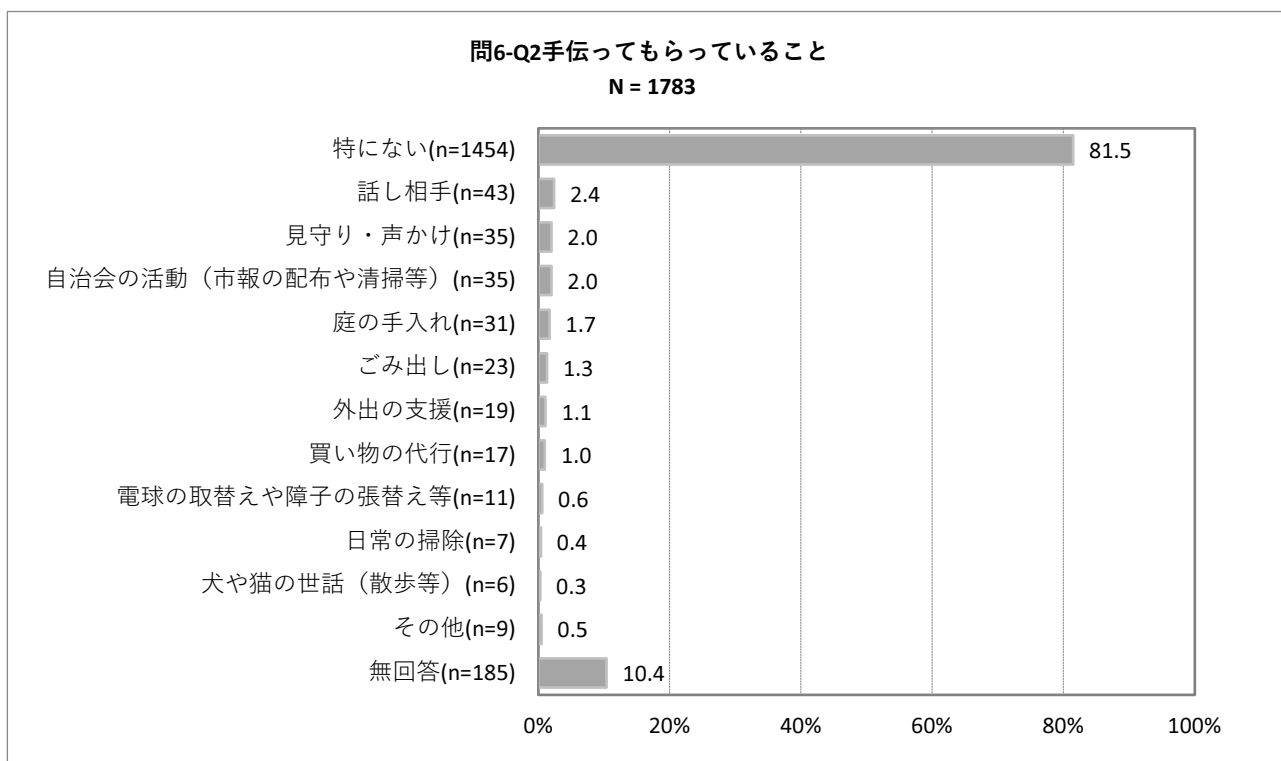
支援できる内容としては、「見守り・声かけ」が 73.2%と最も多く、日常的な気配りや交流を通じた支援への意識が高いことが分かった。また、「ごみ出し」（38.2%）や「買い物代行」（20.4%）など、生活に密着した支援を挙げる人も多くみられた。

Q 1－1. 困っている高齢者がいたときにできる支援について（支援できる方のみ）（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=1011)	中央部 (n=145)	北東部 (n=227)	鴻南 (n=190)	南部 (n=327)	徳地 (n=64)	阿東 (n=58)
見守り・声かけ	73.2	74.5	74.9	72.6	72.8	70.3	70.7
話し相手	44.9	42.1	48.0	37.9	45.6	50.0	53.4
ごみ出し	38.2	40.7	42.7	43.2	37.0	25.0	19.0
自治会の活動（市報の配布や清掃等）	27.9	26.2	29.5	18.9	27.8	32.8	50.0
買い物の代行	20.4	24.8	21.1	17.9	18.7	15.6	29.3
外出の支援	15.9	20.7	14.5	11.1	18.3	14.1	13.8
庭の手入れ	15.4	11.7	19.4	16.8	15.6	9.4	10.3
犬や猫の世話（散歩等）	6.6	6.9	8.4	5.3	6.7	4.7	5.2
日常の掃除	6.4	6.9	9.3	5.8	5.8	0.0	6.9
電球の取替えや障子の張替え等	6.0	7.6	4.8	5.3	8.0	1.6	3.4
その他	1.7	1.4	0.9	1.6	2.4	1.6	1.7
無回答	1.2	1.4	0.9	0.5	1.2	1.6	3.4

Q 2. 現在、地域（近所）の人に手伝ってもらっていることがありますか（全体）※複数回答可



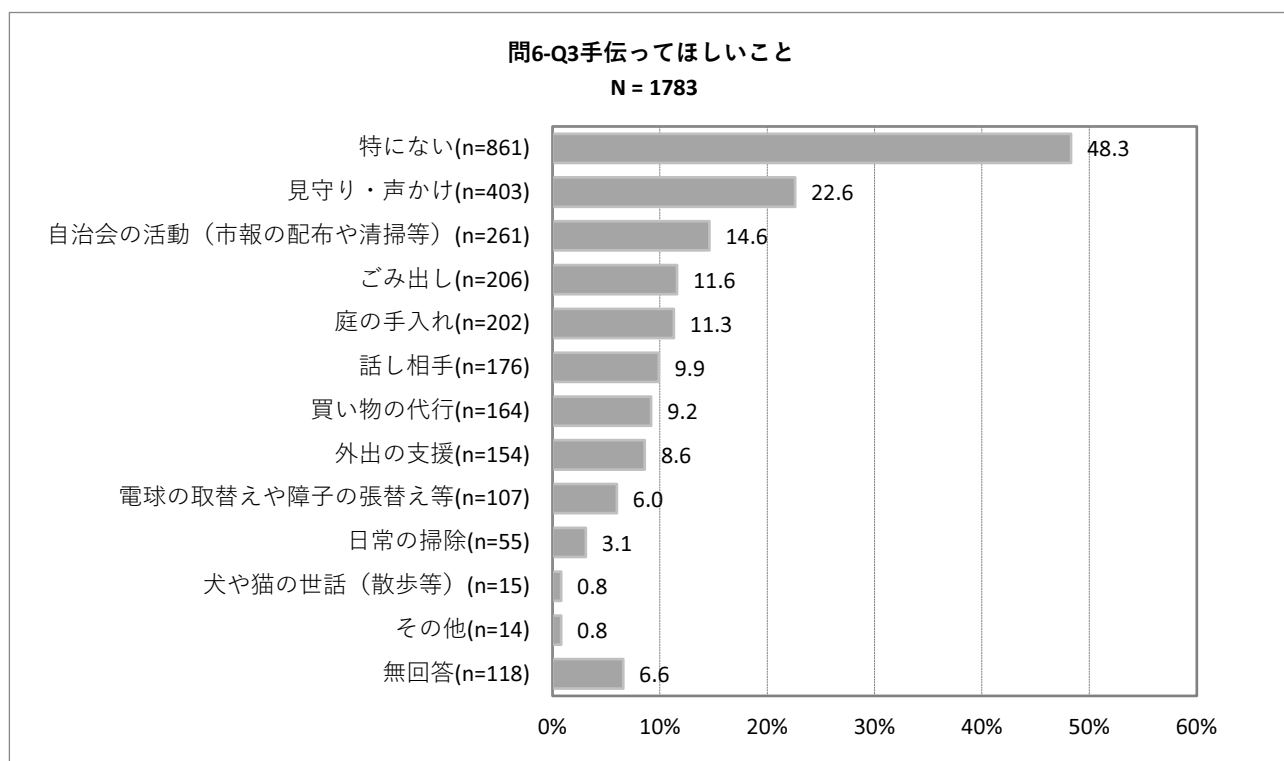
現在、地域や近所の人に「特に手伝ってもらっていない」と回答した人が81.5%と8割を超え、日常生活を自立して送っている人が多いことがうかがえた。一方で、「話し相手」(2.4%)や「見守り・声かけ」(2.0%)など、地域のつながりによる支援を受けている人も一定数みられた。

Q 2. 現在、地域（近所）の人に手伝ってもらっていることがありますか（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=1783)	中央部 (n=262)	北東部 (n=425)	鴻南 (n=338)	南部 (n=563)	徳地 (n=97)	阿東 (n=98)
特にない	81.5	82.8	80.2	84.6	82.9	76.3	70.4
話し相手	2.4	1.5	2.6	1.8	2.3	3.1	6.1
見守り・声かけ	2.0	1.5	2.6	1.8	2.3	1.0	0.0
自治会の活動（市報の配布や清掃等）	2.0	1.5	1.9	1.5	2.0	5.2	2.0
庭の手入れ	1.7	0.8	2.6	0.6	1.8	1.0	5.1
ごみ出し	1.3	1.9	1.4	0.9	1.2	1.0	1.0
外出の支援	1.1	0.4	0.9	0.3	1.1	2.1	5.1
買い物の代行	1.0	0.8	0.5	1.2	1.1	3.1	0.0
電球の取替えや障子の張替え等	0.6	1.1	0.2	0.3	0.7	2.1	0.0
日常の掃除	0.4	0.4	0.2	0.3	0.5	0.0	1.0
犬や猫の世話（散歩等）	0.3	0.4	0.7	0.0	0.4	0.0	0.0
その他	0.5	0.4	0.0	0.9	0.7	1.0	0.0
無回答	10.4	9.5	12.0	9.2	9.2	12.4	14.3

Q 3. 今後、地域で高齢者を支え合う仕組みとして地域の方に手伝ってほしいと思う支援は何ですか
(全体) ※複数回答可

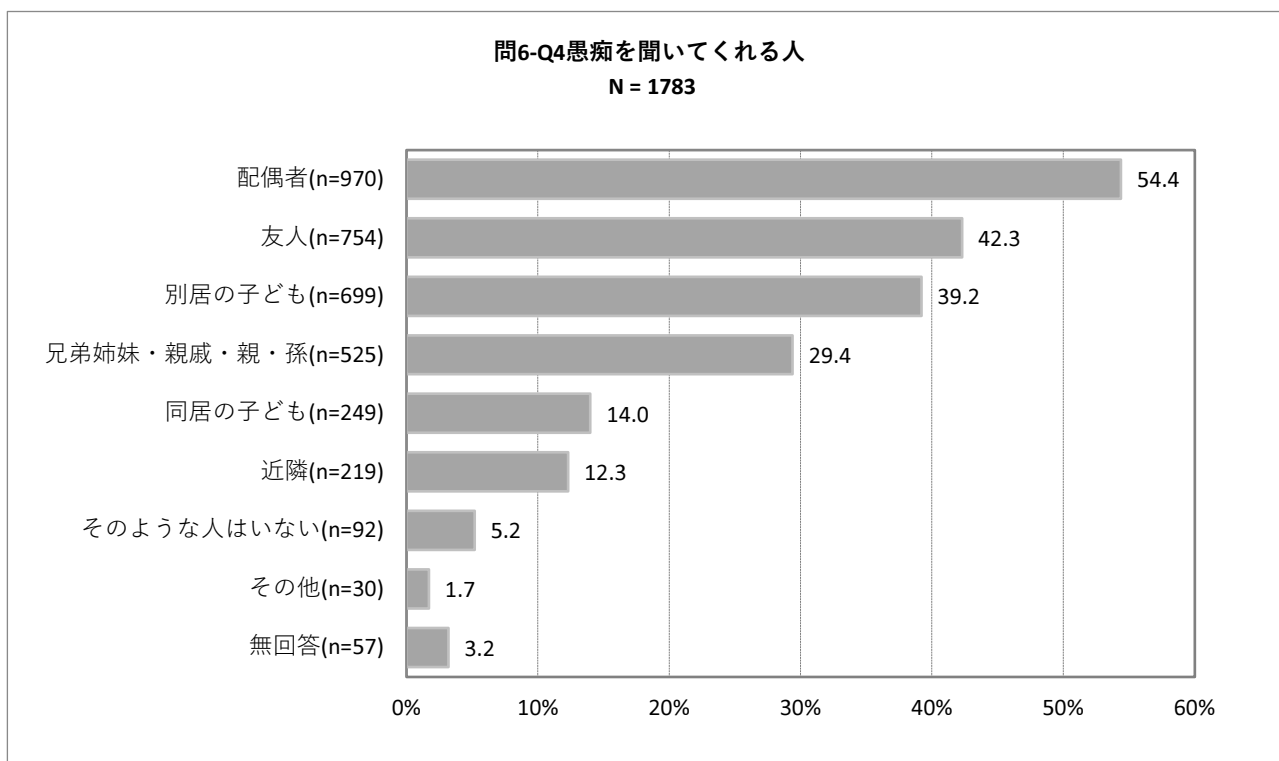


今後、地域に期待する支援としては、「見守り・声かけ」が 22.6%と最も多く、日常的なつながりや安心感を求める声がかがえた。一方で、「特にない」と回答した人も 48.3%と約半数を占めた。

Q 3. 今後、地域で高齢者を支え合う仕組みとして地域の方に手伝ってほしいと思う支援は何ですか
(圏域別) (単位：%)

	全体 (n=1783)	中央部 (n=262)	北東部 (n=425)	鴻南 (n=338)	南部 (n=563)	徳地 (n=97)	阿東 (n=98)
特にない	48.3	47.3	45.4	53.0	51.3	34.0	43.9
見守り・声かけ	22.6	24.8	23.8	19.5	22.0	24.7	23.5
自治会の活動 (市報の配布や清掃等)	14.6	14.5	14.1	14.8	14.2	21.6	12.2
ごみ出し	11.6	13.7	12.7	11.2	10.7	10.3	8.2
庭の手入れ	11.3	9.2	9.4	12.1	12.6	10.3	16.3
話し相手	9.9	9.9	9.4	8.9	10.3	11.3	11.2
買い物の代行	9.2	11.1	9.2	4.7	9.1	18.6	11.2
外出の支援	8.6	7.3	8.7	5.3	8.9	14.4	16.3
電球の取替えや障子の張替え等	6.0	9.5	4.7	5.9	6.0	6.2	2.0
日常の掃除	3.1	5.0	3.1	3.0	2.1	4.1	3.1
犬や猫の世話 (散歩等)	0.8	0.8	1.6	0.0	0.7	2.1	0.0
その他	0.8	0.8	0.5	0.3	1.2	0.0	2.0
無回答	6.6	6.5	8.5	5.9	4.6	10.3	9.2

Q 4. あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（全体）※複数回答可



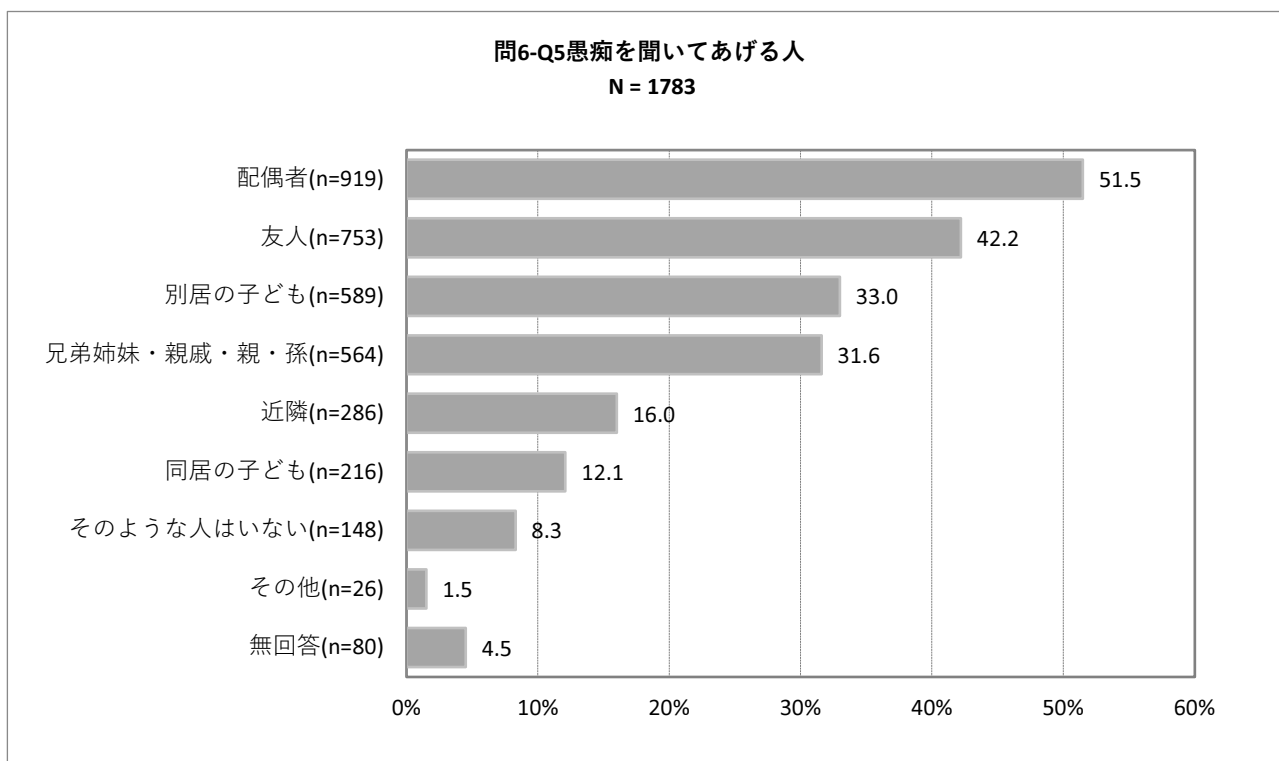
心配事や愚痴を聞いてくれる相手としては、「配偶者」が54.4%と最も多く、次いで「友人」(42.3%)、「別居の子ども」(39.2%)が続いた。家族や友人とのつながりが心の支えとなっている一方で、「そのような人はいない」とする人も5.2%と一定数みられた。

Q 4. あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=1783)	中央部 (n=262)	北東部 (n=425)	鴻南 (n=338)	南部 (n=563)	徳地 (n=97)	阿東 (n=98)
配偶者	54.4	48.5	54.1	61.8	54.0	50.5	52.0
友人	42.3	42.7	45.6	43.8	40.3	41.2	33.7
別居の子ども	39.2	38.2	38.6	44.1	37.1	48.5	30.6
兄弟姉妹・親戚・親・孫	29.4	31.7	26.8	26.0	30.7	29.9	38.8
同居の子ども	14.0	11.1	16.7	11.8	14.0	17.5	13.3
近隣	12.3	8.0	10.6	11.5	14.9	13.4	17.3
そのような人はいない	5.2	5.0	4.5	5.0	6.4	5.2	2.0
その他	1.7	1.5	1.6	2.4	1.8	0.0	1.0
無回答	3.2	4.2	4.0	2.4	2.1	4.1	5.1

Q 5. あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（全体）※複数回答可



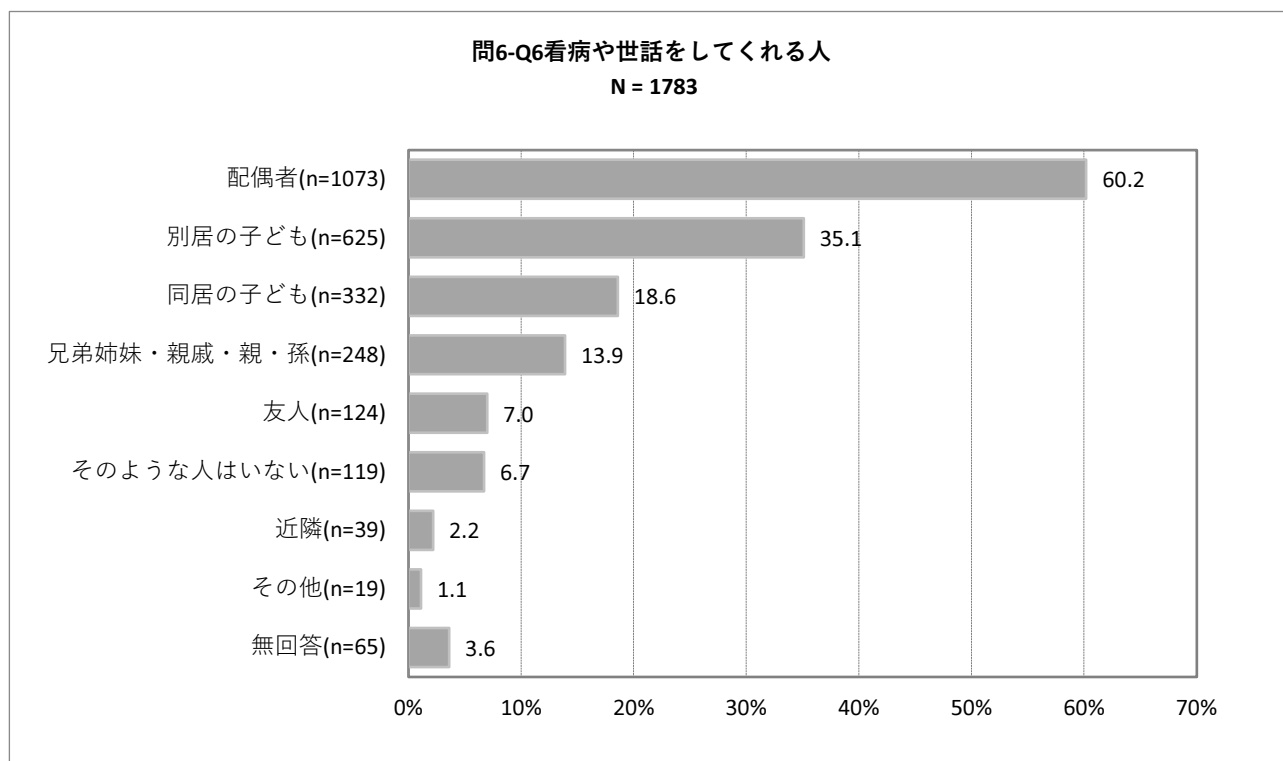
心配事や愚痴を「聞いてあげる相手」としては、「配偶者」（51.5％）や「友人」（42.2％）が多く、高齢者同士の支え合いや人間関係のつながりがうかがえた。一方で、「そのような人はいない」とする人も8.3％と一定数みられた。

Q 5. あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=1783)	中央部 (n=262)	北東部 (n=425)	鴻南 (n=338)	南部 (n=563)	徳地 (n=97)	阿東 (n=98)
配偶者	51.5	48.9	51.8	57.7	49.6	45.4	54.1
友人	42.2	44.7	44.9	43.8	40.5	36.1	34.7
別居の子ども	33.0	38.9	32.9	39.1	28.4	30.9	25.5
兄弟姉妹・親戚・親・孫	31.6	36.3	29.2	26.3	34.3	32.0	32.7
近隣	16.0	12.6	13.6	13.0	18.3	22.7	26.5
同居の子ども	12.1	10.3	16.0	10.4	11.0	11.3	13.3
そのような人はいない	8.3	8.8	6.1	8.3	9.2	11.3	8.2
その他	1.5	1.5	1.4	1.2	2.1	0.0	0.0
無回答	4.5	5.0	4.9	3.6	4.1	6.2	5.1

Q 6. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（全体）※複数回答可



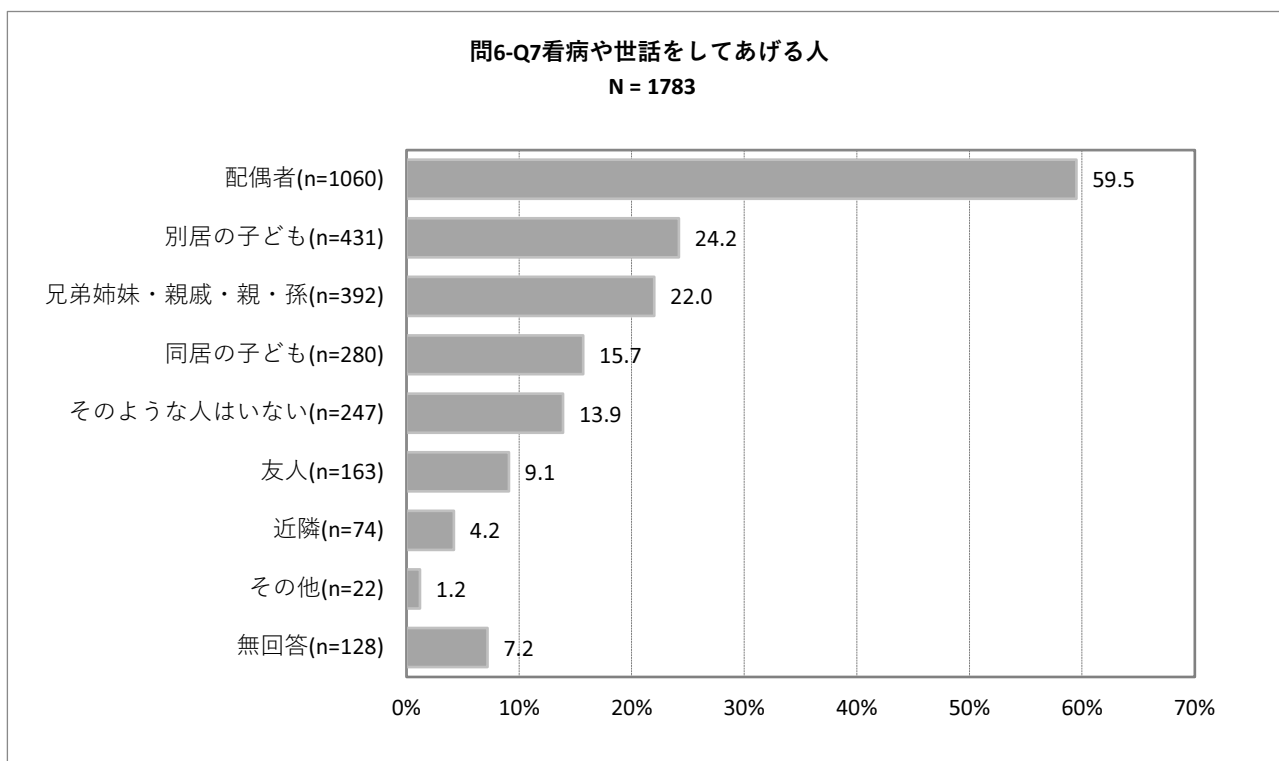
病気で寝込んだ際に看病や世話をしてくれる相手としては、「配偶者」が60.2%と最も多く、次いで「別居の子ども」（35.1%）が続いた。家族による支援が中心となる一方で、「そのような人はいない」とする人も6.7%と一定数みられた。

Q 6. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=1783)	中央部 (n=262)	北東部 (n=425)	鴻南 (n=338)	南部 (n=563)	徳地 (n=97)	阿東 (n=98)
配偶者	60.2	55.3	60.2	67.2	59.7	56.7	55.1
別居の子ども	35.1	34.7	37.4	37.0	32.7	39.2	28.6
同居の子ども	18.6	15.3	20.2	14.2	20.2	21.6	23.5
兄弟姉妹・親戚・親・孫	13.9	16.8	12.7	6.8	16.0	20.6	17.3
友人	7.0	8.0	5.9	8.3	7.5	2.1	6.1
そのような人はいない	6.7	8.4	6.4	7.4	6.4	6.2	3.1
近隣	2.2	1.1	1.4	2.4	2.1	6.2	4.1
その他	1.1	0.8	1.6	0.9	0.5	2.1	2.0
無回答	3.6	4.6	5.2	2.7	2.5	3.1	5.1

Q 7. 看病や世話をしあける人（全体）※複数回答可



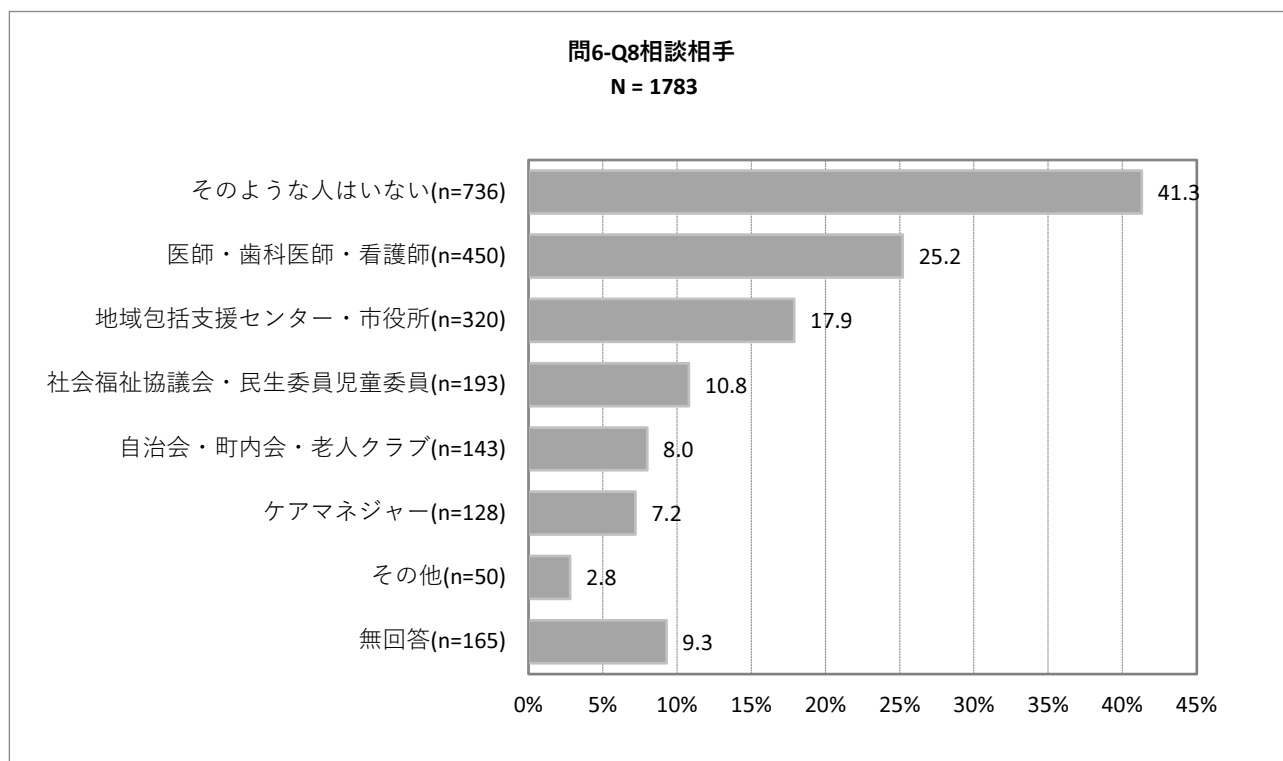
看病や世話をしあける相手としては、「配偶者」が 59.5%と最も多く、家族間で支え合う関係が中心となっていることがうかがえた。一方で、「そのような人はいない」と回答した人も 13.9%と 1 割を超えている。

Q 7. 看病や世話をしあける人（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=1783)	中央部 (n=262)	北東部 (n=425)	鴻南 (n=338)	南部 (n=563)	徳地 (n=97)	阿東 (n=98)
配偶者	59.5	54.6	59.8	64.2	59.7	55.7	57.1
別居の子ども	24.2	24.0	24.9	26.3	23.3	26.8	16.3
兄弟姉妹・親戚・親・孫	22.0	23.3	20.2	20.1	24.2	21.6	20.4
同居の子ども	15.7	13.4	17.6	13.9	16.5	15.5	15.3
そのような人はいない	13.9	15.6	12.5	12.1	14.6	16.5	14.3
友人	9.1	10.3	8.5	10.9	8.9	6.2	7.1
近隣	4.2	4.2	2.6	3.6	4.1	7.2	10.2
その他	1.2	1.5	1.2	0.9	1.4	0.0	2.0
無回答	7.2	8.4	9.2	6.2	5.7	8.2	6.1

Q 8. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（全体）※複数回答可



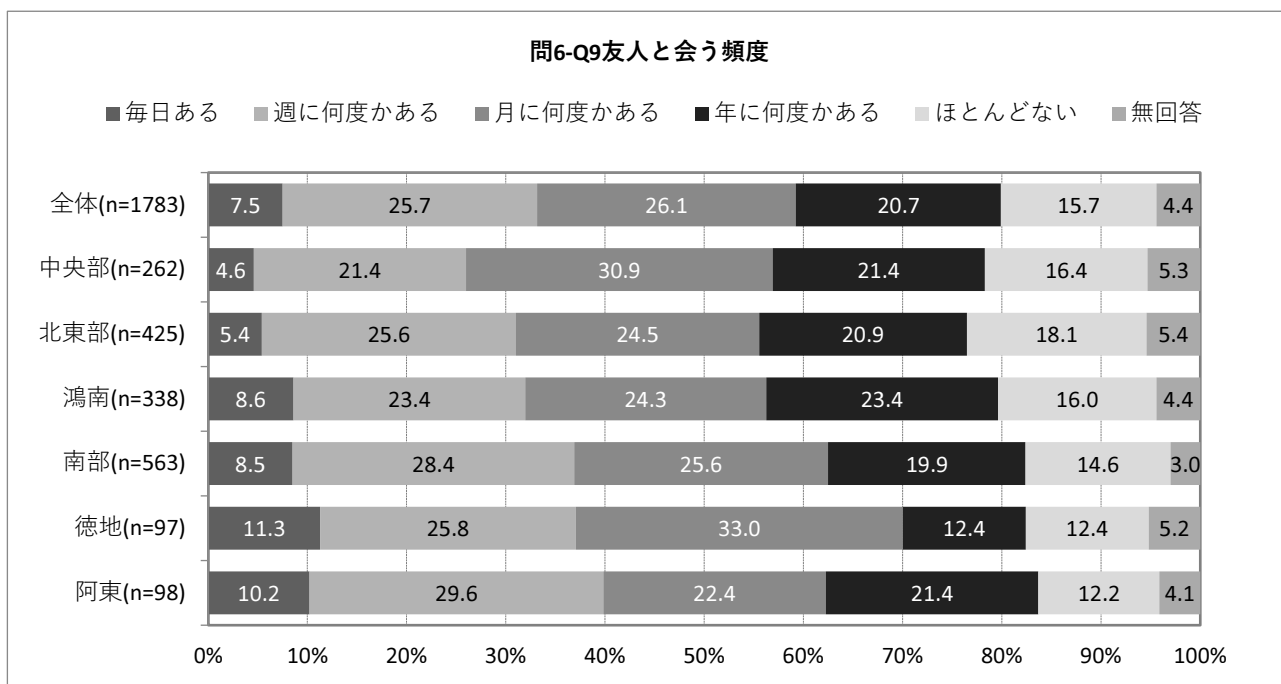
家族や友人以外の相談相手について、「そのような人はいない」と回答した人が41.3%と4割を超えた。一方で、「医師・歯科医師・看護師」(25.2%)や「地域包括支援センター・市役所」(17.9%)を相談先としている人もみられ、専門機関が地域生活を支える役割を担っていることがうかがえる。

Q 8. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（圏域別）

（単位：％）

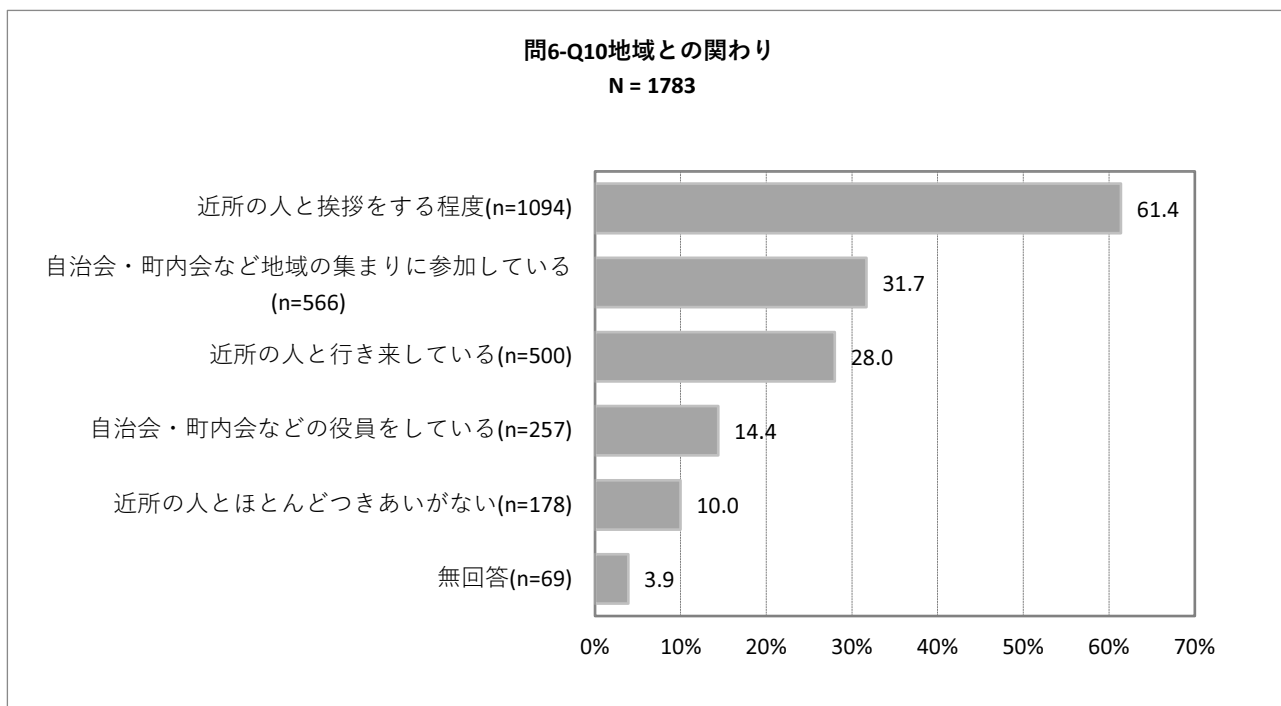
	全体 (n=1783)	中央部 (n=262)	北東部 (n=425)	鴻南 (n=338)	南部 (n=563)	徳地 (n=97)	阿東 (n=98)
そのような人はいない	41.3	40.8	40.0	46.2	43.5	26.8	32.7
医師・歯科医師・看護師	25.2	28.2	25.2	28.4	23.6	24.7	16.3
地域包括支援センター・市役所	17.9	16.4	16.7	17.5	17.6	28.9	20.4
社会福祉協議会・民生委員児童委員	10.8	9.2	9.6	6.8	12.3	19.6	17.3
自治会・町内会・老人クラブ	8.0	9.9	4.2	5.9	9.4	8.2	18.4
ケアマネジャー	7.2	8.8	5.4	6.2	7.3	10.3	10.2
その他	2.8	3.4	4.2	3.0	1.6	1.0	3.1
無回答	9.3	7.6	12.5	6.5	8.2	14.4	10.2

Q 9. 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（圏域別）



友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」（26.1%）、「週に何度かある」（25.7%）が多く、人との交流を継続している人が一定数みられた。一方で、「ほとんどない」と回答した人も 15.7%と 1 割を超えている。

Q 1 0. 現在、地域とどのような関わりをしていますか（全体）※複数回答可



地域との関わりでは、「近所の人と挨拶をする程度」が 61.4%と最も多く、日常的なゆるやかなつながりが中心となっていることが分かった。一方で、「自治会・町内会など地域の集まりに参加している」（31.7%）や「近所の人と行き来している」（28.0%）人も一定数みられる。

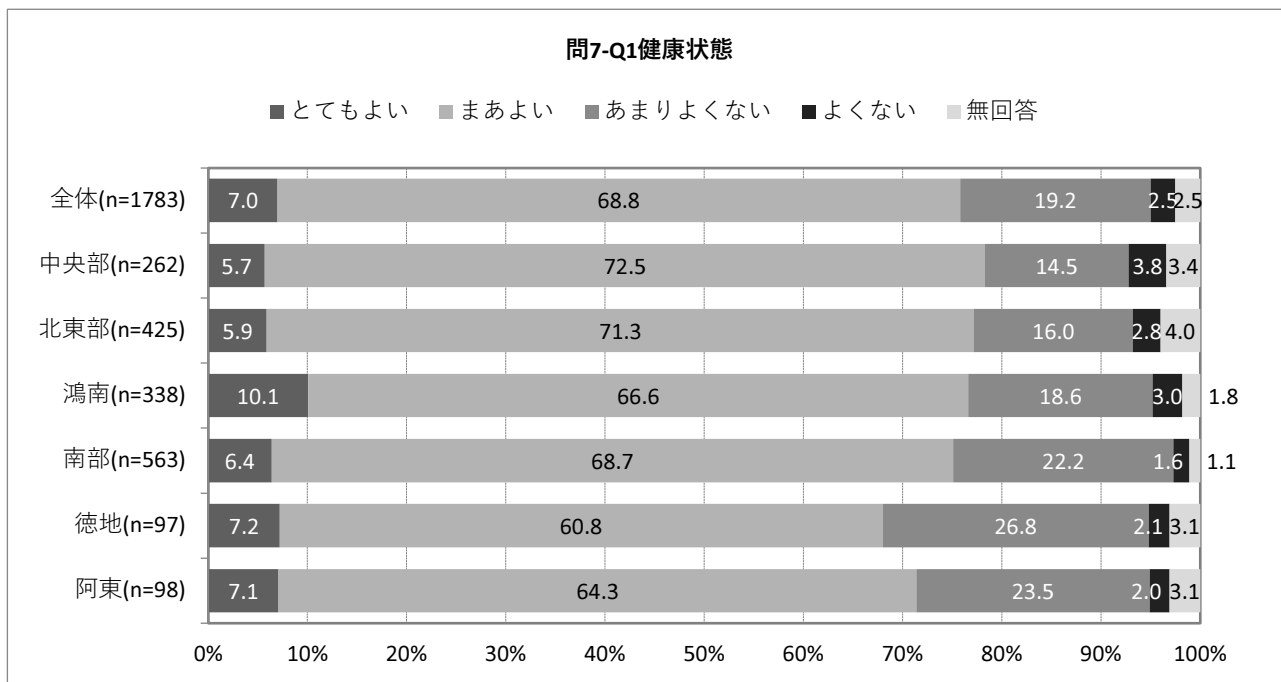
Q 1 0. 現在、地域とどのような関わりをしていますか（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=1783)	中央部 (n=262)	北東部 (n=425)	鴻南 (n=338)	南部 (n=563)	徳地 (n=97)	阿東 (n=98)
近所の人と挨拶をする程度	61.4	68.7	63.8	66.3	57.7	45.4	51.0
自治会・町内会など地域の集まりに参加している	31.7	26.0	26.6	24.9	38.4	42.3	44.9
近所の人と行き来している	28.0	19.8	26.4	21.3	32.0	46.4	39.8
自治会・町内会などの役員をしている	14.4	9.5	11.3	12.7	16.7	19.6	28.6
近所の人とほとんどつきあいがいい	10.0	12.6	9.9	12.1	9.8	3.1	4.1
無回答	3.9	5.0	4.7	3.8	2.7	5.2	3.1

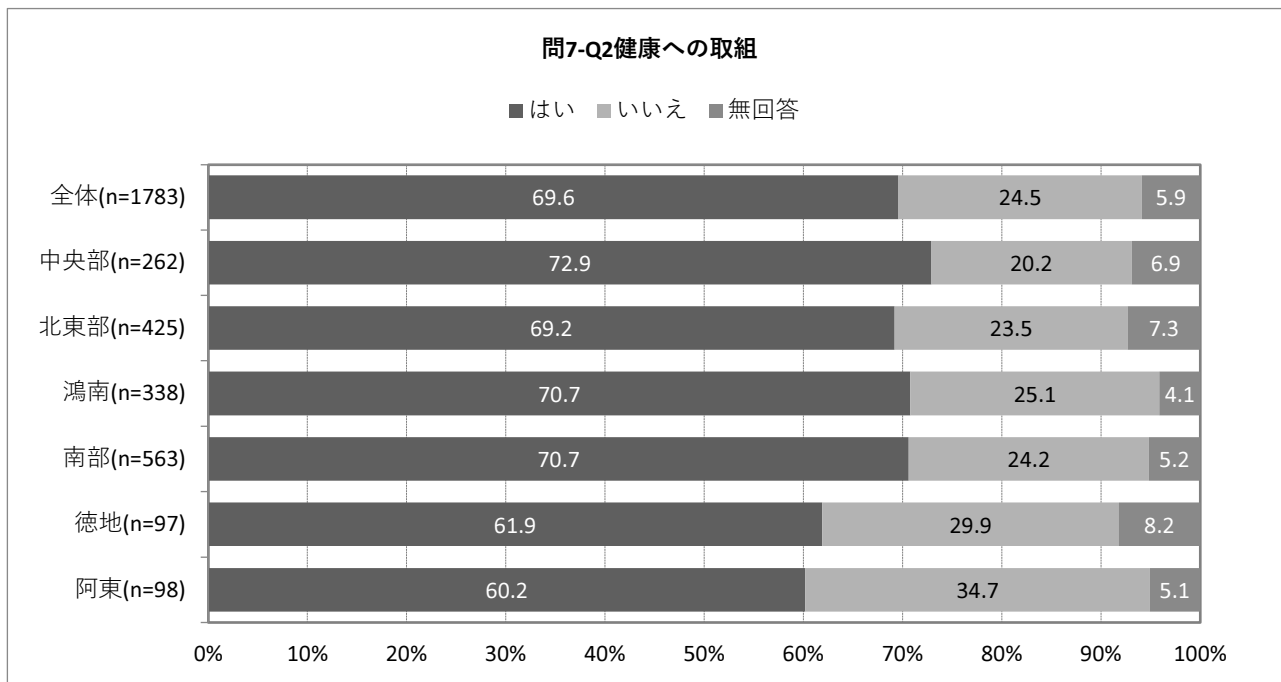
問7 健康について

Q1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか（圏域別）



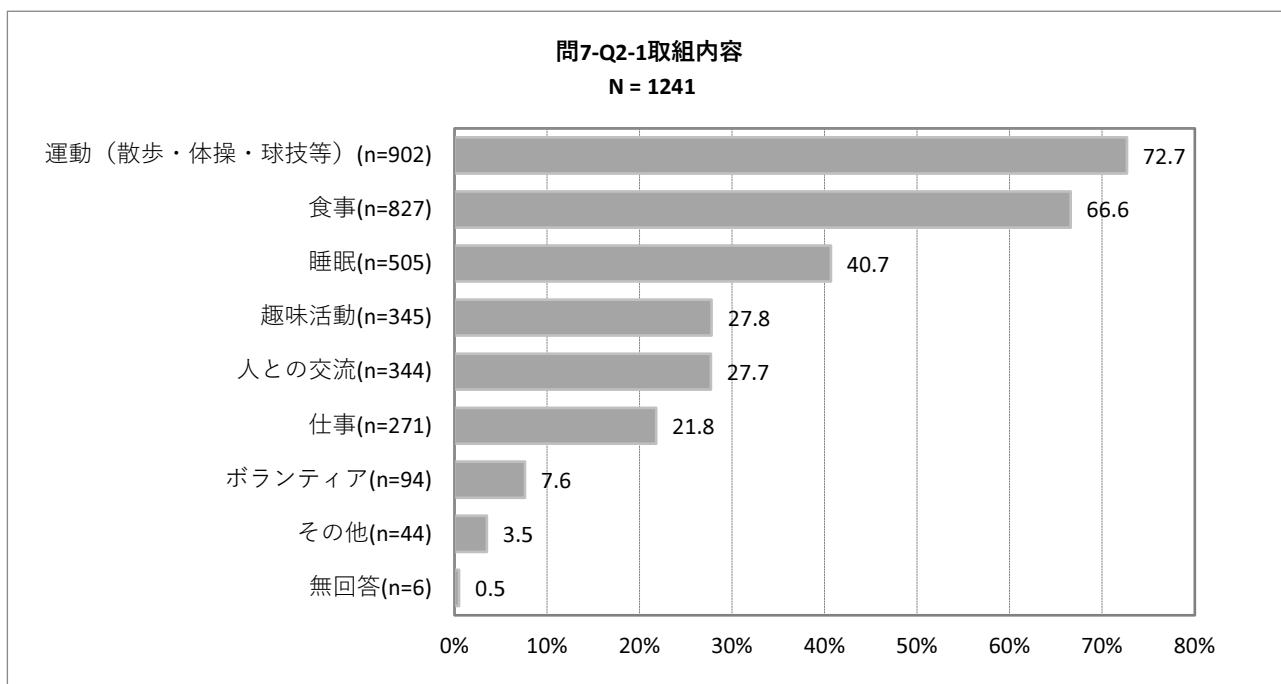
現在の健康状態について、「まあよい」と回答した人が68.8%と最も多く、「とてもよい」（7.0%）を合わせると7割を超えた。全体として健康状態を前向きに捉えている人が多い。

Q2. 健康のために取り組んでいることがありますか（圏域別）



健康のために何らかの取組をしている人は69.6%と約7割を占め、健康維持や予防への意識の高さがうかがえた。一方で、特に取組をしていない人も24.5%と一定数みられる。

Q2-1. 取り組んでいることは何ですか（取り組んでいる方のみ）（全体）※複数回答可



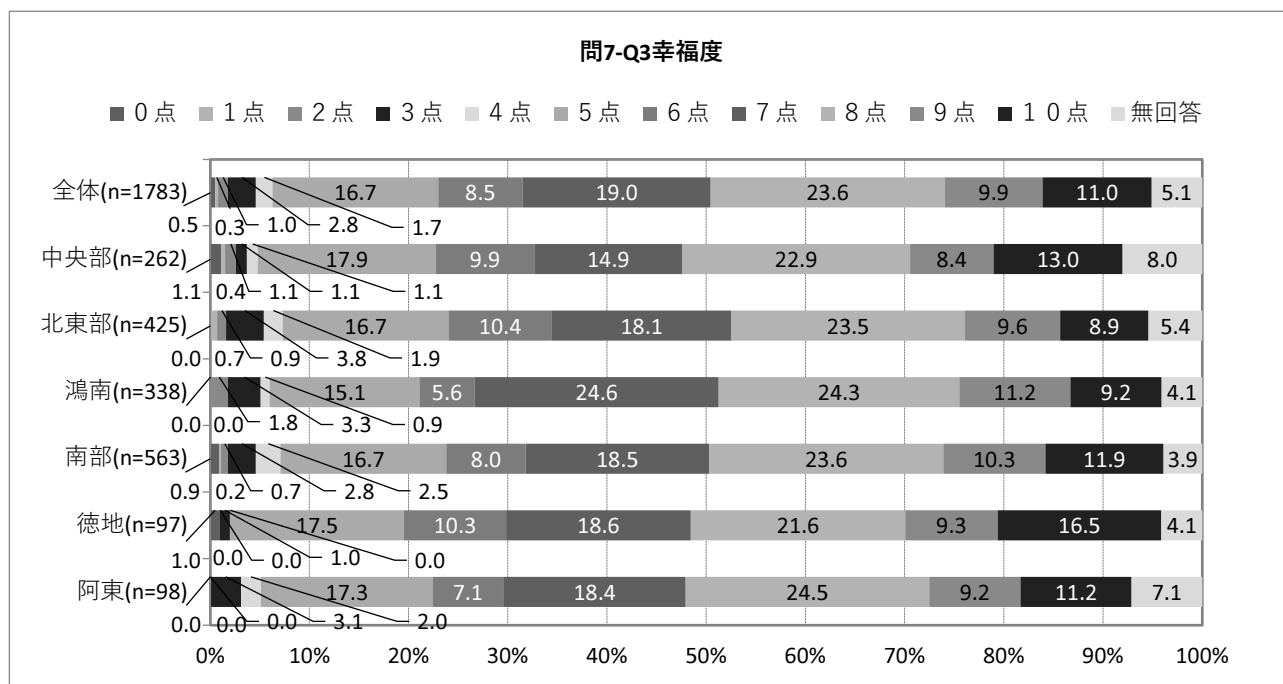
健康のための取組としては、「運動」（72.7%）や「食事」（66.6%）が特に多く、日常生活の中で健康維持を意識している様子がうかがえる。また、「趣味活動」（27.8%）や「人との交流」（27.7%）など、心身の充実につながる取組も一定数みられた。

Q2-1. 取り組んでいることは何ですか（取り組んでいる方のみ）（圏域別）

（単位：％）

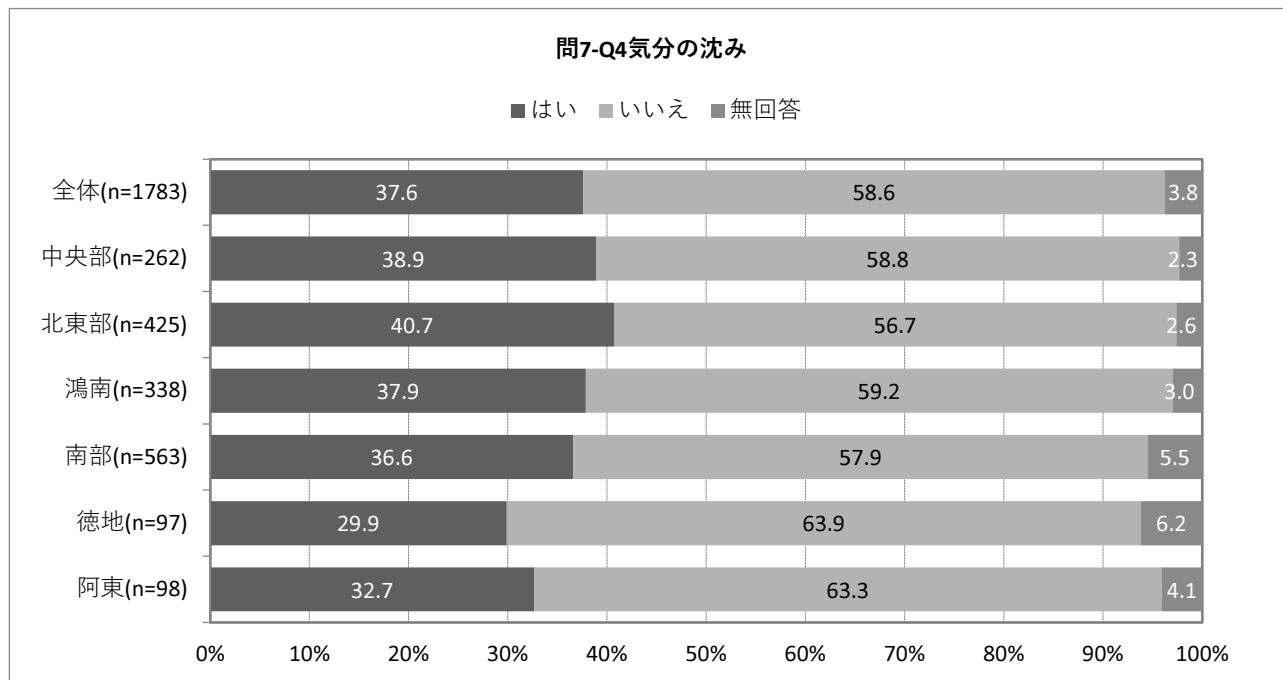
	全体 (n=1241)	中央部 (n=191)	北東部 (n=294)	鴻南 (n=239)	南部 (n=398)	徳地 (n=60)	阿東 (n=59)
運動（散歩・体操・球技等）	72.7	79.6	67.3	74.5	73.9	73.3	61.0
食事	66.6	63.4	69.0	65.3	64.6	78.3	72.9
睡眠	40.7	36.6	42.9	44.4	38.2	48.3	37.3
趣味活動	27.8	22.5	27.2	26.4	32.9	21.7	25.4
人との交流	27.7	24.6	27.9	30.1	26.6	31.7	30.5
仕事	21.8	18.3	22.4	20.5	20.9	26.7	37.3
ボランティア	7.6	6.8	3.4	8.8	10.1	8.3	8.5
その他	3.5	4.2	3.4	2.9	3.5	3.3	5.1
無回答	0.5	0.0	1.0	0.4	0.3	0.0	1.7

Q 3. あなたは、現在どの程度幸せですか（圏域別）



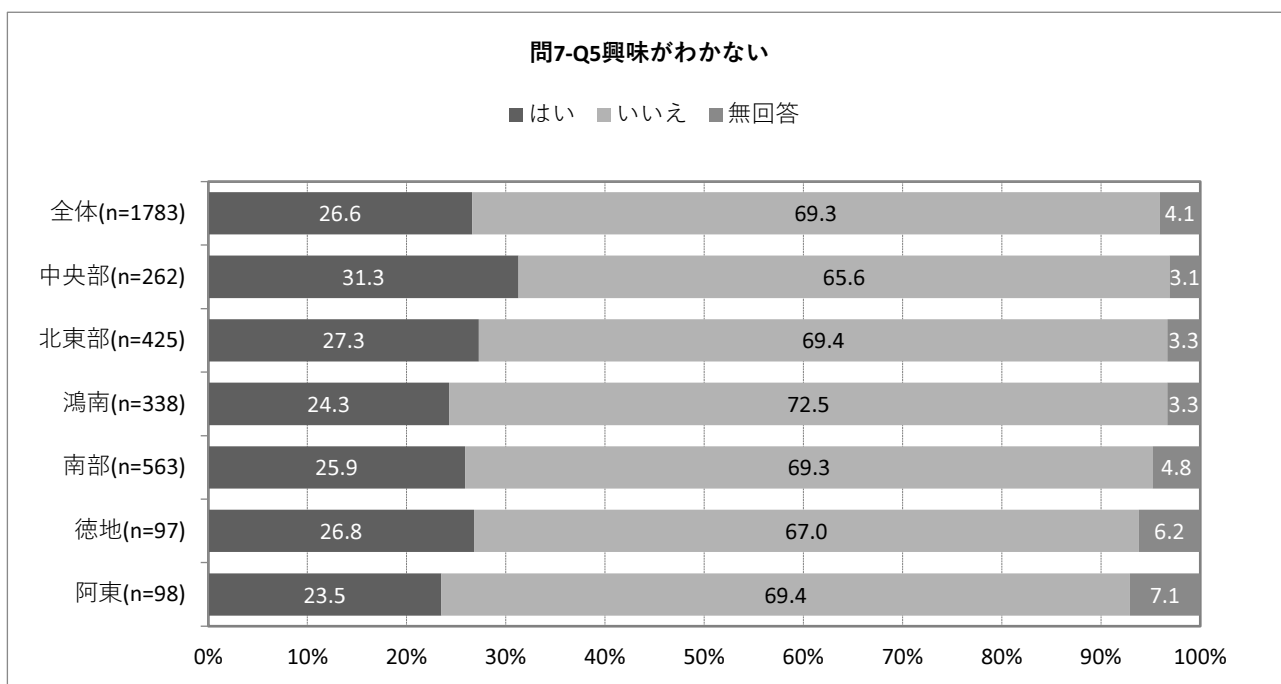
現在の幸福度は「8点」が23.6%と最も多く、「7点」（19.0%）、「5点」（16.7%）が続いた。全体として比較的高い点数を付ける人が多く、日常生活に満足感や充実感を持っている様子が見えてくる。

Q 4. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（圏域別）



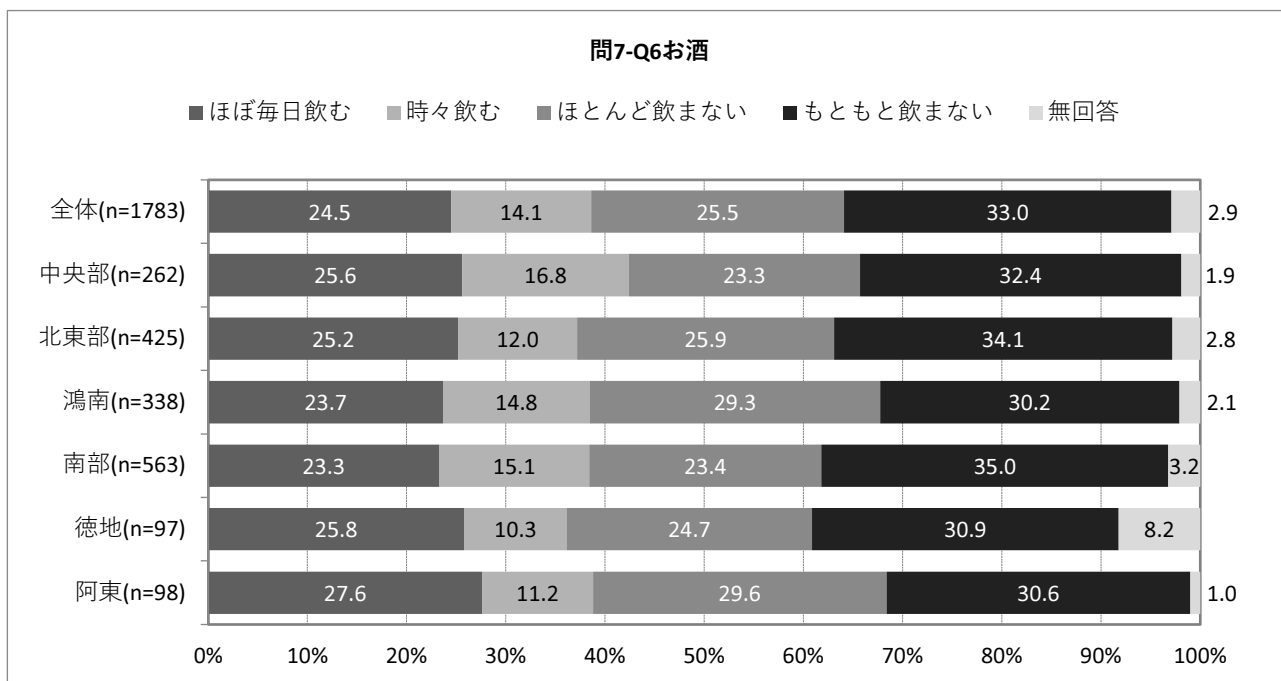
この1か月間に「気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことがある」と回答した人は37.6%と4割近くみられた。一方で、「ない」とする人が58.6%と半数を超えており、心身の状態には個人差があることがうかがえる。

Q 5. この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがありましたか（圏域別）



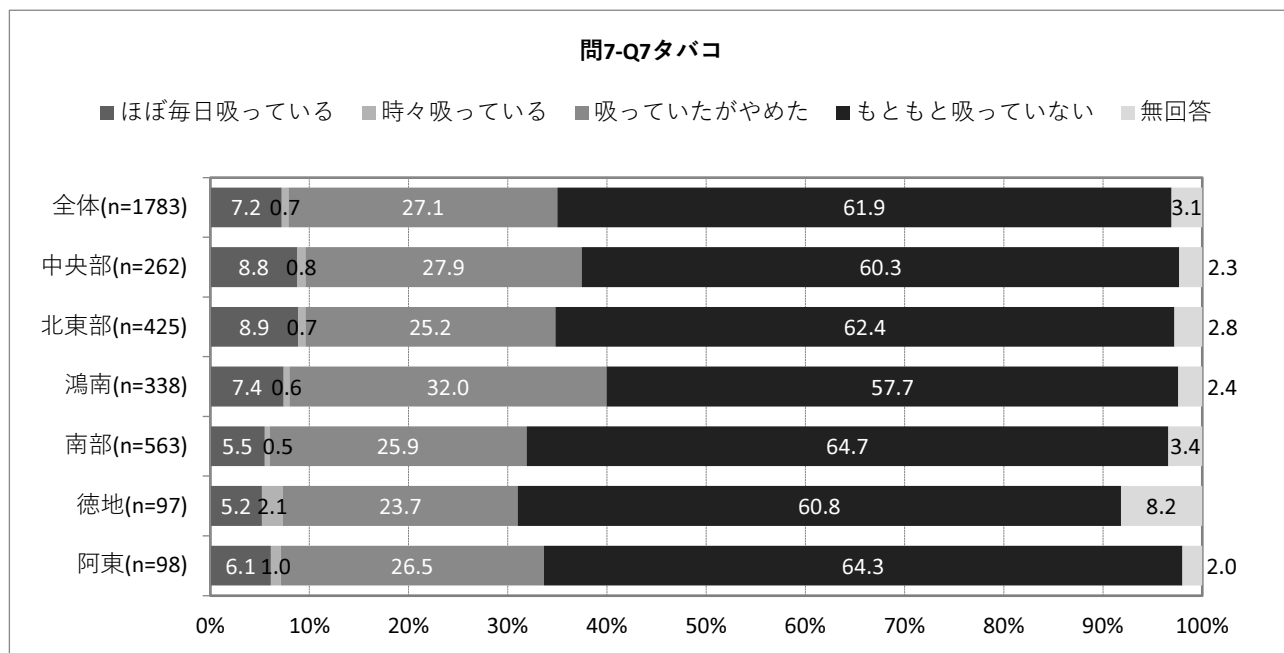
この 1 か月間に「物事に興味がわかない、楽しめない」と感じた人は 26.6%と約 3 割みられた。一方で、「いいえ」と回答した人が 69.3 と 7 割近くを占め、多くの人が日常生活の中で関心や楽しみを持って過ごしていることがうかがえる。

Q 6. お酒は飲みますか（圏域別）



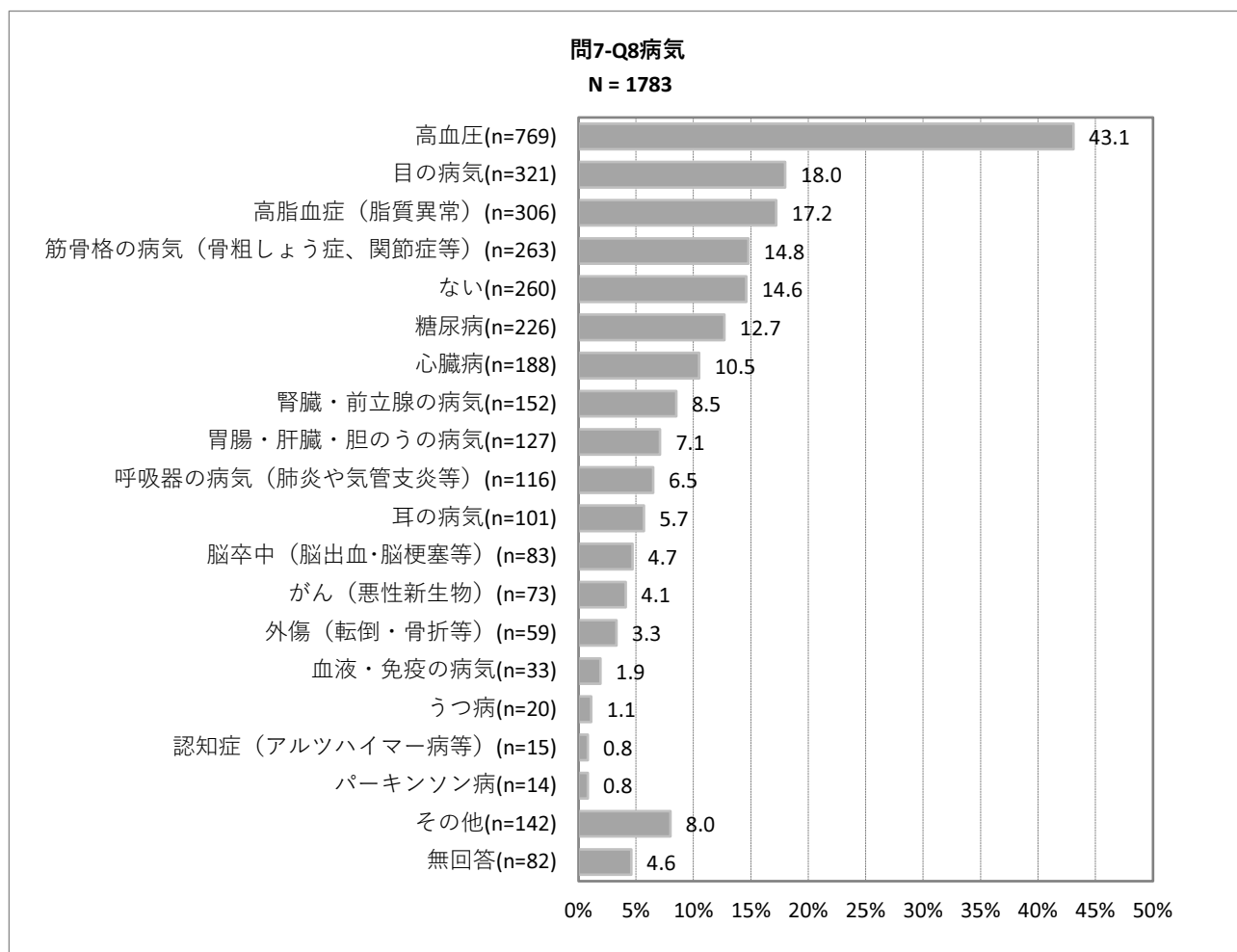
飲酒習慣については、「もともと飲まない」が 33.0%と最も多く、次いで「ほとんど飲まない」(25.5%)が続いた。一方で、「ほぼ毎日飲む」人も 24.5%と約 4 人に 1 人みられ、飲酒習慣には幅がある。

Q 7. タバコは吸っていますか（圏域別）



喫煙状況については、「もともと吸っていない」が61.9%と6割を超えた。

Q 8. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（全体）※複数回答可



現在治療中、または後遺症のある病気としては、「高血圧」が43.1%と最も多い。

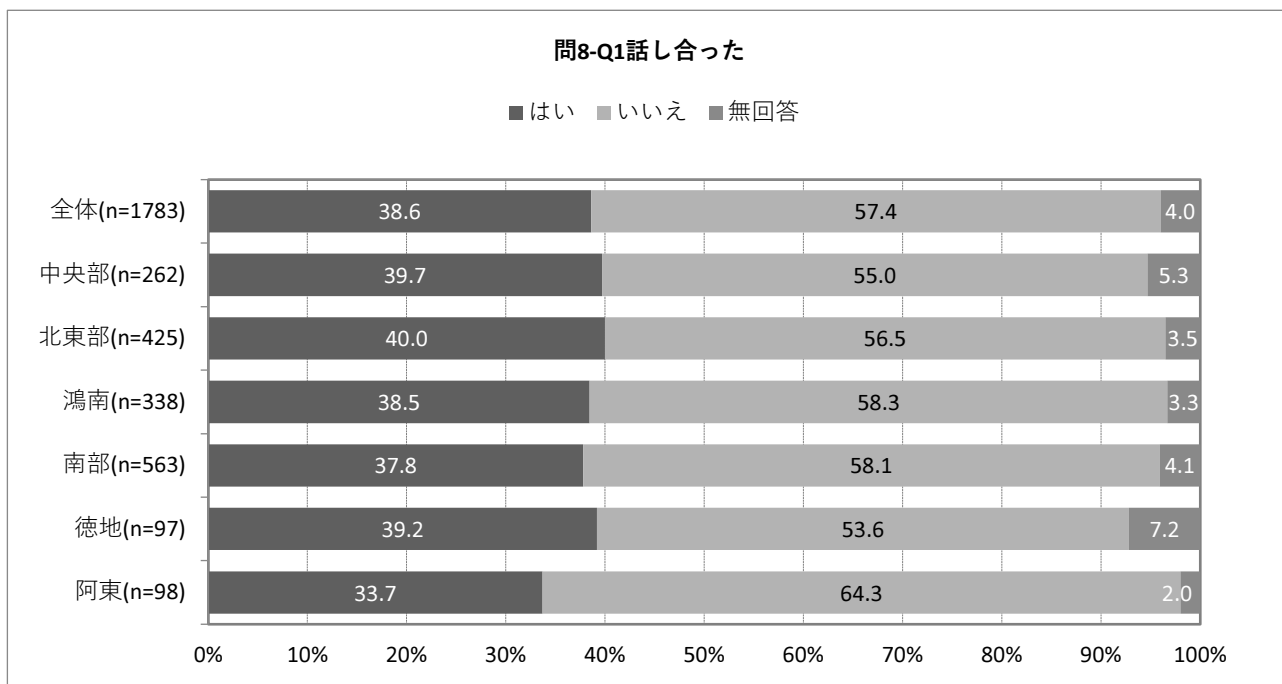
Q 8. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=1783)	中央部 (n=262)	北東部 (n=425)	鴻南 (n=338)	南部 (n=563)	徳地 (n=97)	阿東 (n=98)
高血圧	43.1	40.5	44.5	37.6	44.2	48.5	52.0
目の病気	18.0	14.5	17.6	19.5	20.2	12.4	16.3
高脂血症（脂質異常）	17.2	21.0	19.1	14.8	17.9	10.3	9.2
筋骨格の病気 （骨粗しょう症、関節症等）	14.8	16.4	14.8	12.4	16.5	11.3	11.2
ない	14.6	16.8	13.4	15.1	14.7	14.4	11.2
糖尿病	12.7	11.5	13.6	10.9	12.3	16.5	16.3
心臓病	10.5	9.9	11.5	11.5	10.3	4.1	12.2
腎臓・前立腺の病気	8.5	7.3	8.0	9.2	9.4	8.2	7.1
胃腸・肝臓・胆のうの病気	7.1	9.2	6.1	5.6	8.2	4.1	8.2
呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	6.5	8.4	5.9	7.4	5.9	8.2	3.1
耳の病気	5.7	3.8	6.6	3.8	5.3	7.2	13.3
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	4.7	3.8	4.0	6.5	3.4	9.3	6.1
がん（悪性新生物）	4.1	6.1	4.7	3.3	3.6	1.0	5.1
外傷（転倒・骨折等）	3.3	5.3	4.7	1.5	2.3	5.2	2.0
血液・免疫の病気	1.9	1.1	3.1	1.5	2.0	0.0	1.0
うつ病	1.1	0.4	1.2	1.8	0.9	1.0	2.0
認知症（アルツハイマー病等）	0.8	1.9	0.5	1.2	0.5	1.0	0.0
パーキンソン病	0.8	0.4	0.9	0.6	0.9	0.0	2.0
その他	8.0	8.4	7.1	9.5	8.2	7.2	5.1
無回答	4.6	3.8	3.8	3.8	5.3	8.2	5.1

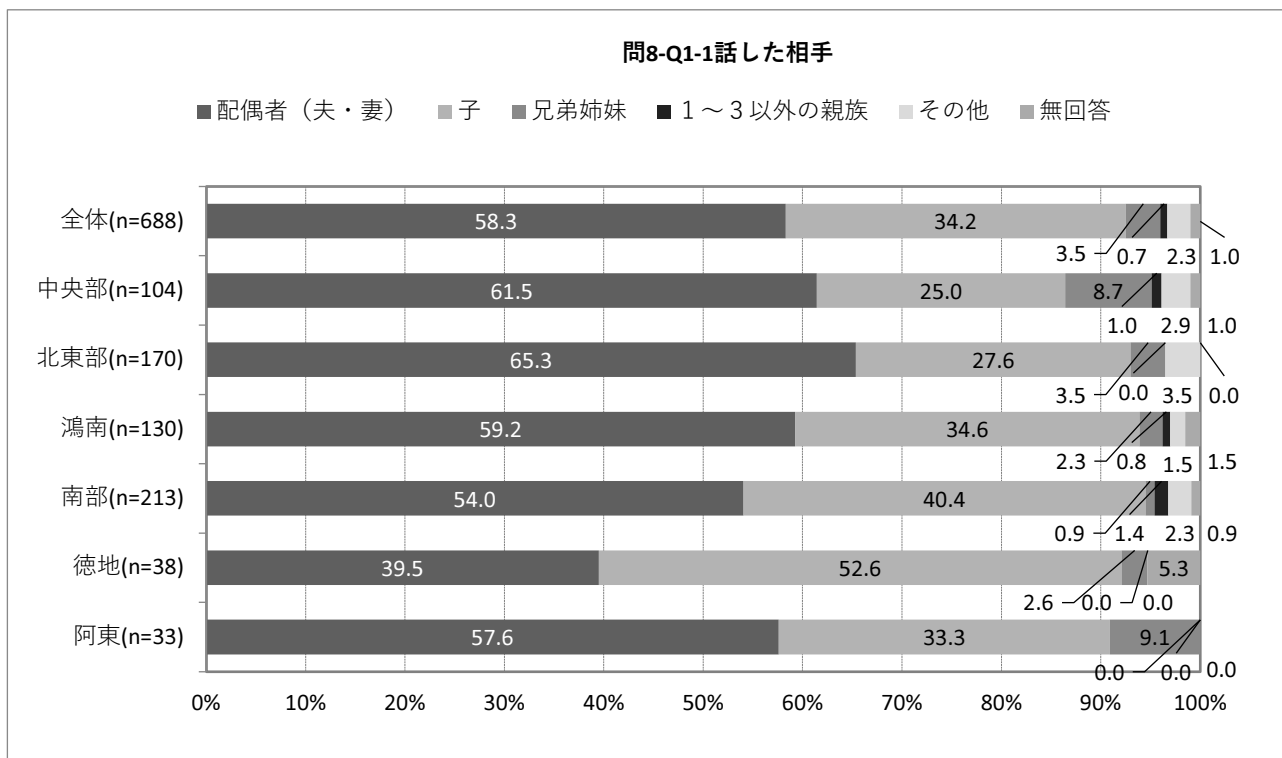
問 8 「もしもの時」のために望む医療と療養の場所について

Q 1. もしも、あなたが病気にかかり、自分の考えを伝えられなくなった場合に受けたい医療について、誰かと話し合ったことはありますか（圏域別）



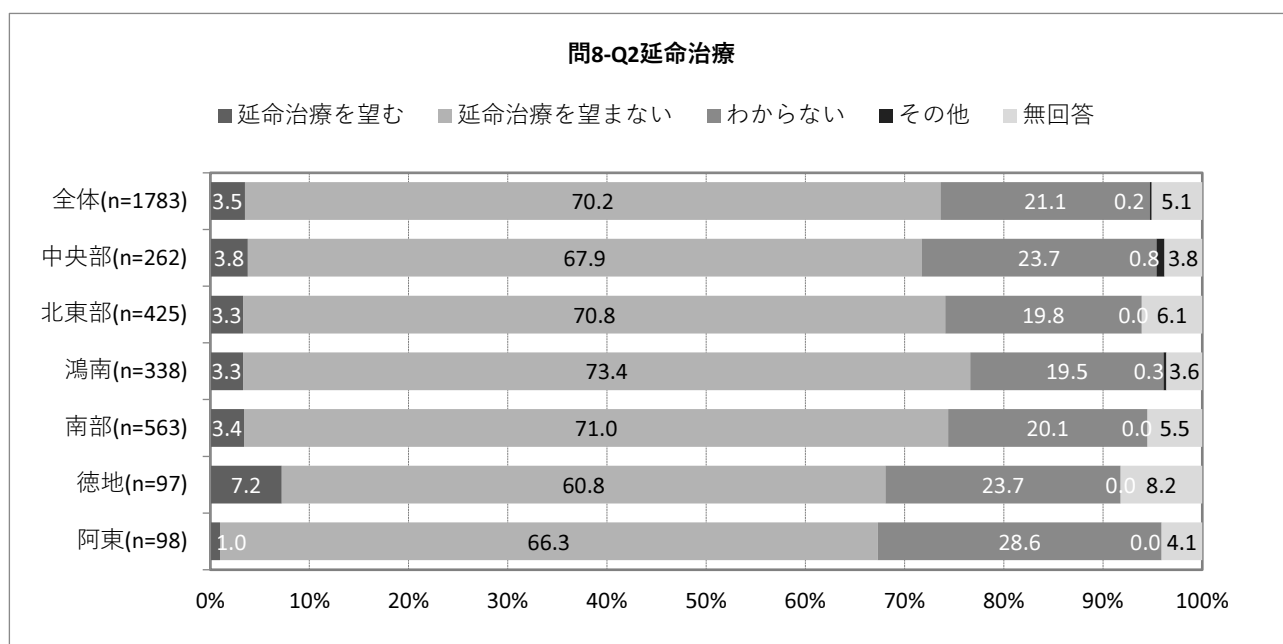
将来、自分の意思を伝えられなくなった場合の医療について、「話し合ったことがない」と回答した人が57.4%と半数を超えた。一方で、家族などと事前に話し合っている人も38.6%と一定数みられる。

Q 1-1. 誰と話し合いましたか（圏域別）



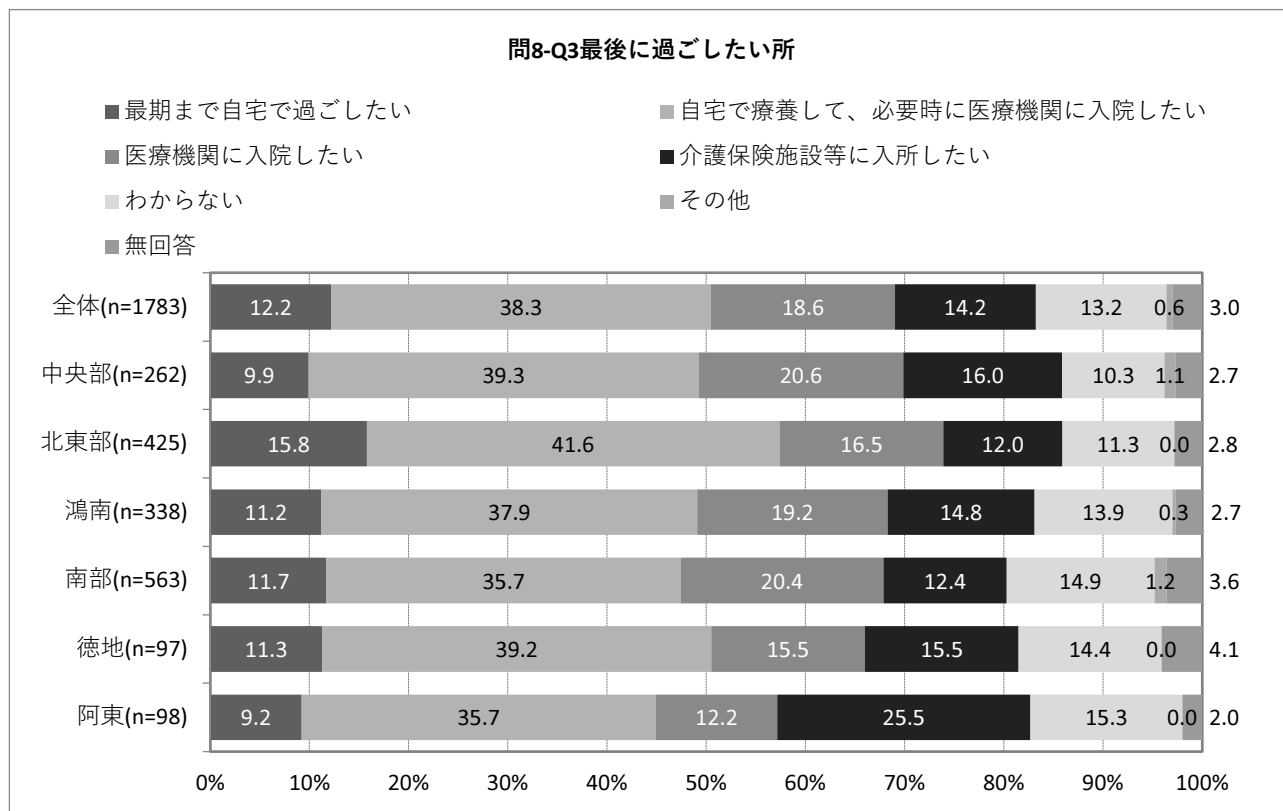
受けたい医療について話し合った相手は「配偶者」が58.3%と最も多く、「子」（34.2%）が続いた。

Q 2. もしも、あなたが病気にかかり、自分の考えを伝えられなくなった場合に、延命を最も重視した治療を望みますか（圏域別）



延命治療については、「望まない」と回答した人が 70.2%と 7 割を占め、自分らしい最期を重視する意識がうかがえた。一方で、「わからない」とする人も 21.1%と 2 割を超えた。

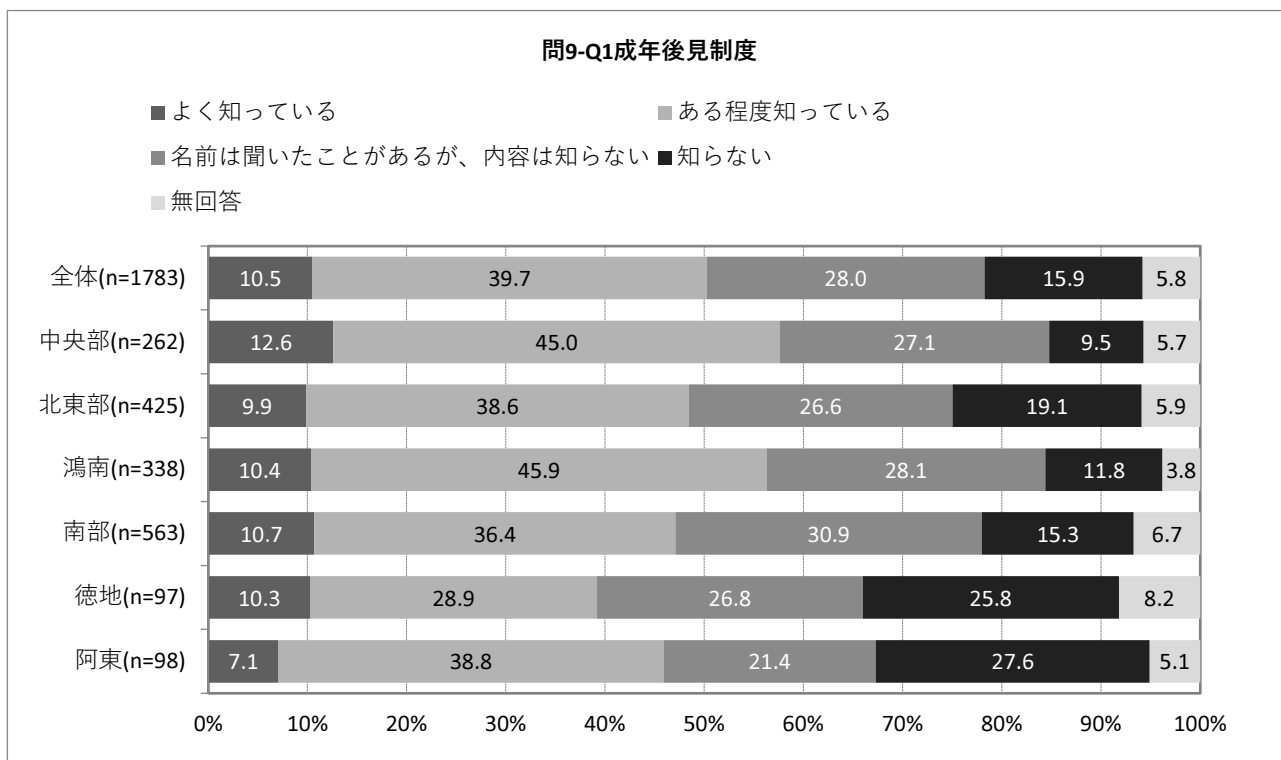
Q 3. もしも、あなたが病気にかかり、自分の考えを伝えられなくなった場合に、どこで過ごしたいと思いますか（圏域別）



自分の考えを伝えられなくなった場合の過ごし方については、「自宅で療養し、必要時に入院したい」が 38.3%と最も多く、住み慣れた環境で過ごしたいという意向がうかがえた。

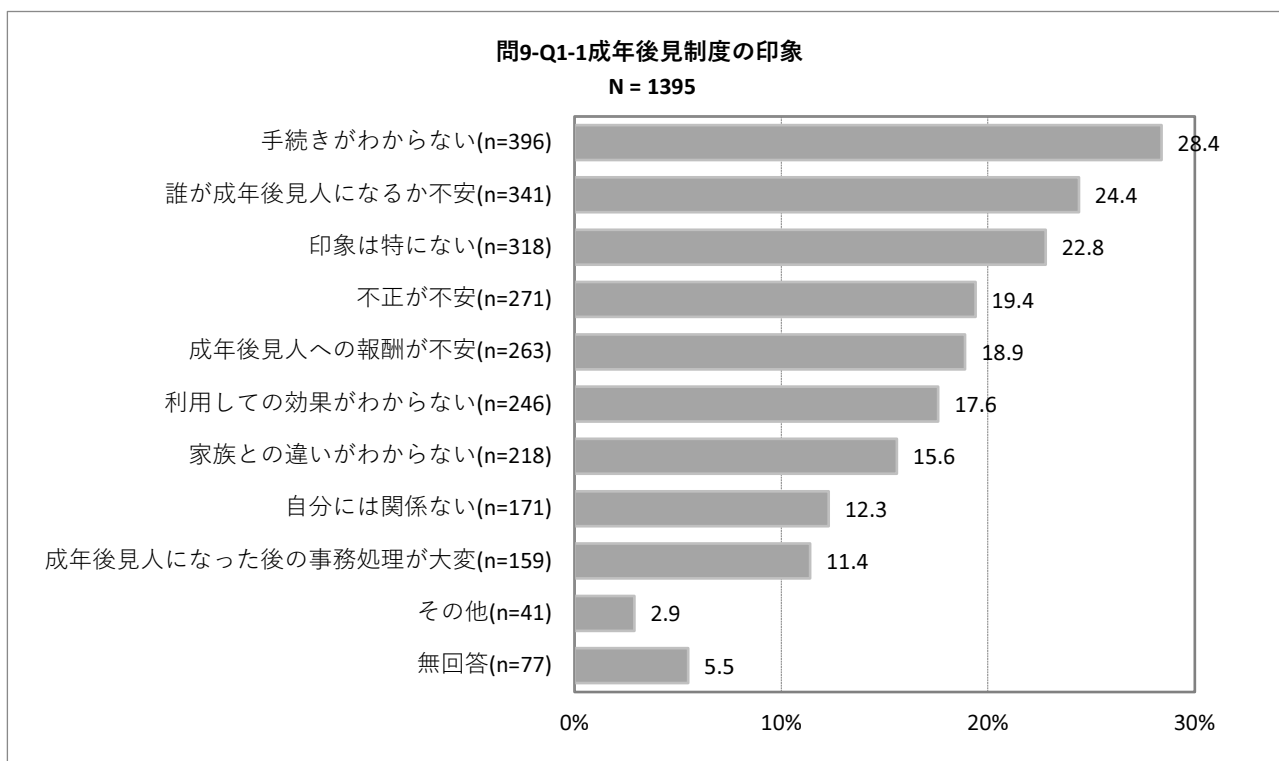
問 9 成年後見制度について

Q 1. 成年後見制度を知っていますか（圏域別）



成年後見制度について、「ある程度知っている」と回答した人が 39.7%と最も多かった。一方で、「内容は知らない」(28.0%)、「知らない」(15.9%) とする人も 4 割を超えており、制度への理解を深めるための周知や情報提供の必要性がうかがえる。

Q 1－1. 成年後見制度についてどのような印象を持っていますか（全体）※複数回答可



成年後見制度については、「手続きがわからない」(28.4%)や「誰が成年後見人になるか不安」(24.4%)といった声が多く、制度利用への不安や分かりにくさがうかがえた。また、「不正が不安」(19.4%)や「成年後見人への報酬が不安」(18.9%)と不正や費用面を心配する人も多く、安心して利用するための情報提供が求められる。

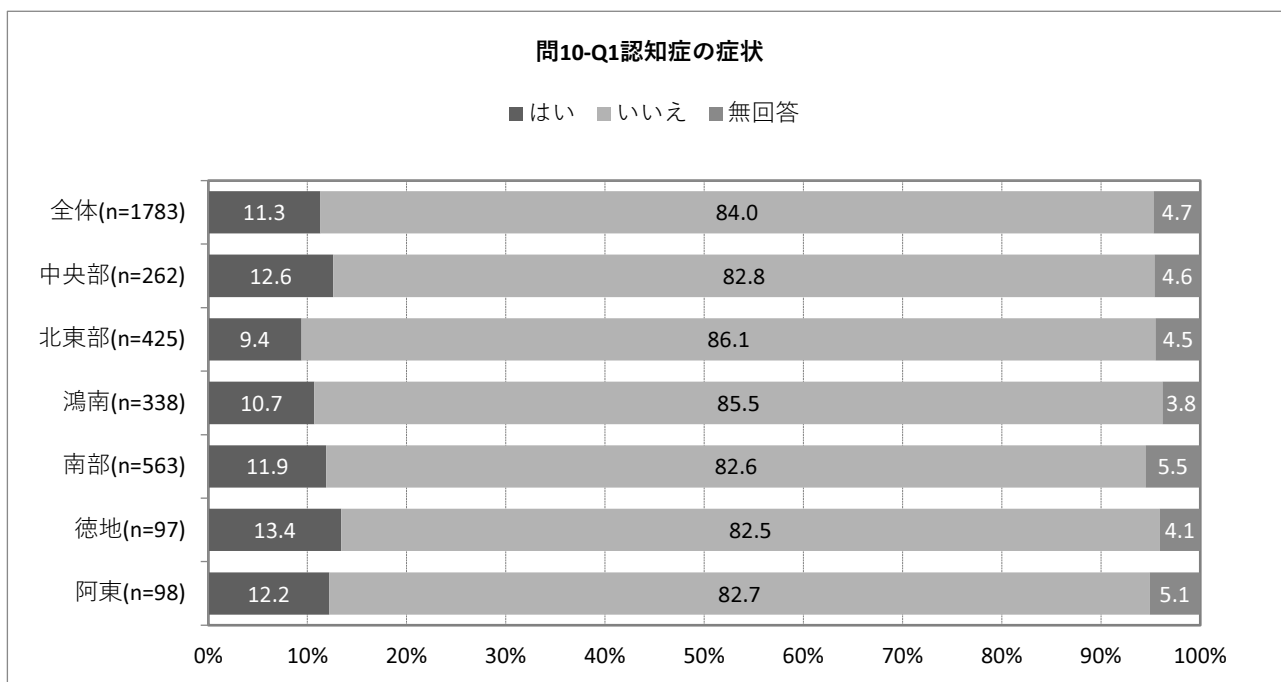
Q 1－1. 成年後見制度についてどのような印象を持っていますか（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=1395)	中央部 (n=222)	北東部 (n=319)	鴻南 (n=285)	南部 (n=439)	徳地 (n=64)	阿東 (n=66)
手続きがわからない	28.4	18.9	31.7	29.5	31.7	21.9	24.2
誰が成年後見人になるか不安	24.4	19.8	23.2	28.4	25.1	21.9	27.3
印象は特にない	22.8	23.4	22.3	21.4	23.9	23.4	21.2
不正が不安	19.4	16.7	16.6	24.9	19.4	18.8	19.7
成年後見人への報酬が不安	18.9	19.4	17.2	19.6	18.9	26.6	13.6
利用しての効果がわからない	17.6	11.3	19.1	18.6	18.2	21.9	19.7
家族との違いがわからない	15.6	11.3	17.2	14.7	16.9	15.6	18.2
自分には関係ない	12.3	17.6	10.3	10.5	13.0	7.8	10.6
成年後見人になった後の事務処理が大変	11.4	10.8	8.8	11.2	13.4	14.1	10.6
その他	2.9	5.4	3.1	1.8	2.7	0.0	3.0
無回答	5.5	3.6	5.0	5.6	6.2	10.9	4.5

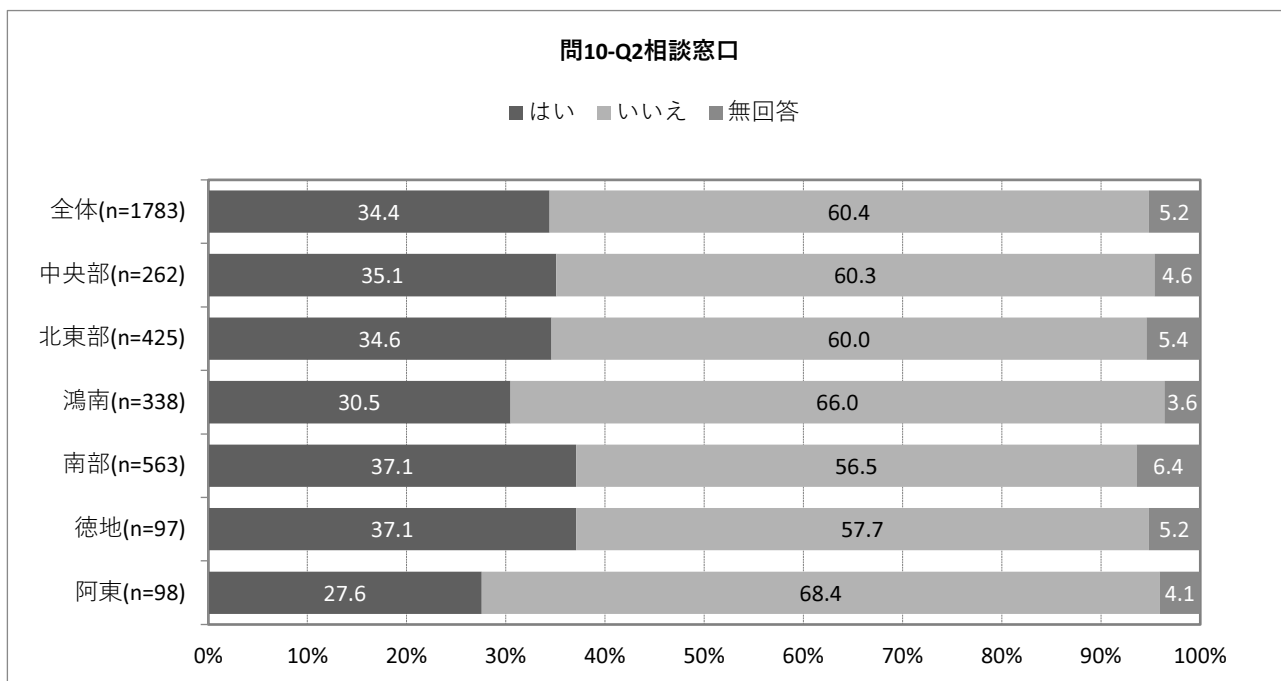
問 10 認知症について

Q 1. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（圏域別）



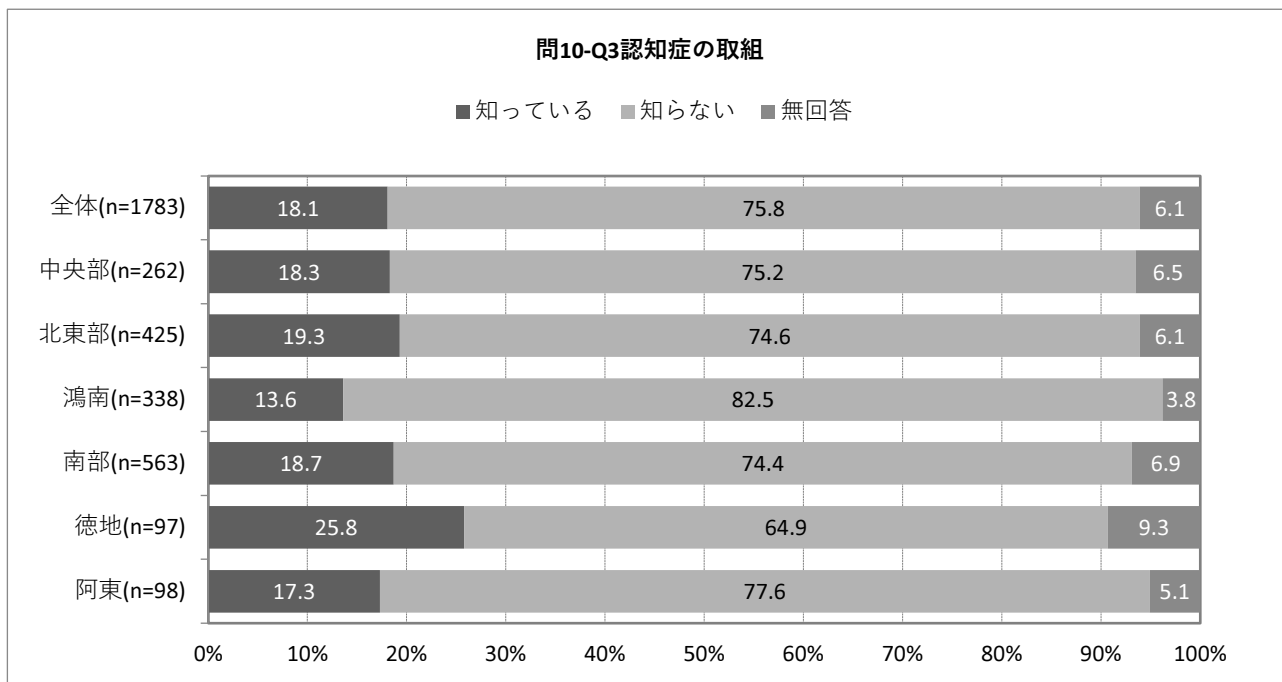
認知症の症状がある、または家族に認知症の症状があると回答した人は 11.3%と 1 割程度みられた。一方で、「いいえ」が 84.0%と 8 割を超えている。

Q 2. 認知症に関する相談窓口を知っていますか（圏域別）



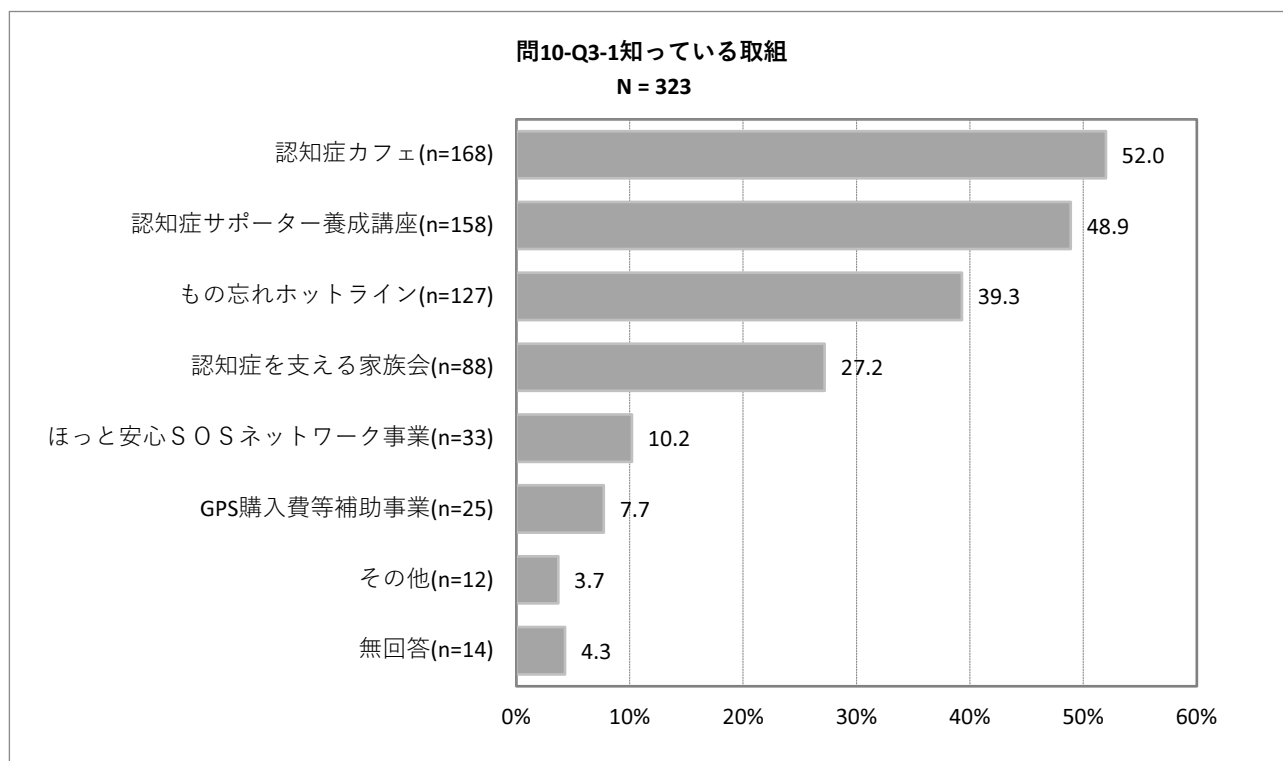
認知症に関する相談窓口を「知っている」と回答した人は 34.4%と 3 割程度にとどまり、「知らない」が 60.4%と 6 割を超えた。相談窓口の周知や情報発信の充実が求められる。

Q 3. 市の認知症に対する取組を知っていますか（圏域別）



市の認知症に対する取組について、「知らない」と回答した人が75.8%と7割を超え、認知症施策の認知度は十分とはいえない状況がうかがえた。

Q3-1. 知っている取組は何ですか（全体）※複数回答可



知っている認知症施策としては、「認知症カフェ」（52.0％）や「認知症サポーター養成講座」（48.9％）が多く、地域での交流や理解促進に関する取組の認知が進んでいることがうかがえた。

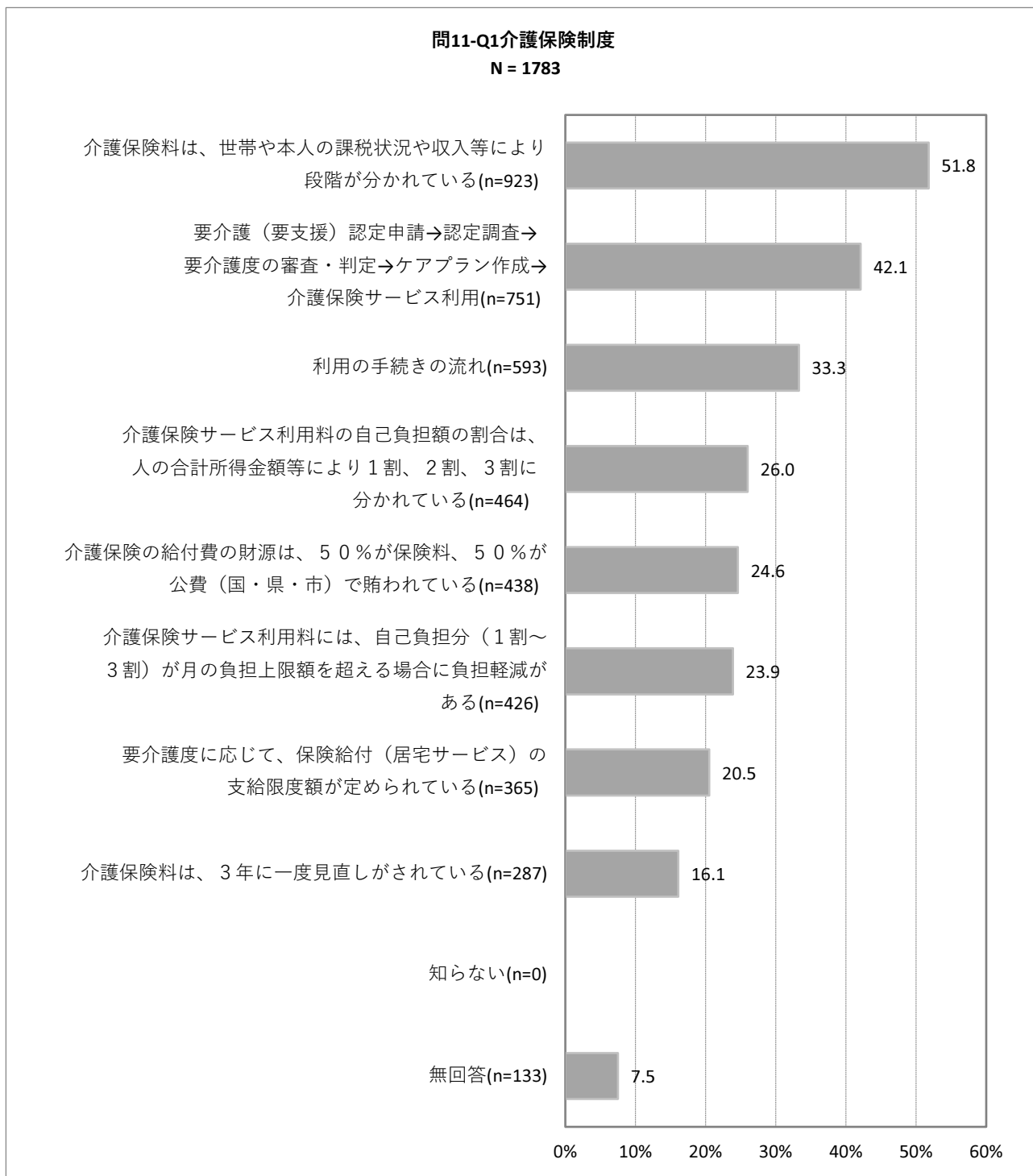
Q3-1. 知っている取組は何ですか（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=323)	中央部 (n=48)	北東部 (n=82)	鴻南 (n=46)	南部 (n=105)	徳地 (n=25)	阿東 (n=17)
認知症カフェ	52.0	47.9	43.9	43.5	63.8	56.0	47.1
認知症サポーター養成講座	48.9	56.3	50.0	39.1	52.4	48.0	29.4
もの忘れホットライン	39.3	47.9	41.5	54.3	31.4	24.0	35.3
認知症を支える家族会	27.2	35.4	29.3	28.3	16.2	48.0	29.4
ほっと安心 SOS ネットワーク事業	10.2	16.7	11.0	6.5	10.5	4.0	5.9
GPS 購入費等補助事業	7.7	6.3	8.5	13.0	8.6	0.0	0.0
その他	3.7	2.1	1.2	6.5	2.9	4.0	17.6
無回答	4.3	10.4	4.9	2.2	2.9	0.0	5.9

問 1 1 介護保険について

Q 1 . 介護保険制度について知っている項目（全体）※複数回答可



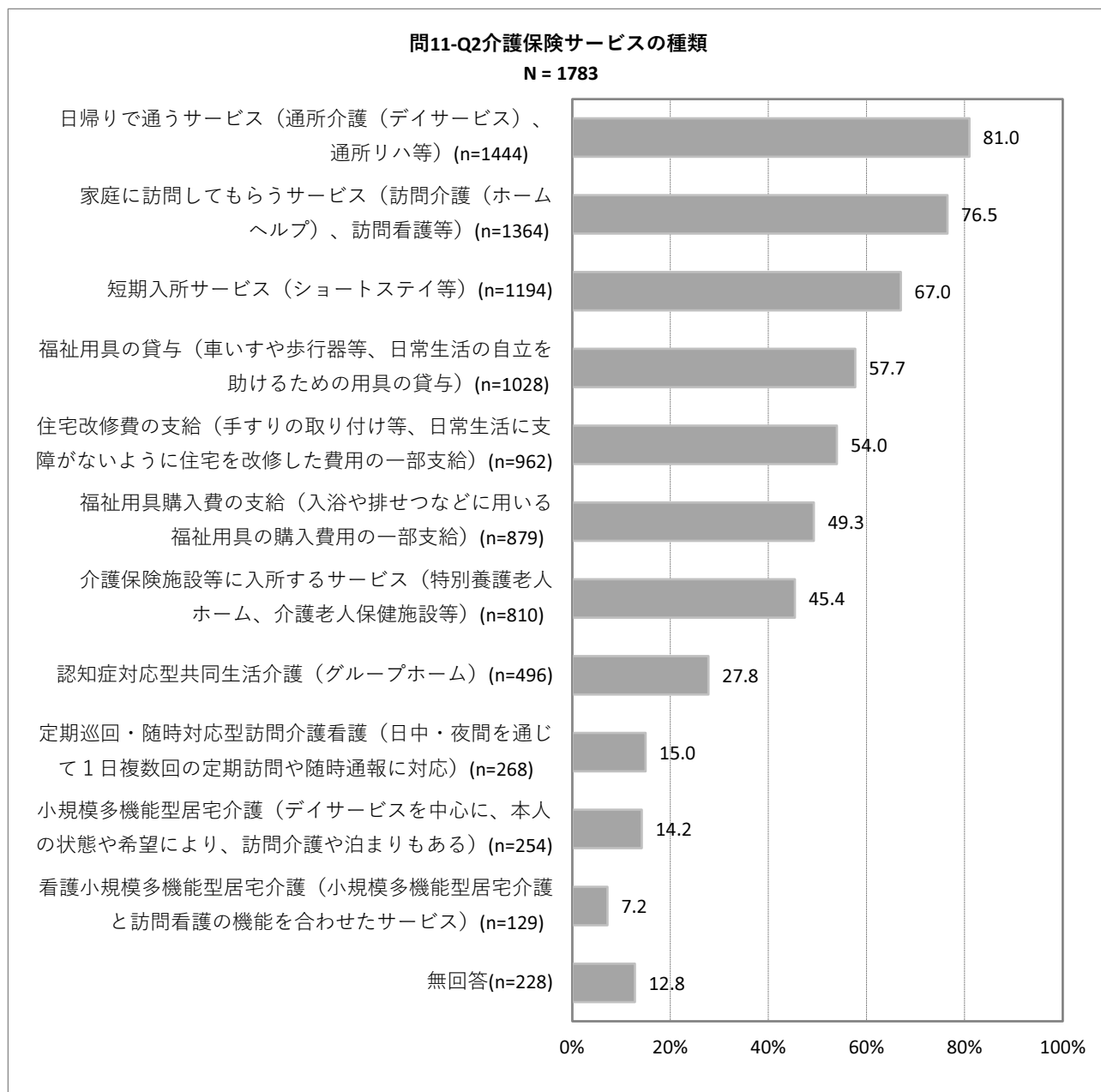
介護保険制度については、「介護保険料は、世帯や本人の課税状況や収入等により段階が分かれている」（51.8%）、「要介護（要支援）認定申請→認定調査→要介護度の審査・判定→ケアプラン作成→介護保険サービス利用」（42.1%）と、保険料の仕組みや認定からサービス利用までの流れを知っている人が比較的多くみられた。一方で、自己負担軽減制度や支給限度額など、制度の詳細に関する理解はやや低い傾向がうかがえる。

Q 1. 介護保険制度について知っている項目（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=1783)	中央部 (n=262)	北東部 (n=425)	鴻南 (n=338)	南部 (n=563)	徳地 (n=97)	阿東 (n=98)
介護保険料は、世帯や本人の課税状況や収入等により段階が分かれている	51.8	53.8	53.9	48.5	52.9	43.3	50.0
要介護（要支援）認定申請→認定調査→要介護度の審査・判定→ケアプラン作成→介護保険サービス利用	42.1	45.0	41.4	40.8	44.0	37.1	35.7
利用の手続きの流れ	33.3	40.5	32.2	31.7	33.9	32.0	21.4
介護保険サービス利用料の自己負担額の割合は、本人の合計所得金額等により1割、2割、3割に分かれている	26.0	32.4	26.6	24.3	25.4	18.6	23.5
介護保険の給付費の財源は、50％が保険料、50％が公費（国・県・市）で賄われている	24.6	26.3	24.2	23.4	25.4	20.6	24.5
介護保険サービス利用料には、自己負担分（1割～3割）が月の負担上限額を超える場合に負担軽減がある	23.9	20.6	24.7	29.6	21.5	23.7	23.5
要介護度に応じて、保険給付（居宅サービス）の支給限度額が定められている	20.5	21.8	21.2	18.3	21.0	18.6	20.4
介護保険料は、3年に一度見直しがされている	16.1	19.1	17.6	13.6	15.8	14.4	13.3
知らない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	7.5	8.8	5.9	5.6	6.7	14.4	14.3

Q 2. 介護保険サービスの種類として知っている項目（全体）※複数回答可



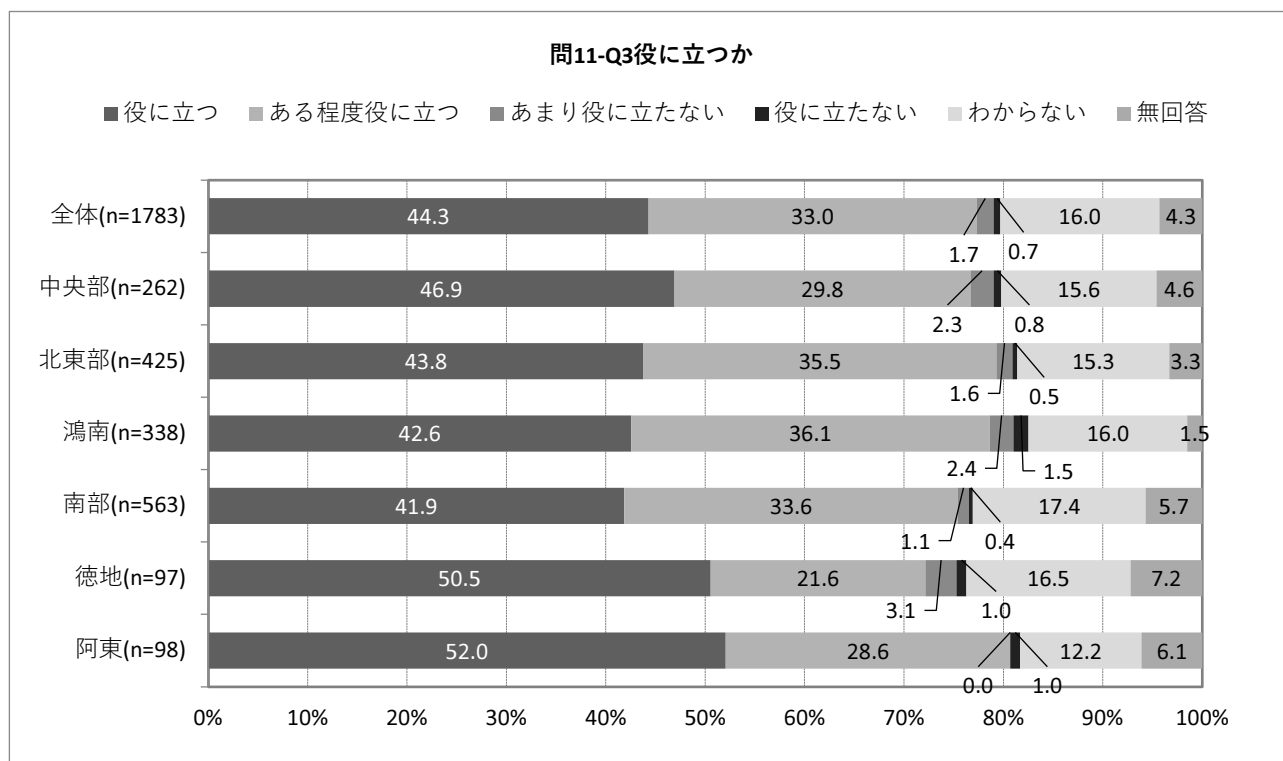
介護保険サービスでは、「日帰りで通うサービス」(81.0%)や「家庭に訪問してもらうサービス」(76.5%)など在宅生活を支えるサービスの認知度が高い結果となった。一方で、「小規模多機能型居宅介護」(14.2%)、「看護小規模多機能型居宅介護」(7.2%)などは認知度が低く、制度やサービス内容の周知が課題といえる。

Q 2. 介護保険サービスの種類として知っている項目（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=1783)	中央部 (n=262)	北東部 (n=425)	鴻南 (n=338)	南部 (n=563)	徳地 (n=97)	阿東 (n=98)
日帰りで通うサービス（通所介護（デイサービス）、通所リハ等）	81.0	83.2	79.5	79.6	83.3	79.4	74.5
家庭に訪問してもらうサービス（訪問介護（ホームヘルプ）、訪問看護等）	76.5	76.3	76.2	76.6	77.6	73.2	74.5
短期入所サービス（ショートステイ等）	67.0	71.8	62.6	65.1	68.9	66.0	69.4
福祉用具の貸与（車いすや歩行器等、日常生活の自立を助けるための用具の貸与）	57.7	61.1	56.9	53.6	60.0	55.7	54.1
住宅改修費の支給（手すりの取り付け等、日常生活に支障がないように住宅を改修した費用の一部支給）	54.0	51.5	54.1	50.6	58.4	46.4	53.1
福祉用具購入費の支給（入浴や排せつなどに用いる福祉用具の購入費用の一部支給）	49.3	50.0	49.6	46.7	52.8	39.2	44.9
介護保険施設等に入所するサービス（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等）	45.4	46.6	42.1	45.9	47.4	41.2	48.0
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	27.8	29.0	25.4	28.4	28.8	26.8	28.6
定期巡回・随時対応型訪問介護看護（日中・夜間を通じて1日複数回の定期訪問や随時通報に対応）	15.0	20.6	13.4	15.1	14.4	13.4	12.2
小規模多機能型居宅介護（デイサービスを中心に、本人の状態や希望により、訪問介護や泊まりもある）	14.2	17.6	13.6	12.7	15.3	14.4	7.1
看護小規模多機能型居宅介護（小規模多機能型居宅介護と訪問看護の機能を合わせたサービス）	7.2	11.1	5.6	8.6	6.7	5.2	4.1
無回答	12.8	11.5	14.1	12.7	10.8	17.5	17.3

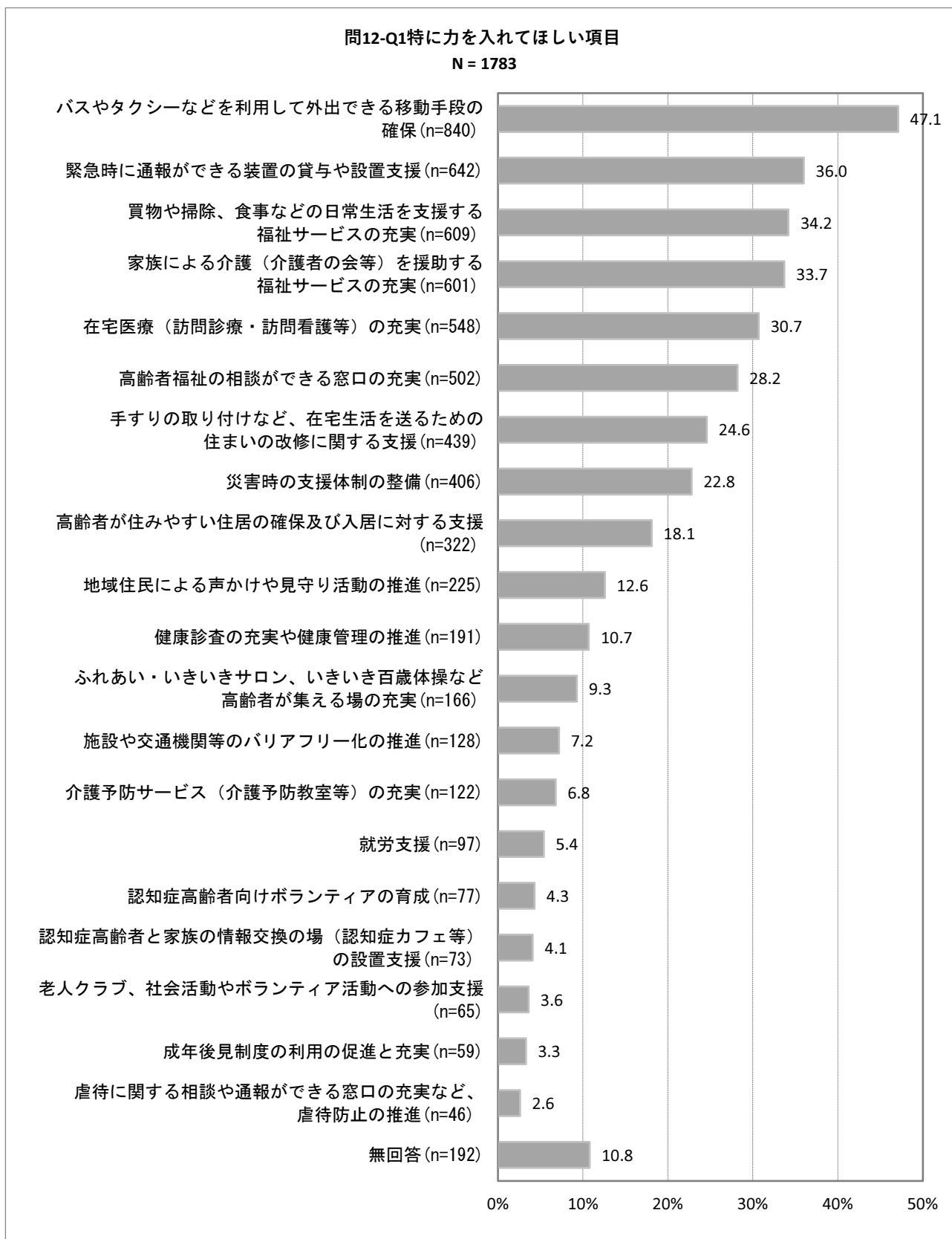
Q 3. 介護保険制度は、将来あなたの役に立つと思いますか（圏域別）



介護保険制度について、「役に立つ」（44.3%）、「ある程度役に立つ」（33.0%）と回答した人が7割を超え、制度への期待や必要性が広く認識されていることがうかがえた。一方で、「わからない」とする人も16.0%と一定数みられる。

問 1 2 高齢者福祉について

Q 1. 高齢者施策（サービス）について、特に力を入れてほしい項目（全体）※5つまで



高齢者施策として特に求められているのは、「移動手段の確保」（47.1％）であり、外出や通院を支える交通支援へのニーズの高さがうかがえた。

Q 1. 高齢者施策（サービス）について、特に力を入れてほしい項目（圏域別）

（単位：％）

	全体 (n=1783)	中央部 (n=262)	北東部 (n=425)	鴻南 (n=338)	南部 (n=563)	徳地 (n=97)	阿東 (n=98)
バスやタクシーなどを利用して外出 できる移動手段の確保	47.1	50.4	50.6	42.3	46.2	45.4	46.9
緊急時に通報ができる装置の貸与や設置 支援	36.0	35.1	34.4	38.5	36.4	28.9	41.8
買物や掃除、食事などの日常生活を支援 する福祉サービスの充実	34.2	34.0	32.5	36.7	32.3	41.2	36.7
家族による介護（介護者の会等）を援助 する福祉サービスの充実	33.7	35.9	32.2	34.6	32.1	36.1	37.8
在宅医療（訪問診療・訪問看護等）の 充実	30.7	30.9	31.1	37.3	26.1	37.1	26.5
高齢者福祉の相談ができる窓口の充実	28.2	30.2	26.1	32.0	25.9	22.7	36.7
手すりの取り付けなど、在宅生活を送る ための住まいの改修に関する支援	24.6	24.0	26.6	25.7	22.9	29.9	18.4
災害時の支援体制の整備	22.8	19.8	24.9	24.0	22.2	25.8	17.3
高齢者が住みやすい住居の確保及び入居 に対する支援	18.1	20.2	16.5	20.1	18.3	9.3	19.4
地域住民による声かけや見守り活動の 推進	12.6	11.8	11.1	13.9	13.9	13.4	9.2
健康診査の充実や健康管理の推進	10.7	10.7	10.6	11.2	11.4	8.2	8.2
ふれあい・いきいきサロン、いきいき 百歳体操など高齢者が集える場の充実	9.3	11.5	6.6	7.7	11.7	9.3	7.1
施設や交通機関等のバリアフリー化の 推進	7.2	8.8	5.6	9.2	6.9	2.1	9.2
介護予防サービス（介護予防教室等）の 充実	6.8	9.2	4.9	7.7	8.2	1.0	4.1
就労支援	5.4	5.7	6.8	5.0	5.7	2.1	2.0
認知症高齢者向けボランティアの育成	4.3	6.1	3.5	3.8	4.3	6.2	3.1
認知症高齢者と家族の情報交換の場 （認知症カフェ等）の設置支援	4.1	5.0	3.3	4.1	5.0	2.1	2.0
老人クラブ、社会活動やボランティア 活動への参加支援	3.6	4.6	3.1	4.1	3.7	2.1	3.1
成年後見制度の利用の促進と充実	3.3	3.8	2.6	3.6	4.1	2.1	1.0
虐待に関する相談や通報ができる窓口の 充実など、虐待防止の推進	2.6	1.1	2.1	3.3	3.4	2.1	2.0
無回答	10.8	11.1	8.9	9.2	12.3	14.4	11.2